

議 会 年 報

令和 3 年議会活動状況

町 田 市 議 会 事 務 局

目次

1. 議会この1年	1
2. 議会の構成	9
(1) 組織	9
(2) 委員の構成	10
イ. 常任委員会	10
ロ. 議会運営委員会	10
ハ. 特別委員会	11
ニ. 法外委員会	11
(3) 議員	12
3. 議会費	14
(1) 令和2年度議会費(決算)	14
(2) 令和3年度議会費	16
4. 会議の概要	17
(1) 令和3年本会議開催状況	17
(2) 審議の結果	18
(3) 市長提出議案	19
(4) 議員提出議案	25
(5) 委員会提出議案	26
(6) 可決した意見書・決議	27
(7) 請願	44
(8) 陳情	45
(9) 質疑の通告内容	46
(10) 一般質問の内容	54
5. 委員会の概要	65
(1) 常任委員会の開催状況	65
イ. 総務常任委員会	65
ロ. 健康福祉常任委員会	67
ハ. 文教社会常任委員会	68
ニ. 建設常任委員会	70
(2) 常任委員会の特定事件調査事項	72

(3) 議会運営委員会の開催状況	73
(4) 特別委員会の設置	77
(5) 特別委員会の開催状況	78
6. その他の会議の概要	79
(1) 全員協議会・法外委員会の開催状況	79
イ. 全員協議会	79
7. 会議の傍聴者	80
(1) 令和3年本会議傍聴者数	80
(2) 令和3年委員会傍聴者数	80
(3) 令和3年傍聴者数	80
8. 議会刊行物一覧	81
9. 購入図書一覧	82
10. 来訪市一覧	83
11. 調査活動状況	84
12. 資料	85
(1) 歴代の正・副議長	85
(2) 歴代の正・副常任委員長	87
(3) 歴代の正・副議会運営委員長	90
(4) 歴代の正・副特別委員長	91
(5) 歴代の正・副法外委員長	97
(6) 議員・市長等の報酬等月額一覧	99
(7) 議員の期末手当率一覧	100
(8) 議場内議席配置図	101
(9) 議会事務局組織	102

1. 議会この1年

月	日	主 な 動 き
1月	4日	・ 町田市役所仕事始め式が、町田市役所で開催され、議長が出席。
	8日	・ 議会運営委員会を開催。
	14日	・ 第1回臨時議会を開催。
	15日	・ 厚木基地周辺市議会基地対策協議会総会が、大和市議会で開催され、議長が出席。
	19日	・ 議会運営委員会を開催。
	25日	・ 令和2年度東京都市公平委員会関係団体協議会が、東京自治会館で開催され、議長が出席。
2月	2日	・ 令和3年第1回南多摩斎場組合議会定例会が、南多摩斎場で開催され、組合議会議員が出席。
	8日	・ 町田市技能功労者・永年勤続従業員表彰式典が、町田市文化交流センターで開催され、議長が出席。
	10日	・ 南多摩市議会議長会第2回総会が、リンクフォレストで開催され、議長が出席。
		・ 令和3年第1回多摩ニュータウン環境組合議会定例会が、多摩ニュータウン環境組合で開催され、組合議会議員が出席。
	12日	・ 議会運営委員会を開催。
		・ 東京都十一市競輪事業組合議会令和3年第1回議会定例会が、京王閣で開催され、組合議会議員が出席。
		・ 東京都六市競艇事業組合議会令和3年第1回議会定例会が、京王閣で開催され、組合議会議員が出席。
	19日	・ 本会議を開催。
		・ 議会運営委員会を開催。
		・ 総務常任委員会を開催。
		・ 健康福祉常任委員会を開催。
		・ 町田市基本構想・基本計画調査特別委員会を開催。
	22日	・ 文教社会常任委員会を開催。
		・ 建設常任委員会を開催。
	24日	・ 本会議を開催。
		・ 議会運営委員会を開催。
	25日	・ 議案説明会を開催。

月	日	主 な 動 き
	26日	・ 全員協議会を開催。
		・ 第16期町田市議会改革調査特別委員会を開催。
3月	5日	・ 本会議を開催。
		・ 議会運営委員会を開催。
	8日	・ 総務常任委員会を開催。
		・ 健康福祉常任委員会を開催。
	9日	・ 健康福祉常任委員会を開催。
	10日	・ 文教社会常任委員会を開催。
		・ 建設常任委員会を開催。
	11日	・ 文教社会常任委員会を開催。
	12日	・ 町田市基本構想・基本計画調査特別委員会を開催。
	15日	・ 本会議を開催。
	16日	・ 本会議を開催。
	17日	・ 本会議を開催。
	18日	・ 本会議を開催。
	22日	・ 本会議を開催。
	29日	・ 本会議を開催。
		・ 総務常任委員会を開催。
		・ 議会運営委員会を開催。
	30日	・ 令和3年第1回東京都十一市競輪事業組合議会臨時会が、東京自治会館で開催され、組合議会議員が出席。
		・ 令和3年第1回東京都六市競艇事業組合議会臨時会が、東京自治会館で開催され、組合議会議員が出席。
		・ 小田急多摩線延伸を促進する議員連盟令和2年度第3回役員会が、相模原市立産業会館で開催され、議長が出席。
4月	6日	・ 議会運営委員会を開催。
	9日	・ 第2回臨時議会を開催。

月	日	主 な 動 き
	19日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 総務常任委員会を開催。 ・ 健康福祉常任委員会を開催。 ・ 文教社会常任委員会を開催。 ・ 議会運営委員会を開催。
5月	13日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東京都市議会議長会理事会・臨時総会が、東京自治会館で開催され、議長が出席。 ・ 総務常任委員会がオンライン行政視察を実施。（つくば市）
	14日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 春季企画展「ZARD／坂井泉水心に響くことば」展内覧会が、町田市民文学館で開催され、議長が出席。
	15日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2021年度町田市立中学校PTA連合会第63期定期総会が、レンブラントホテル東京町田で開催され、議長が出席。
	16日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町田市玉川学園コミュニティセンター内覧会が、玉川学園コミュニティセンターで開催され、議長が出席。 ・ 町田GIONスタジアムバックスタンド落成式が、町田GIONスタジアムで開催され、議長が出席。
	22日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町田市玉川学園コミュニティセンター落成式が、玉川学園コミュニティセンターで開催され、議長が出席。
	31日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 議会運営委員会を開催。
6月	7日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本会議を開催。 ・ 議会運営委員会を開催。 ・ 総務常任委員会を開催。
	8日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 議案説明会を開催。
	10日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本会議を開催。 ・ 議会運営委員会を開催。
	11日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本会議を開催。
	14日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本会議を開催。
	15日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本会議を開催。
	16日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本会議を開催。
	17日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本会議を開催。 ・ 議会運営委員会を開催。

月	日	主 な 動 き
	18日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文教社会常任委員会を開催。 ・ 建設常任委員会を開催。
	21日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 総務常任委員会を開催。 ・ 健康福祉常任委員会を開催。
	22日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町田市基本構想・基本計画調査特別委員会を開催。
	30日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本会議を開催。 ・ 議会運営委員会を開催。 ・ 健康福祉常任委員会を開催。
7月	2日	<ul style="list-style-type: none"> ・ まちだくらしフェア2021が、町田市民フォーラムで開催され、議長が出席。
	7日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和3年第1回南多摩斎場組合議会臨時会が、南多摩斎場で開催され、組合議会議員が出席。
	9日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東京2020オリンピック聖火リレー点火セレモニーが、町田シバヒロで開催され、議長・副議長が出席。
	16日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和3年第1回多摩ニュータウン環境組合議会臨時会が、多摩ニュータウン環境組合で開催され、組合議会議員が出席。
	20日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 議会運営委員会を開催。
	27日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和3年第1回東京たま広域資源循環組合議会臨時会が、東京自治会館で開催され、組合議会議員が出席。
	29日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和3年第2回東京都十一市競輪事業組合議会臨時会が、京王閣で開催され、組合議会議員が出席。 ・ 令和3年第2回東京都六市競艇事業組合議会臨時会が、京王閣で開催され、組合議会議員が出席。
	30日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和3年第1回東京都後期高齢者医療広域連合議会臨時会が、東京区政会館で開催され、組合議会議員が出席。
8月	8日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大迫傑選手（東京2020オリンピック男子マラソン代表）応援イベントが、市立金井中学校で開催され、副議長が出席。 ・ 水田光夏選手（東京2020パラリンピック射撃代表）オンライン壮行会が、子どもセンターまあちで開催され、副議長が出席。
	19日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 議会運営委員会を開催。
	20日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東京2020パラリンピック聖火（まちだの火）採火式が、市立総合体育館で開催され、議長が出席。
	22日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町田市立町田第一中学校新校舎棟落成式が、市立町田第一中学校で開催され、議長・副議長が出席。
	26日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本会議を開催。 ・ 議会運営委員会を開催。

月	日	主 な 動 き
	27日	・ 議案説明会を開催。
	31日	・ 本会議を開催。 ・ 議会運営委員会を開催。
9月	1日	・ 本会議を開催。
	2日	・ 本会議を開催。
	3日	・ 本会議を開催。
	6日	・ 本会議を開催。
	7日	・ 本会議を開催。 ・ 議会運営委員会を開催。
	8日	・ 総務常任委員会を開催。 ・ 健康福祉常任委員会を開催。
	9日	・ 総務常任委員会を開催。 ・ 健康福祉常任委員会を開催。
	10日	・ 文教社会常任委員会を開催。 ・ 建設常任委員会を開催。
	13日	・ 文教社会常任委員会を開催。 ・ 建設常任委員会を開催。
	15日	・ 総務常任委員会を開催。 ・ 健康福祉常任委員会を開催。
	17日	・ 文教社会常任委員会を開催。 ・ 建設常任委員会を開催。
	21日	・ 文教社会常任委員会を開催。
	29日	・ 本会議を開催。 ・ 議会運営委員会を開催。

月	日	主 な 動 き
		・ 総務常任委員会を開催。
	30日	・ 町田市名誉市民顕彰式が、町田市役所で開催され、議長・副議長が出席。
10月	9日	・ 2021年度町田市社会福祉協議会表彰式が、町田市文化交流センターで開催され、議長が出席。
		・ 町田市立つくし野小学校創立50周年記念式典が、市立つくし野小学校で開催され、副議長が出席。
	10日	・ 令和3年「町田市民文化祭」式典が、町田市民ホールで開催され、議長が出席。
	12日	・ 町田市バイオエネルギーセンター現場視察に、議長・副議長・議員が出席。
	19日	・ 議会運営委員会を開催。
	25日	・ 南多摩市議会議長会視察研修が、よみうりランドで開催され、議長が出席。
	28日	・ 玉川学園前駅デッキ開通式典が、玉川学園コミュニティセンターで開催され、議長が出席。
		・ 令和3年第2回東京たま広域資源循環組合議会定例会が、東京自治会館で開催され、組合議会議員が出席。
		・ 第34回厚木基地騒音対策協議会が、ロイヤルホールヨコハマで開催され、議長が出席。
	29日	・ 町田市立薬師中学校創立50周年記念式典が、市立薬師中学校で開催され、議長が出席。
	30日	・ 町田市立南成瀬中学校創立40周年記念式典が、市立南成瀬中学校で開催され、議長・副議長が出席。
11月	4日	・ 令和3年第2回南多摩斎場組合議会定例会が、南多摩斎場で開催され、組合議会議員が出席。
	5日	・ 町田市老人クラブ連合会第43回作品展表彰式が、市立国際版画美術館で開催され、議長が出席。
	6日	・ 稲城市制施行50周年記念式典が、稲城市中央文化センターホールで開催され、議長が出席。
		・ FC町田ゼルビア三輪緑山・天然芝グラウンド開放デーが、鶴見川クリーンセンター隣で開催され、議長が出席。
	8日	・ 令和3年第2回多摩ニュータウン環境組合議会定例会が、多摩ニュータウン環境組合で開催され、組合議会議員が出席。
	10日	・ 令和3年度多摩ニュータウン環境組合議会議員視察研修が、浅川清流環境組合で開催され、組合議会議員が出席。
	11日	・ 全国市議会議長会第172回建設運輸委員会が、都市センターホテルで開催され、議長が出席。
	12日	・ 令和3年第2回東京都十一市競輪事業組合議会定例会が、京王閣で開催され、組合議会議員が出席。
		・ 令和3年第2回東京都六市競艇事業組合議会定例会が、京王閣で開催され、組合議会議員が出席。
	14日	・ 第4回高校生と町田市議会議員の意見交換会が、町田市議会で開催され、議長・議員が出席。
	22日	・ 議会運営委員会を開催。

月	日	主 な 動 き
	23日	・ グローイングアップ映画祭鶴川ショートムービーコンテスト2021が、和光大学ポプリホール鶴川で開催され、議長が出席。
	24日	・ 全国市議会議長会令和3年度「地域公共交通の維持・確保問題に関する特別委員会」有識者等との意見交換会が、全国都市会館で開催され、議長が出席。
	28日	・ 2021年度米作り農業体験「収穫祭」式典が、七国山ファーマーズセンターで開催され、議長が出席。
	29日	・ 本会議を開催。 ・ 議会運営委員会を開催。 ・ 総務常任委員会を開催。
	30日	・ 議案説明会を開催。 ・ 全員協議会を開催。 ・ 議会運営委員会を開催。
12月	2日	・ 本会議を開催。 ・ 議会運営委員会を開催。
	3日	・ 本会議を開催。
	6日	・ 本会議を開催。
	7日	・ 本会議を開催。
	8日	・ 本会議を開催。
	9日	・ 本会議を開催。 ・ 議会運営委員会を開催。 ・ 文教社会常任委員会を開催。 ・ 建設常任委員会を開催。
	10日	・ 文教社会常任委員会を開催。 ・ 建設常任委員会を開催。
	13日	・ 総務常任委員会を開催。 ・ 健康福祉常任委員会を開催。
	15日	・ 議会運営委員会を開催。

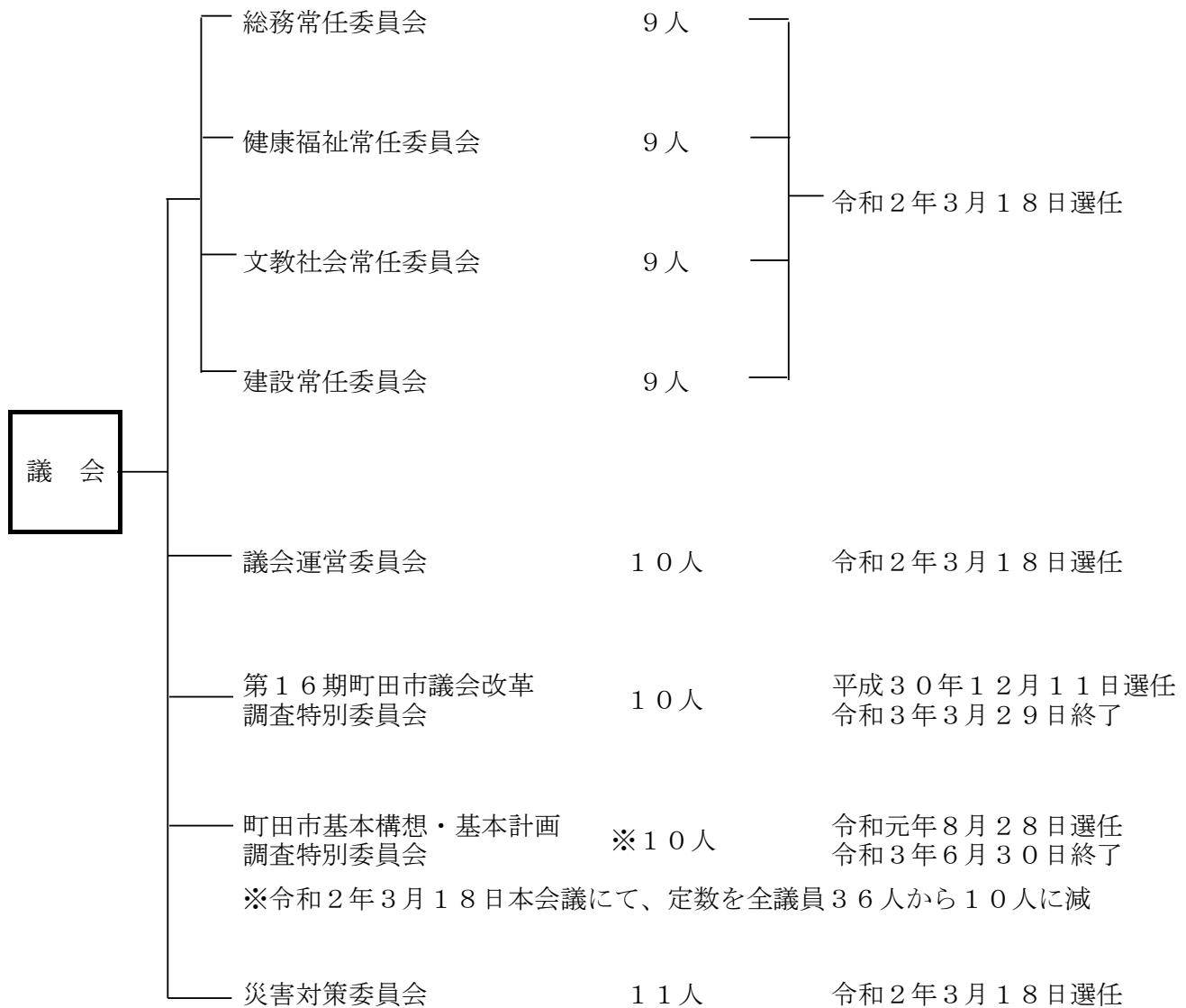
月 日	主 な 動 き
22日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本会議を開催。 ・ 議会運営委員会を開催。 ・ 文教社会常任委員会を開催。
29日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町田市消防団歳末特別警戒が、実施され、議長が出席。

2. 議会の構成

(1) 組織

議長 佐藤伸一郎
令和3年12月22日選出

副議長 おく栄一
令和2年2月25日選出



(2) 委員の構成

令和3年12月31日現在

イ. 常任委員会

区 分	委 員 構 成	◎委員長	○副委員長
		一部委員の辞任及び就任	
総務 定数 9人	◎ ちだ伸也 木目田英男 白川哲也 佐々木智子 ○ 若林章喜 森本せいや 山下てつや 新井よしなお	星だいすけ 星だいすけ 若林章喜	副委員長辞任 (21. 6. 1) 委員辞任 (21. 6. 1) 副委員長就任 (21. 6. 7)
健康福祉 定数 9人	◎ 松葉ひろみ 矢口まゆ 三遊亭らん丈 細野龍子 藤田学 ○ 東友美 村まつ俊孝 大西宣也 熊沢あやり		
文教社会 定数 9人	◎ おぜき重太郎 斉藤かつひろ 佐藤和彦 戸塚正人 ○ おんじょう由久 石川好忠 いわせ和子 殿村健一	松岡みゆき	委員辞任 (21. 6. 1)
建設 定数 9人	◎ 渡辺巖太郎 田中美穂 友井和彦 佐藤伸一郎 ○ 深沢ひろふみ わたべ真実 おく栄一 おさむら敏明	吉田つとむ	委員辞任 (21. 5. 31)

ロ. 議会運営委員会

区 分	委 員 構 成	◎委員長	○副委員長
		一部委員の辞任及び就任	
議会運営 定数 10人	◎ 森本せいや おんじょう由久 渡辺巖太郎 おぜき重太郎 佐々木智子 ○ 木目田英男 石川好忠 わたべ真実 松葉ひろみ 大西宣也	松岡みゆき 松岡みゆき 星だいすけ 白川哲也 石川好忠 渡辺巖太郎 佐藤伸一郎 木目田英男 石川好忠 大西宣也 石川好忠 佐藤伸一郎	副委員長辞任 (21. 6. 1) 委員辞任 (21. 6. 1) 委員辞任 (21. 6. 1) 委員辞任 (21. 6. 1) 委員就任 (21. 6. 2) 委員就任 (21. 6. 2) 委員就任 (21. 6. 2) 副委員長就任 (21. 6. 7) 委員辞任 (21. 11. 22) 委員就任 (21. 11. 22) 委員辞任 (21. 12. 22) 委員辞任 (21. 12. 22)

ハ. 特別委員会

区 分	委 員 構 成	◎委員長 ○副委員長
		一部委員の辞任及び就任
第16期町田市 議会改革調査 (※令和3年3月 29日終了) 定数 10人	◎ 三遊亭らん丈 ○ 斉藤かつひろ ちだ伸也 村まつ俊孝 星だいすけ 石川好忠 森本せいや 白川哲也 佐々木智子 松岡みゆき	
町田市基本構想・ 基本計画調査 (※令和3年6月 30日終了) 定数 10人	◎ 若林章喜 ○ 佐藤和彦 おんじょう由久 木目田英男 石川好忠 渡辺徹太郎 白川哲也 山下てつや 戸塚正人 殿村健一	星だいすけ 委員辞任 (21.6.1) 石川好忠 委員就任 (21.6.2)

ニ. 法外委員会

区 分	委 員 構 成	◎委員長 ○副委員長
		一部委員の辞任及び就任
災害対策 定数 11人	◎ 木目田英男 ○ おぜき重太郎 東友美 ちだ伸也 渡辺徹太郎 白川哲也 松葉ひろみ 山下てつや おく栄一 細野龍子 佐藤伸一郎	熊沢あやり 委員辞任 (21.12.22) 佐藤伸一郎 委員就任 (21.12.22)

(3) 議 員 (平成30年2月25日選挙 定数36人)

令和3年12月31日現在

議席番号	氏名	所属会派	住 所	連絡先
1	東 友 美	まちだ市民クラブ	山崎町	070-4812-8813
2	ち だ 伸 也	まちだ市民クラブ	山崎町2130番地 山崎団地6-8-306	792-3371
3	矢 口 ま ゆ	諸 派	南町田1丁目4番9号	080-3712-1002
4	深沢ひろふみ	保守の会	木曽西3丁目25番7号 107	090-5492-2378
5	村まつ俊孝	公明党	金森1丁目17番18号	050-5327-7499
6	斉藤かつひろ	公明党	小山町4655番地4	719-9100
7	おんじょう由久	公明党	南成瀬3丁目3番地5	785-4880
8	田 中 美 穂	日本共産党	三輪町176番地4	044-572-8441
9	(欠員)			
10	木目田英男	自由民主党	成瀬が丘2丁目9番地5	796-7771
11	石 川 好 忠	自由民主党	木曽西4丁目3番1号	791-0217
12	渡辺 徹 太 郎	自由民主党	玉川学園5丁目16番8号	785-5385
13	佐 藤 和 彦	まちだ市民クラブ	南成瀬7丁目15番地22	810-1593
14	森本せいや	まちだ市民クラブ	大蔵町421番地4	708-9623
15	わたべ 真 実	まちだ市民クラブ	野津田町3114番地7	729-2296
16	おぜき重太郎	保守の会	相原町879番地4	771-2588
17	白 川 哲 也	保守の会	藤の台2丁目2番10-503号	050-5373-7098
18	松 葉 ひ ろ み	公明党	玉川学園7丁目14番7号3	703-9898
19	山下てつや	公明党	下小山田町4004番地16	797-0756
20	佐々木智子	日本共産党	山崎町2200番地 山崎団地2-1-307	793-4137
21	(欠員)			
22	いわせ和子	自由民主党	能ヶ谷4丁目36番8号	735-2027
23	三遊亭らん丈	自由民主党	森野1丁目1番21号レーベン町田フロントテラス504	720-4644
24	若 林 章 喜	自由民主党	凶師町601番地11	793-2280
25	戸 塚 正 人	まちだ市民クラブ	金森2丁目16番6号	727-1704
26	新井よしなお	諸 派	玉川学園8丁目18番23号	724-0086
27	友 井 和 彦	諸 派	南つくし野2丁目23番地7	795-2970
28	(欠員)			
29	大 西 宣 也	保守の会	野津田町1594番地1	735-8164
30	お く 栄 一	公明党	三輪町202番地2	044-986-2441
31	細 野 龍 子	日本共産党	鶴間1丁目19番地21	796-8163
32	殿 村 健 一	日本共産党	本町田2348番地1 公社住宅ホ11-506	793-5458
33	熊 沢 あ や り	諸 派	本町田	728-0088
34	藤 田 学	自由民主党	常盤町3594番地1	797-4646
35	佐 藤 伸 一 郎	自由民主党	小山町2420番地	797-1152
36	おさむら敏明	自由民主党	南町田2丁目13番1号	795-1088

※議員の申し出により、住所の地区名以下を記載していない場合があります。(2020.12.23決定)

◎委員長 ○副委員長 △委員

議席番号	氏名	常任委員会				議会運営	災害対策	年齢	議員歴
		総務	健康福祉	文教社会	建設				
1	東 友 美		○				△	37	1
2	ち だ 伸 也	◎					△	56	2
3	矢 口 ま ゆ		△					32	1
4	深沢ひろふみ				○			58	1
5	村まつ俊孝		△					43	1
6	斉藤かつひろ			△				55	1
7	おんじょう由久			○		△		59	1
8	田 中 美 穂				△			39	1
9	(欠 員)								
10	木目田英男	△				○	◎	47	2
11	石 川 好 忠			△		△		67	2
12	渡辺 厳 太 郎				◎	△	△	48	3
13	佐 藤 和 彦			△				49	3
14	森本せいや	△				◎		40	3
15	わたべ真実				△	△		64	3
16	おぜき重太郎			◎		△	○	45	2
17	白 川 哲 也	△					△	40	3
18	松 葉 ひ ろ み		◎			△	△	55	2
19	山下てつや	△					△	56	4
20	佐々木智子	△				△		66	5
21	(欠 員)								
22	いわせ和子			△				58	4
23	三遊亭らん丈		△					62	4
24	若 林 章 喜	○						47	5
25	戸 塚 正 人			△				41	4
26	新井よしなお	△						47	5
27	友 井 和 彦				△			56	6
28	(欠 員)								
29	大 西 宣 也		△			△		79	8
30	お く 栄 一				△		△	67	4
31	細 野 龍 子		△				△	66	6
32	殿 村 健 一			△				67	8
33	熊 沢 あ や り		△					50	5
34	藤 田 学		△					52	5
35	佐 藤 伸 一 郎				△		△	65	5
36	おさむら敏明				△			71	7

額		支出済額	翌年度繰越額	不用額	備考
節			継続費通次繰越 繰越明許費 繰越明許費		
区分	金額				
	円	円	円	円	円
		632,649,002	0	13,642,998	
		632,649,002	0	13,642,998	
		632,649,002	0	13,642,998	
1. 報酬	239,040,000	239,040,000	0	0	1. 議員人件費 440,748,000 議員報酬等事務 440,748,000 《議会事務局》
2. 給料	74,173,000	68,738,838	0	5,434,162	2. 職員人件費 151,453,341 職員人件費 151,453,341 《職員課》
3. 職員手当等	178,415,000	174,807,904	0	3,607,096	3. 議会活動費 40,447,661 議会事務局管理事務 25,882 《議会事務局》
4. 共済費	111,027,000	109,614,599	0	1,412,401	議会総務管理事務 3,124,580 《議会事務局》
5. 災害補償費	1,000	0	0	1,000	委員会等運営事務 5,538,182 《議会事務局》
7. 報償費	73,000	0	0	73,000	議会情報提供事業 5,791,192 《議会事務局》
8. 旅費	203,000	39,882	0	163,118	議会活動支援事業 13,569,943 《議会事務局》
9. 交際費	400,000	106,500	0	293,500	議会図書室整備事業 277,194 《議会事務局》
10. 需用費	4,282,000	3,504,079	0	777,921	本会議等運営事務 5,141,721 《議会事務局》
11. 役務費	13,662,000	12,857,959	0	804,041	議会事務局システム管理事務 6,978,967 《議会事務局》
12. 委託料	4,575,000	4,054,779	0	520,221	
13. 使用料及び 賃借料	5,157,000	4,979,802	0	177,198	
17. 備品購入費	150,000	110,660	0	39,340	
18. 負担金補助 及び交付金	15,134,000	14,794,000	0	340,000	

(2) 令和3年度議会費（令和3年度12月補正まで）

議会費 630,886 千円 (単位：千円)

節			説明
区分	金額	構成比	
1 報酬	223,810	35.5%	1 議員人件費 416,073 議員報酬 223,810 議員期末手当 111,960 議員共済費 80,302 公務災害補償費 1
2 給料	69,964	11.1%	
3 職員手当等	169,988	26.9%	2 職員人件費 154,112 職員給料 69,964 職員手当等 58,028 職員共済費 26,120
4 共済費	106,422	16.9%	
5 災害補償費	1	0.0%	3 議会活動費 60,701 講師謝礼 100 事業協力謝礼 20 普通旅費 130 特別旅費 1,159 議員費用弁償 4,339 費用弁償 20 交際費 700 消耗品費 1,005 食糧費 100 印刷製本費 3,209 電話料 2,396 インターネット通信費 295 速記料 10,921 事務処理等委託料 705 作成委託料 753 配布委託料 3,239 健康診査等委託料 120 複写機使用料 142 自動車借上料 100 システム使用料 4,594 備品等購入費 248 政務活動費 24,120 各種負担金 2,146 その他 140
7 報償費	131	0.0%	
8 旅費	5,648	0.9%	
9 交際費	700	0.1%	
10 需用費	4,364	0.7%	
11 役務費	13,618	2.2%	
12 委託料	4,850	0.8%	
13 使用料及び賃借料	5,124	0.8%	
17 負担金補助及び交付金	26,266	4.2%	

4. 会議の概要

(1) 令和3年本会議開催状況

区 分	第1回 臨時会	第1回 定例会	第2回 臨時会	第2回 定例会	第3回 定例会	第4回 定例会	計		
開会月日	1月14日	2月19日	4月9日	6月7日	8月26日	11月29日			
閉会月日	1月14日	3月29日	4月9日	6月30日	9月29日	12月22日			
延日数	1日	39日	1日	24日	35日	24日	124日		
会議日数	1日	9日	1日	8日	8日	8日	35日		
会議時間	0時間13分	42時間20分	2時間10分	31時間20分	31時間29分	32時間07分	139時間39分		
議 案	予 算	0	15	1	3	7	6	32	
	条 例	市 長	0	16	0	8	4	13	41
		委員会	0	0	0	0	0	0	0
		議 員	1	0	0	0	1	0	2
	議決案	0	10	0	5	18	5	38	
	承 認	0	1	1	2	1	1	6	
	認 定	0	0	0	0	3	0	3	
	同 意	0	5	0	0	0	0	5	
	諮 問	0	1	0	0	0	0	1	
	会議規則	0	0	0	0	0	1	1	
	意 見 書	委員会	0	0	0	0	1	0	1
		議 員	0	9	0	4	7	5	25
	決 議	委員会	0	0	0	0	0	0	0
		議 員	0	1	0	0	0	0	1
請 願	0	5	0	5	3	8	21		
陳 情	0	3	0	4	1	2	10		

(2) 審議の結果

議決の内容		第1回 臨時会	第1回 定例会	第2回 臨時会	第2回 定例会	第3回 定例会	第4回 定例会	計
市長提出	可 決	0	47	2	18	32	25	124
	修正可決	0	0	0	0	0	0	0
	否 決	0	0	0	0	0	0	0
	撤 回	0	0	0	0	0	0	0
	継続審査	0	0	0	0	1	0	1
	異議のない 旨答申	0	1	0	0	0	0	1
議員提出	可 決	1	8	0	2	6	3	19
	修正可決	0	0	0	0	0	0	0
	否 決	0	2	0	2	2	2	8
	撤 回	0	0	0	0	0	0	0
	継続審査	0	0	0	0	0	0	0
委員会提出	可 決	0	0	0	0	1	1	2
	修正可決	0	0	0	0	0	0	0
	否 決	0	0	0	0	0	0	0
	撤 回	0	0	0	0	0	0	0
	継続審査	0	0	0	0	0	0	0
請願	採 択	0	0	0	1	0	1	2
	一部採択	0	0	0	0	0	0	0
	不 採 択	0	4	0	3	2	1	10
	継続審査	0	1	0	0	1	6	8
	取り下げ	0	0	0	1	0	0	1
陳情	採 択	0	0	0	0	0	0	0
	一部採択	0	0	0	0	0	0	0
	不 採 択	0	0	0	0	0	0	0
	継続審査	0	0	0	0	0	0	0
	取り下げ	0	0	0	0	0	0	0
	参考送付	0	3	0	4	1	2	10

(3) 市長提出議案

議案番号	件名	議決月日	結果
1	令和2年度(2020年度)町田市一般会計補正予算(第6号)	2月24日	原案可決
2	令和2年度(2020年度)町田市国民健康保険事業会計補正予算(第4号)	2月24日	原案可決
3	令和2年度(2020年度)町田市介護保険事業会計補正予算(第3号)	2月24日	原案可決
4	令和2年度(2020年度)町田市後期高齢者医療事業会計補正予算(第2号)	2月24日	原案可決
5	令和2年度(2020年度)町田市鶴川駅南土地区画整理事業会計補正予算(第1号)	2月24日	原案可決
6	令和2年度(2020年度)町田市下水道事業会計補正予算(第4号)	2月24日	原案可決
7	令和2年度(2020年度)町田市病院事業会計補正予算(第3号)	2月24日	原案可決
8	町田市職員のサービスの宣誓に関する条例の一部を改正する条例	3月29日	原案可決
9	町田市職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例等の一部を改正する条例	3月29日	原案可決
10	町田市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営の基準等に関する条例の一部を改正する条例	3月29日	原案可決
11	町田市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営の基準等に関する条例の一部を改正する条例	3月29日	原案可決
12	町田市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営の基準等に関する条例の一部を改正する条例	3月29日	原案可決
13	町田市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営の基準等に関する条例の一部を改正する条例	3月29日	原案可決
14	町田市介護保険条例の一部を改正する条例	3月29日	原案可決
15	町田市国民健康保険条例の一部を改正する条例	3月29日	原案可決
16	町田市保健所関係手数料条例の一部を改正する条例	3月29日	原案可決
17	町田市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例	3月29日	原案可決
18	町田市特定公共物管理条例の一部を改正する条例	3月29日	原案可決
19	町田都市計画事業鶴川駅北土地区画整理事業施行に関する条例を廃止する条例	3月29日	原案可決
20	町田市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例	3月29日	原案可決
21	町田市立図書館条例	3月29日	原案可決
22	町田市民病院使用条例の一部を改正する条例	3月29日	原案可決
23	市道路線の認定について	3月29日	原案可決

議案番号	件名	議決月日	結果
24	八王子市による路線認定の承諾について	3月29日	原案可決
25	包括外部監査契約の締結について	3月29日	原案可決
26	町田市表彰条例に基づく一般表彰の同意方について	3月29日	原案可決
27	指定金融機関の指定について	2月24日	原案可決
28	権利の放棄について	2月19日	原案可決
29	令和3年度（2021年度）町田市一般会計予算	3月29日	原案可決
30	令和3年度（2021年度）町田市国民健康保険事業会計予算	3月29日	原案可決
31	令和3年度（2021年度）町田市介護保険事業会計予算	3月29日	原案可決
32	令和3年度（2021年度）町田市後期高齢者医療事業会計予算	3月29日	原案可決
33	令和3年度（2021年度）町田市鶴川駅南土地区画整理事業会計予算	3月29日	原案可決
34	令和3年度（2021年度）町田市下水道事業会計予算	3月29日	原案可決
35	令和3年度（2021年度）町田市病院事業会計予算	3月29日	原案可決
36	令和2年度（2020年度）町田市一般会計補正予算（第7号）	3月29日	原案可決
37	町田市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例	3月29日	原案可決
38	町田市立陸上競技場観客席増設工事請負契約の変更契約	3月29日	原案可決
39	町田市立陸上競技場観客席増設電気設備工事請負契約の変更契約	3月29日	原案可決
40	町田都市計画事業南町田駅周辺土地区画整理事業の事業執行に関する協定の一部を変更する協定その3	3月29日	原案可決
41	町田都市計画事業鶴川駅南土地区画整理事業に関する業務委託契約	3月29日	原案可決
42	町田市副市長の選任につき同意方について	3月29日	同意
43	町田市監査委員の選任につき同意方について	3月29日	同意
44	町田市教育委員会教育長の任命につき同意方について	3月29日	同意
45	町田市教育委員会委員の任命につき同意方について	3月29日	同意
46	人権擁護委員候補者の推薦につき同意方について	3月29日	同意
47	令和3年度（2021年度）町田市一般会計補正予算（第1号）	4月9日	原案可決

議案番号	件名	議決月日	結果
48	令和3年度(2021年度)町田市一般会計補正予算(第2号)	6月30日	原案可決
49	令和3年度(2021年度)町田市介護保険事業会計補正予算(第1号)	6月30日	原案可決
50	町田市固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例	6月30日	原案可決
51	町田市手数料条例の一部を改正する条例	6月30日	原案可決
52	町田市市税条例の一部を改正する条例	6月30日	原案可決
53	町田市体育施設条例の一部を改正する条例	6月30日	原案可決
54	町田市公衆浴場法施行条例の一部を改正する条例	6月30日	原案可決
55	町田市旅館業法施行条例の一部を改正する条例	6月30日	原案可決
56	町田市立公園条例の一部を改正する条例	6月30日	原案可決
57	町田市立学校適正規模・適正配置等審議会条例を廃止する条例	6月30日	原案可決
58	(仮称)成瀬鞍掛スポーツ施設整備工事請負契約	6月30日	原案可決
59	野津田公園拡張区域整備工事(その2)請負契約	6月30日	原案可決
60	玉川学園前駅デッキ整備工事請負契約の変更契約	6月30日	原案可決
61	土地の買入れについて	6月7日	原案可決
62	町田市基本構想・基本計画「まちだ未来づくりビジョン2040」の策定について	6月30日	原案可決
63	令和3年度(2021年度)町田市一般会計補正予算(第3号)	6月30日	原案可決
64	令和3年度(2021年度)町田市一般会計補正予算(第4号)	9月29日	原案可決
65	令和3年度(2021年度)町田市国民健康保険事業会計補正予算(第1号)	9月29日	原案可決
66	令和3年度(2021年度)町田市介護保険事業会計補正予算(第2号)	9月29日	原案可決
67	令和3年度(2021年度)町田市後期高齢者医療事業会計補正予算(第1号)	9月29日	原案可決
68	令和3年度(2021年度)町田市鶴川駅南土地区画整理事業会計補正予算(第1号)	9月29日	原案可決
69	令和3年度(2021年度)町田市下水道事業会計補正予算(第1号)	9月29日	原案可決
70	公益的法人等への町田市職員の派遣に関する条例の一部を改正する条例	9月29日	原案可決
71	町田市個人情報保護条例及び町田市個人番号及び特定個人情報の利用等に関する条例の一部を改正する条例	9月29日	原案可決

議案番号	件名	議決月日	結果
72	町田市葬具使用条例を廃止する条例	9月29日	継続審査
		12月22日	原案可決
73	町田市バイオエネルギーセンター会議室等条例	9月29日	原案可決
74	町田市民ホール空気調和設備改修工事請負契約	9月29日	原案可決
75	町田第二中学校防音機能復旧工事（空気調和設備）請負契約	9月29日	原案可決
76	健康増進温浴施設整備工事請負契約の変更契約	9月29日	原案可決
77	健康増進温浴施設整備給排水衛生設備工事請負契約の変更契約	9月29日	原案可決
78	生活保護法第78条に基づく徴収金等に係る訴訟の提起について	8月26日	原案可決
79	生活保護法第78条に基づく徴収金等に係る訴訟の提起について	8月26日	原案可決
80	児童扶養手当返還金等に係る訴訟の提起について	8月26日	原案可決
81	市道路線の認定について	9月29日	原案可決
82	市道路線の廃止について	9月29日	原案可決
83	町田市民ホール・町田市鶴川緑の交流館ホール等・町田市立鶴川駅前図書館（図書館運営業務を除く。）の指定管理者の指定について	9月29日	原案可決
84	町田市フォトサロンの指定管理者の指定について	9月29日	原案可決
85	町田市立室内プールの指定管理者の指定について	9月29日	原案可決
86	木曾子どもクラブの指定管理者の指定について	9月29日	原案可決
87	町田市七国山ファーマーズセンターの指定管理者の指定について	9月29日	原案可決
88	町田市立鶴川駅前図書館（図書館運営業務に限る。）の指定管理者の指定について	9月29日	原案可決
89	町田市名誉市民条例に基づく名誉市民の同意方について	8月26日	原案可決
90	令和3年度（2021年度）町田市一般会計補正予算（第5号）	9月29日	原案可決
91	町田市行政不服審査会委員の委嘱につき同意方について	9月29日	原案可決
92	3R推進課車両による交通事故に係る損害賠償請求事件の和解について	9月29日	原案可決
93	令和3年度（2021年度）町田市一般会計補正予算（第6号）	12月22日	原案可決
94	令和3年度（2021年度）町田市国民健康保険事業会計補正予算（第2号）	12月22日	原案可決
95	令和3年度（2021年度）町田市介護保険事業会計補正予算（第3号）	12月22日	原案可決

議案番号	件名	議決月日	結果
96	令和3年度（2021年度）町田市病院事業会計補正予算（第1号）	12月22日	原案可決
97	町田市障がい者福祉センター条例を廃止する条例	12月22日	原案可決
98	町田市国民健康保険条例の一部を改正する条例	12月22日	原案可決
99	町田市子どもセンター条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例	12月22日	原案可決
100	町田市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準に関する条例の一部を改正する条例	12月22日	原案可決
101	町田市家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例	12月22日	原案可決
102	町田市市民農園条例の一部を改正する条例	12月22日	原案可決
103	町田市住みよい街づくり条例	12月22日	原案可決
104	町田市下水道条例の一部を改正する条例	12月22日	原案可決
105	町田市立図書館条例の一部を改正する条例	12月22日	原案可決
106	（仮称）成瀬鞍掛スポーツ施設整備工事請負契約の変更契約	12月22日	原案可決
107	町田市熱回収施設等（仮称）整備運営事業に関する施設整備工事請負契約の変更契約	12月22日	原案可決
108	市有財産の無償譲渡について	12月22日	原案可決
109	町田市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	11月29日	原案可決
110	町田市長等の給与に関する条例の一部を改正する条例	11月29日	原案可決
111	令和3年度（2021年度）町田市一般会計補正予算（第7号）	12月9日	原案可決
112	町田市手数料条例の一部を改正する条例	12月22日	原案可決
113	玉川学園前駅デッキ整備工事請負契約の変更契約	12月9日	原案可決
114	損害賠償の額の決定について	12月22日	原案可決
115	令和3年度（2021年度）町田市一般会計補正予算（第8号）	12月22日	原案可決

報告1	令和2年度（2020年度）町田市一般会計補正予算（専決第1号）の専決処分の承認を求めることについて	2月19日	承認
報告2	町田市市税条例等の一部を改正する条例に関する専決処分の承認を求めることについて	4月9日	承認
報告3	令和2年度（2020年度）町田市一般会計補正予算（専決第2号）の専決処分の承認を求めることについて	6月7日	承認
報告4	道路上における転倒事故等に係る損害賠償額の専決処分の承認を求めることについて	6月7日	承認
報告5	3R推進課車両による物損事故に係る損害賠償額の専決処分の承認を求めることについて	8月26日	承認

議案番号	件名	議決月日	結果
報告 6	令和3年度（2021年度）町田市一般会計補正予算（専決第1号）の専決処分の承認を求めることについて	11月29日	承認
諮問 1	生活保護費返還督促処分に係る審査請求に関する諮問について	2月24日	異議のない旨答申
認定 1	令和2年度（2020年度）町田市一般会計・特別会計歳入歳出決算認定について	9月29日	認定
認定 2	令和2年度（2020年度）町田市下水道事業会計決算認定について	9月29日	認定
認定 3	令和2年度（2020年度）町田市病院事業会計決算認定について	9月29日	認定

(4) 議員提出議案等

議案番号	件名	議決月日	結果
1	町田市市税条例の一部を改正する条例	1月14日	原案可決
2	中国政府に対して人権弾圧の改善を促し、日本国政府に対し必要な措置を講じることを求める意見書	3月29日	原案可決
3	尖閣諸島の実効支配を確実にすることを求める意見書	3月29日	原案可決
4	女子差別撤廃条約選択議定書の批准に向けて環境整備を求める意見書	3月29日	原案可決
5	性犯罪に関する刑法改正を求める意見書	3月29日	原案可決
6	成年年齢引き下げに伴う未成年者取消権喪失への対応を求める意見書	3月29日	原案可決
7	新型コロナウイルスワクチン接種に関する迅速な情報公開等を求める意見書	3月29日	原案可決
8	子どもに対する体罰、わいせつ行為等への対策強化を求める意見書	3月29日	原案可決
9	生活保護における扶養照会をやめることを求める意見書	3月29日	否決
10	総務省官僚の接待疑惑の徹底解明を求める意見書	3月29日	原案可決
11	第29号議案に対する附帯決議	3月29日	否決
12	「こども庁」設置を求める意見書	6月30日	原案可決
13	東京電力福島第一原子力発電所におけるALPS処理水の海洋放出決定について十分な説明と慎重な対応を求める意見書	6月30日	否決
14	新型コロナウイルス感染症ワクチンの安心・安全、円滑な接種の促進を求める意見書	6月30日	否決
15	学校教育におけるデジタルトランスフォーメーションを適切に進めるための意見書	6月30日	原案可決
16	全国一律の「盛り土」規制の法整備を求める意見書	9月29日	原案可決
17	消費税インボイス制度の実施中止を求める意見書	9月29日	否決
18	出産育児一時金の増額を求める意見書	9月29日	原案可決
19	選択的夫婦別姓制度の法制化に向けた議論を求める意見書	9月29日	原案可決
20	ナラ枯れ被害対策の広域的な強化を国に求める意見書	9月29日	原案可決
21	国民の命と暮らしを守る新型コロナウイルス感染症対策の実施を求める意見書	9月29日	原案可決
22	第6次エネルギー基本計画(案)の見直しを求める意見書	9月29日	否決
23	町田市市税条例の一部を改正する条例	9月29日	原案可決
24	特別支援教室の教員削減は中止し、指導の充実を求める意見書	12月22日	否決

議案番号	件名	議決月日	結果
26	生活保護の級地区分の見直し中止を求める意見書	12月22日	否決
29	同性婚を認める法改正に向けた議論の促進を求める意見書	12月22日	原案可決
30	「地方自治法施行令第167条の2第1項第1号」に定める少額随意契約の限度額の見直しを求める意見書	12月22日	原案可決
31	町田児童相談所の早期設置を求める意見書	12月22日	原案可決
動議	議長不信任の動議	12月22日	原案可決

(5) 委員会提出議案

議案番号	件名	議決月日	結果
1	インターネット上のいじめ抑止に関する意見書	9月29日	原案可決
2	町田市議会会議規則の一部を改正する規則	12月22日	原案可決

(6) 可決した意見書・決議

●議員提出議案

中国政府に対して人権弾圧の改善を促し、日本国政府に対し必要な措置を講じることを求める意見書（3月30日）

中国によるウイグル人への弾圧に対して、今年1月中国問題に関するアメリカ連邦議会の委員会では中国問題に関する年次報告書を公表した。

その内容は新疆ウイグル自治区内では2017年ごろから弾圧が強まり、およそ180万人が組織的、強制的に施設に収容され、拷問を受けたり、強制労働をさせられたりしていると指摘。

イギリスの公共放送BBCや国際メディアでは、新疆ウイグル自治区において、ウイグル人が強制労働収容所に収監され、拷問や強姦を受けていること、民族浄化のため、強制的に不妊手術がさせられている実態を報道した。

強制収容所からの生還者は、共に収容された多くのウイグル人が死亡したり、正体不明の薬や注射の強制投与もあったりしたとアメリカ議会の公聴会で証言。

これらを受けて1月19日、アメリカの前国務長官であるマイク・ポンペオ氏は、退任直前にも関わらず中国によるウイグル人への弾圧を国際法上の犯罪とみなされるジェノサイド（民族大量虐殺）と認定した。

さらにバイデン新政権での国務長官であるアントニー・ブリンケン国務長官も就任会見で「ジェノサイド認定に同意する」と明言し、「同自治区で強制労働によって作られた綿花などの物品は輸入すべきでない」と対中強硬政策を強調。

イギリスのボリス・ジョンソン首相やカナダのジャスティン・トルドー首相も強制労働による製品の流通防止や禁輸を発表。

イギリスのドミニク・ラブ外相は、2022年の北京冬季オリンピックのボイコットを示唆し、フランスのマクロン大統領は、国連調査団の現地派遣を要求。

カナダ下院は2月22日、オランダ議会は2月25日、ジェノサイド認定について動議が提出され可決。

ジェノサイドが続く場合、2022年の北京オリンピックの開催地変更も呼びかけている。

これまで国連人権理事会では、中国に対してウイグル人やチベット人、モンゴル人などの少数民族の権利を守ることを求める勧告を採択しているが、中国は態度を改めていない。

中国政府は国連安全保障理事会の常任理事国という責任ある立場であれば、これら勧告をはじめ、国際社会の声に真摯に向き合い、国連憲章の精神にのっとり、自国の人権状況を速やかに改善するべきである。

町田市ではこれまで国連の「世界人権宣言」にならい、人権意識の高揚を図ってきた。

しかしながら中国内における人権弾圧の現状は、国際社会も非難しているとおり、町田市の理想とは真逆の事態であり、中国政府に対して強い憤りを表明する。

よって町田市議会は国に対して以下の事を求めるものである。

- 1 日本政府は共にG7を構成する国々が加盟する欧州会議や米国などにならい、国際社会と連携の上、中国政府に対して速やかに人権状況の改善を促すとともに、強制労働による製品を調査し、流通防止や禁輸措置を講じることを強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

提出先

衆議院議長	大島理森	様
参議院議長	山東昭子	様
内閣総理大臣	菅義偉	様
法務大臣	上川陽子	様
外務大臣	茂木敏光	様
経済産業大臣	梶山弘志	様
総務大臣	武田良太	様

尖閣諸島の実効支配を確実にすることを求める意見書（3月30日）

尖閣諸島は我が国固有の領土であることは歴史的・国際法的に明確であるが、中国は1992年に制定した「領海および接続水域法」によって不当に領有権を主張している。

中国海警局の船舶は連日、沖縄県石垣市の尖閣諸島の沖合の日本の領海に頻繁に侵入し、接続水域での航行を繰り返してきた。

2月1日には、中国海警局に武器使用権限を付与する「海警法」が施行された。

中国海警局の権限を定めた海警法により、海警が日本の海上保安庁のような純粋な警察機構ではなく、中国共産党に忠誠を尽くす軍事機関の一部となった。

同法では管轄領域が明確に定義されていないが、中国が核心的利益として領有権を主張する尖閣諸島周辺海空域は管轄海域に含まれるとみるべきであり、同法施行後も中国海警局の船舶は領海侵入や日本漁船へ接近など、明らかな国際法違反を繰り返している。

「海警法」の施行により、日本周辺の安全保障環境への懸念が深刻化していることを受け、政府は他国が尖閣諸島への上陸を強行しようとするれば、正当防衛や重大凶悪犯罪に対し、警察官職務執行法7条で規定されている「危害射撃」が可能な場合がある、と含みを持たせている。

一方、警察官職務執行法に基づく武器の使用は国内法の執行などに必要な範囲での実力行使であり、外国からの武力攻撃に対する自衛権に基づく武力行使とは区別されていることから、中国が主張する尖閣諸島の領有権の既成事実化が危惧されており、我が国の主権にかかわる極めて重要な問題である。

よって町田市議会は国に対して以下の事を求めるものである。

- 1 尖閣諸島の更なる実効支配強化のための防衛力・警察力・行政力の強化。
- 2 あらゆる事態を想定し、武力攻撃に至らない「グレーゾーン事態」にも現場の海上保安庁らが切れ目なく対処できるよう関係法令の整備と、多様な非殺傷装備品の開発。
- 3 現地調査や尖閣周辺での同盟国との共同訓練など実効支配を明確に示す行動。
- 4 ベトナム、フィリピンをはじめ海警法に反発している諸国との連携強化。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

提出先

衆議院議長 大島 理森 様
参議院議長 山東 昭子 様
内閣総理大臣 菅 義偉 様
外務大臣 茂木 敏光 様
国土交通大臣 赤羽 一嘉 様
防衛大臣 岸 信夫 様
総務大臣 武田 良太 様

女子差別撤廃条約選択議定書の批准に向けて環境整備を求める意見書
(3月30日)

世界経済フォーラム2020年版世界ジェンダーギャップ指数における日本の総合スコアは0.652、順位は153か国中121位（前は149か国中110位）と非常に低くなっている。

2020年12月に閣議決定された「第5次男女共同参画基本計画」では、「選択的夫婦別姓」について対応を進めるとの文言が削除され、「社会のあらゆる分野において2020年までに指導的地位に女性が占める割合が少なくとも30%程度」とする目標は最長10年先延ばしになるなど、全体としてジェンダー平等から後退したものとなった。

2018年には大学医学部入試試験で女性受験者に不利な採点操作が行われていたことが発覚する等、日本の女性差別の根深さが明らかになる中、さらに新型コロナウイルス感染流行下においてジェンダー不平等の社会構造が女性に厳しい負担をもたらすことが改めて浮き彫りにされた。脆弱な立場に置かれやすい女性の視点に立った政策がなお一層強く求められている中、女性に対する差別撤廃の取組強化を図るため、女子差別撤廃条約選択議定書の批准を求める請願も国会へ提出されている。

女子差別撤廃条約はあらゆる分野における女性差別の撤廃を定めた条約で、その実効性を高めるため、同条約の選択議定書が1999年の国連総会で採択された。同条約を締結する189か国のうち、2020年7月時点で114か国が選択議定書を批准しているが、日本ではまだ批准していない。

選択議定書を批准することにより、同条約に定められた権利の侵害について「女子差別撤廃委員会」に対し、個人あるいは集団が同委員会に通報することができるようになり、国際的基準に違反しているかどうかの審査を受けることが可能になる。違反等がみられると判断された場合には同委員会から締結国に対し意見や勧告が行われ、この国際的基準を元とした判断は女性差別の解消に大きく寄与すると考えられる。

従って日本でも女子差別撤廃条約選択議定書を批准し個人通報制度を導入することで、ジェンダーによる差別的な法制度を見直し、ジェンダー平等を実現するための法整備を進めていくべきである。

よって、町田市議会は政府に対し、司法制度や個人通報を受け入れる実施体制等の課題を早急に解決し、環境整備を進めるとともに、選択議定書を速やかに批准するよう強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

提出先

衆議院議長 大島 理森 様
参議院議長 山東 昭子 様
内閣総理大臣 菅 義偉 様
法務大臣 上川 陽子 様
外務大臣 茂木 敏光 様
総務大臣 武田 良太 様

性犯罪に関する刑法改正を求める意見書（3月30日）

性犯罪は被害者の人格や尊厳を著しく侵害し、その心身に対し長年にわたる多大な苦痛を与え続ける悪質重大な犯罪である。2017年には刑法の性犯罪規定について、強姦罪を強制性交等罪として定義を広げ法定刑の下限を引き上げる等、およそ110年ぶりに大幅な改正が行われた。

しかし、2019年には被害者の意に反する行為であると認定されながらも無罪とされる判決が相次ぐ等、現行の規定でも不十分であることが指摘されている。同意のない性行為があったことが明らかでも「暴行・脅迫」「抗拒不能」などの要件を証明しない限り加害者は罪に問われない等、いまだに日本では性被害が性犯罪として成立するためのハードルが非常に高くなっている。

また、日本の性交同意年齢は13歳であり、G7の中で最も低く明治時代から変更されていない。性交同意年齢とは、性行為の同意能力があるとみなされる年齢の下限であり、性行為がどのような行為かを理解し、自分が性行為をしたいか、したくないかを判断できる年齢とされ、13歳で性交同意の判断が可能かどうか現状に合わせ見直す必要があると考える。

2017年改正法の附則には「施行後3年を目途として施策の在り方を検討し、必要があると認めるときは所要の措置を講ずること」とされており、2017年改正法から3年を迎えた今、より被害者に寄り添った再改正を求める声が高まっている。

よって、町田市議会は政府に対し、下記の点を踏まえた上で、性犯罪に関する刑法規定の見直しに取り組むよう強く求める。

記

- 1 強制性交等罪の「暴行・脅迫要件、抗拒不能要件」を見直し、被害者が恐怖等により抵抗できない場合、被害者が若年者である場合、被害者の意思に反している場合等に適切な処罰が行われるよう、被害者に寄り添った刑法改正を行うこと。
- 2 性犯罪・性暴力被害者のためのワンストップ支援センターの整備促進、支援員育成、財政支援を行うとともに、警察への届けの有無に関係なく、適切かつ十分な被害者支援を行う体制を整える「性暴力被害者支援法」を制定すること。
- 3 夫婦間での性被害、男性やLGBTs被害者がワンストップ支援センターを利用できるよう周知を図り、適切に対応すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

提 出 先

衆議院 議長 大 島 理 森 様
参議院 議長 山 東 昭 子 様
内閣総理大臣 菅 義 偉 様
法 務 大 臣 上 川 陽 子 様
厚生労働大臣 田 村 憲 久 様
総 務 大 臣 武 田 良 太 様

成年年齢引き下げに伴う未成年者取消権喪失への対応を求める意見書
(3月30日)

2022年4月1日に民法における成年年齢が20歳から18歳へ引き下げられることが決定している。

本改定により18歳になると一人前の成年と認められ、親権者の同意なく契約ができるようになり、一人で携帯電話の購入やアパートの契約等が可能となる。

一方、これまで未成年者を消費者被害から守り、最大の防波堤ともされていた未成年者取消権が18歳から失われることとなり、悪質事業者のターゲットとなることが懸念されている。未成年者取消権とは、未成年者が高価な買い物をするときには原則として親権者の同意を必要とし、親権者の同意が無ければ契約を取り消すことができる権利である。

改正前の現在でも、未成年者取消権が行使できなくなる20歳(成年)のマルチ商法に関する苦情相談が急激に増加しており、クレジットカードを作成して多額の借金をし、返済に苦慮する若者も存在する。成年年齢の引き下げに伴い、このような問題が18歳から発生することは容易に想像され、アルバイト経験もない高校生がターゲットにされれば、より深刻な被害が発生する可能性がある。

そのため、成年年齢引き下げに伴う消費者被害拡大を予防し、救済する手当てが必要である。

よって、町田市議会は、成年になった若者の活躍を妨げないよう、政府として、成年年齢引き下げを見据えた消費者教育の充実をこれまで以上に進めるとともに、判断力・知識・経験等の不足につけ込んで消費者契約を締結させる、いわゆる「つけ込み型」不当勧誘について、早急に消費者契約法に取消権を整備することを強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

提 出 先

衆議院 議長 大 島 理 森 様
参議院 議長 山 東 昭 子 様
内閣総理大臣 菅 義 偉 様
法 務 大 臣 上 川 陽 子 様
厚生労働大臣 田 村 憲 久 様
経済産業大臣 梶 山 弘 志 様
総 務 大 臣 武 田 良 太 様

新型コロナウイルスワクチン接種に関する迅速な情報公開等を求める意見書
(3月30日)

新型コロナウイルス感染流行を一刻も早く終息させ、社会活動、経済活動を再開させるためにも新型コロナウイルスワクチンを安心して受けられる環境を政府は整えるべきである。

国民の間には、ワクチンが感染拡大防止の切り札になるのではないかという期待とともに、副反応や健康被害などに関する不安も根強く存在する。そのような状況下で、命や健康にかかわる情報やその根拠が不透明のままワクチン接種を進めれば、結果として接種が滞るとともに、接種を受ける人と接種を受けない人との間に分断が生じかねない。

従って、政府は新型コロナウイルスワクチン接種について、迅速な情報公開や優先接種等に関する科学的根拠に基づいた説明を誰にでも理解しやすい言葉で行うべきである。

また、ワクチンの接種体制を整備するために、自治体に対して国が必要な支援を適切に行うことも急務である。対応が遅れた場合、大量の業務を抱える自治体窓口で混乱が生じ、ワクチン接種に大幅な遅れが発生する可能性がある。

よって、町田市議会は政府に対し、下記事項を実現するよう強く求める。

記

- 1 政府は新型コロナウイルスワクチンの副反応リスクや感染予防・発症予防・重篤化予防の効果の程度、有効期間等について、情報が更新される度に迅速に説明すること。
- 2 接種についてはあくまで個人の判断とすること。その判断のために国民が求める情報は迅速・的確に届けること。
- 3 副反応を含め疑い事象について相談窓口を周知し、迅速な対応と情報公開を徹底するとともに、救済制度の更なる充実を図ること。
- 4 ワクチンの接種体制を構築するために、国が自治体に対して十分な支援を行うこと。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

提出先

衆議院議長	大島理森様
参議院議長	山東昭子様
内閣総理大臣	菅義偉様
財務大臣	麻生太郎様
厚生労働大臣	田村憲久様
総務大臣	武田良太様

子どもに対する体罰、わいせつ行為等への対策強化を求める意見書
(3月30日)

子どもたちが安全かつ安心して過ごせる場所であるはずの教育・保育施設や子どもの活動場所等において、体罰、わいせつ行為等の重大な事案が後を絶たない。

2020年にはベビーシッターマッチングサービス大手企業の登録シッターが派遣先の子どもに対する強制わいせつ罪で立て続けに逮捕される事件が発生し、ある加害シッターは過去に複数回の逮捕歴があることが明らかとなる等大きな社会問題となった。

また、文部科学省が発表した2019年度の調査では、体罰及びわいせつ行為等によって懲戒処分等を受けた公立小中高校などの教職員は800人以上に及んでいる。

ベビーシッターをはじめとする認可外の保育事業者（塾講師、スポーツインストラクター、夜間託児所等）はその欠格事由が法律で明記されていないため、性犯罪者の参入を規制できない。

教員に関してはわいせつ行為が発覚した場合、現行制度では原則として懲戒免職となるが、教員免許が失効しても3年後に再取得ができる（保育士の場合は2年で再登録可能）ため、文部科学省は法律の改正を検討していたが見送りとなった。さらにこれらの規制の対象は「同じ業界内」のみであり業界を跨ぐ場合の再就職は制限されず、事業者は採用時に小児性犯罪の前科者であることを知るすべがない。

法務省の調査によれば、小児わいせつは性犯罪の再犯率が最も高く、極めて高い常習性が指摘されている。我々は大人の責任として子どもたちが安心して過ごすことのできる教育・保育施設や子どもの活動場所の実現をより一層推進させなくてはならない。

よって、町田市議会は政府に対し、子どもに対する体罰、わいせつ行為等の防止に関する適切な体制の確立を図るとともに、採用や人事管理等のあり方に関してさらに検討を深め、子どもたちが安全かつ安心して教育・保育を受けられる環境づくりを進めるよう強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

提 出 先

衆議院議長	大 島 理 森 様
参議院議長	山 東 昭 子 様
内閣総理大臣	菅 義 偉 様
文部科学大臣	萩生田 光 一 様
厚生労働大臣	田 村 憲 久 様
総務大臣	武 田 良 太 様

総務省官僚の接待疑惑の徹底説明を求める意見書（3月30日）

菅義偉首相の長男菅正剛氏が勤務する放送事業会社「東北新社」から総務省幹部らが接待を受けていたことが明らかになった。接待を受けていた幹部は同省幹部・出身者13人

で、総務省は内11人を国家公務員倫理規定違反と認定し、減給などの懲戒処分とした。また、7万4千円を超える高額接待を受けていた内閣広報官（前総務審議官）について、当初菅総理は続投を求めたが、本人が体調不良による辞職を申し出て菅総理が追認した。

国会で、東北新社の接待の席で放送事業に関わるやり取りがあったのか問われ、総務省幹部は否定したが、週刊誌の取材音声データが公開され、事業内容について触れていたことを認めた。

衛星放送の許認可の権限を持つ総務省官僚を接待した目的、官僚が会食に応じた動機や理由、接待が頻繁に行われた背景、行政に及ぼした影響はいまだ明らかになっていない。

菅総理が総務相時代に正剛氏を大臣秘書に起用したことで総務省幹部との面識ができ、東北新社創業者に引き合わせたのも菅総理だった。

疑惑を払拭する責任は菅総理にも求められ、国会で事実をつまびらかに説明する責任がある。

また、辞職した内閣広報官、総務審議官がNTTから高額な接待を受けていたことが新たに明らかになった。これまで総務省審議官は東北新社以外から接待は受けていないと答弁してきたが、虚偽答弁だったことも疑われる。NTTは「携帯料金引き下げ」という菅総理の看板政策にかかわる事業者であり、事実を明らかにすることが必要である。

東北新社、NTTと接待を受けた総務省幹部を国会に招致して真実を明らかにすることが、国民の政治不信を払拭する上でも必要である。

よって、町田市議会は、総務省官僚などの接待疑惑の徹底解明を求めるものである。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

提 出 先

衆議院議長	大島理森様
参議院議長	山東昭子様
内閣総理大臣	菅義偉様
総務大臣	武田良太様

「こども庁」設置を求める意見書（6月30日）

少子高齢化が深刻なわが国において、子ども達の健やかな成長発達を力強くサポートしていくことの重要性がかつてなく高まっており、国、都道府県、市区町村が強力で連携して取り組むべき課題である。

地方行政の現場では、子ども・子育てに関する様々な相談や要望が住民から日々寄せられている。妊娠、出産、保育、教育、医療、福祉、児童虐待、非行、貧困、いじめ、事故など多岐にわたる要望や相談に適切に対処すべく、現場の職員は国と連携しつつ尽力しているが、国の一元的な窓口が存在しないため、十分な連携が取れず、迅速かつ適切な対応ができないケースもある。また、必要な施策を進める上で、財政的な制約も深刻である。現在報道されている「こども庁」の設置は、まさにこれらの諸課題の解決に資するものと考えられる。

よって、本議会は、国に対し、子ども政策の充実を図るため、下記の事項を実施するよう強く要望する。

記

- 1 専任の大臣のもとで強い権限を持って子ども・子育てに関する施策を一元的に所管する「こども庁」を設置すること
- 2 自治体間での格差が生じないように、国が主導して国・都道府県・市区町村の連携体制を構築すること
- 3 自治体の子ども政策を充実させるため、財政支援を強化すること

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

提出先

衆議院議長	大島理森様
参議院議長	山東昭子様
内閣総理大臣	菅義偉様
財務大臣	麻生太郎様
文部科学大臣	萩生田光一様
厚生労働大臣	田村憲久様
総務大臣	武田良太様

学校教育におけるデジタルトランスフォーメーションを適切に進めるための意見書
(6月30日)

現在、教育の現場では、「誰一人取り残すことのない公正に個別最適化され、創造性を育む学び」の実現を目指す「GIGAスクール構想」の一環で、児童生徒に一人一台の情報端末の貸与、並びに校内の高速ネットワーク整備が進められています。

また、これらのハード面の取り組みに加えて、児童生徒の「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実や、「特別な配慮を必要とする児童生徒の学習上の困難の低減に資するもの」として、「デジタル教科書」の導入も進められようとしています。

「GIGAスクール構想」に対しては、ICTを活用したオンラインでの授業や宿題の配布、さらにデジタル教科書やデジタルドリルの活用など、各人の状況に合わせた学習を推進することにより、多様な学びの実現と教員の負担軽減などへの期待が高まっています。一方で、すべての教員が情報端末を活用した一定レベルの授業を行うことができるように、個人情報取扱い及び管理も含めた教職員の資質の向上が求められます。また、デジタル教科書・教材は、学校から貸与された端末を使い、学校のシステムに接続する必要があり、例えば、転校先でも復習や学びが継続できる環境を整備しておくことも重要です。

さらに、デジタル教科書のみを使用した場合には、学習の基本能力である「読解力」の低下が危惧されます。そこで、各自治体において、Society5.0時代を生きる子どもたちにふさわしい教育を推進するため、学校教育にICTを浸透させ、さらなる教育の充実を図るためのデジタルトランスフォーメーション（以下、DX）の実現に向けて取り組んでいくべきです。そのために、下記の事項について迅速に対応することを強く求めます。

記

- 1 情報端末の利活用、個人情報の取扱いなど、教育DXに対応する教職員研修のあり方について検討を進めること。

- 2 システムやソフトウェアの整備、情報端末や通信設備の修繕や定期更新など、教育DXに関する学校教育予算の充実・確保とそのあり方について検討を進めること。
- 3 様々な会社の情報端末とデジタル教科書と個人認証システムの互換性を確保するための、統一規格について検討を進めること。
- 4 よく聞き、よく読み、よく書くなどの生涯学び続けるための基本的な「学ぶスキル」を身に付ける上で、紙面の活用と対面学習の併用を検討すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

提出先

衆議院議長 大島理森様
 参議院議長 山東昭子様
 内閣総理大臣 菅義偉様
 財務大臣 麻生太郎様
 文部科学大臣 萩生田光一様
 総務大臣 武田良太様

全国一律の「盛り土」規制の法整備を求める意見書（9月29日）

7月の大雨で発生した静岡県熱海市の大規模土石流は、死者26人行方不明1人の犠牲者を生んだ（9月3日時点）。犠牲者遺族は、原因が「盛り土」だったとして所有者を刑事告訴している。違法な盛り土を造成し、安全に管理しなかった人災に対する責任を問うためである。

甚大な被害を引き起こした原因の徹底究明と責任の明確化は再発防止にとって不可欠である。このような土石流被害は日本全国で後を絶たず、そのたびに強い規制を求める声が上がっていた。しかし、国は「盛り土」を規制する仕組みづくりを怠り、自治体任せにしてきた。

宅地を作ったり、廃棄物を埋め立てたりする場合の「盛り土」は安全対策が法律で義務付けられているが、建設工事が出る残土を処分するための盛り土を規制する法律はない。地方自治体が独自の条例を制定し規制しているが、罰金も軽く、強く規制をすることができない。自治体によって許可制、届け出制の違いがあり、悪質な業者が規制の緩い自治体に残土を運び込み、盛り土を作ることも指摘されている。不法投棄も少なくない。

抜け道を塞ぐために、規制を国に求める自治体の声は深刻である。関東地方知事会議は、「条例で定めることのできる罰則では、不適正な事案に対する十分な抑止力になっていない」と訴え、近畿ブロック知事会は、「全国一律に適用される最低限度の基準の設定等が不可欠」と提言している。

熱海市の土石流被害の後、国土交通省は盛り土の総点検を開始した。危険な盛り土を洗い出して、直ちに対策をとることが求められている。

違法な盛り土を野放しにしてきた国は、早急に残土の発生から搬出・処理に至る流れを管理する仕組みを作り、「盛り土」を厳格に規制できる法律を制定するべきである。

よって、町田市議会は、国に対して、全国一律の「盛り土」規制の法整備を求めるものである。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

提 出 先

衆議院議長 大 島 理 森 様
参議院議長 山 東 昭 子 様
内閣総理大臣 菅 義 偉 様
農林水産大臣 野 上 浩 太 郎 様
国土交通大臣 赤 羽 一 嘉 様
環 境 大 臣 小 泉 進 次 郎 様
総 務 大 臣 武 田 良 太 様

出産育児一時金の増額を求める意見書（９月２９日）

厚生労働省によると２０１９年度の出産費用が正常分娩の場合、全国平均額は約４６万円で、室料差額等を含む費用の全国平均額は約５２万４０００円となっています。出産にかかる費用は年々増加し、費用が高い都市部では現在の４２万円の出産育児一時金の支給額では賄えない状況になっており、平均額が約６２万円と最も高い東京都では、現状、出産する人が約２０万円を持ち出している計算となります。

国は、２００９年１０月から出産育児一時金を原則４２万円に増額し、２０１１年度にそれを恒久化、２０１５年度には一時金に含まれる産科医療補償制度掛金分３万円を１．６万円に引下げ、本来分３９万円を４０．４万円に引き上げました。２０２２年１月以降の分娩から産科医療補償制度掛金を１．２万円に引下げ、本人の受取額を４０００円増やすとともに、医療機関から費用の詳しいデータを収集し実態を把握したうえで増額に向けて検討することとしています。

一方、令和元年の出生数は８６万５２３９人で、前年に比べ５万３１６１人減少し過去最少となりました。少子化克服に向け、安心して子どもを産み育てられる環境を整えるためには、子どもの成長に応じた、きめ細かな支援を重ねていくことが重要であり、一時金はその大事な一手であると考えられます。

少子化対策は、わが国の重要課題の一つにほかならず、子育てのスタート期に当たる出産時の経済的な支援策を強化することは欠かせません。

よって、政府に対し、現在の負担に見合う形に出産育児一時金を引き上げることを強く求めます。

以上、地方自治法第９９条の規定により意見書を提出します。

提 出 先

衆議院議長 大 島 理 森 様
参議院議長 山 東 昭 子 様
内閣総理大臣 菅 義 偉 様
厚生労働大臣 田 村 憲 久 様
総 務 大 臣 武 田 良 太 様

選択的夫婦別姓制度の法制化に向けた議論を求める意見書（９月２９日）

平成３０年２月に内閣府が公表した世論調査において、夫婦同姓も夫婦別姓も選べる選択的夫婦別氏（姓）制度の導入に賛成または容認すると答えた国民は６６．９％であり、反対の２９．３％を大きく上回ったことが明らかになりました。

しかし、現行の民法では、婚姻時に夫婦のいずれか一方が姓を改めることと規定しています。このため、社会的な信用と実績を築いた人が望まない改姓をすることで、自己同一性を喪失し苦痛を伴う、一部の資格証では旧姓の使用が認められない、姓を維持するために法的な保障の少ない事実婚を選択せざるを得ないなどの問題が生じています。

政府は旧姓の通称使用の拡大の取組を進めていますが、ダブルネームを使い分ける負担の増加、社会的なダブルネーム管理コスト、個人識別の誤りのリスクやコストを増大させる等の問題も指摘されています。また、通称使用では、自己同一性を喪失する苦痛を解消するものにはならず、根本的な解決策にはなりません。

また、少子高齢化による一人っ子同士の結婚や子連れ再婚、高齢での結婚が増え、改姓を望まないと考える人や現行の民法では改姓をしなければならないことから結婚を諦めてしまう人がいるため、一層非婚や少子化につながる要因にもなっています。

このような状況から、国連の女子差別撤廃委員会は、日本政府に対し女性が婚姻前の姓を保持する選択を可能にするよう再三にわたり民法の改正を勧告しています。

さらに、平成２７年１２月の最高裁判決に引き続き、令和３年６月の最高裁決定においても、夫婦同姓規定が合憲とされる一方、夫婦の氏に関する制度の在り方については、国会で論ぜられ、判断されるべきであるとされたところですが、依然として国会での議論は進んでいない状況です。

よって、国におかれては、選択的夫婦別姓制度の法制化に向けた積極的な議論を行うよう強く要望します。

以上、地方自治法第９９条の規定により意見書を提出します。

提 出 先

衆議院議長 大 島 理 森 様
参議院議長 山 東 昭 子 様
内閣総理大臣 菅 義 偉 様
法 務 大 臣 上 川 陽 子 様
総 務 大 臣 武 田 良 太 様

ナラ枯れ被害対策の広域的な強化を国に求める意見書（９月２９日）

わが国の国土の６７％を占める森林は、地球温暖化の防止、国土の保全、水流涵養など生活に欠く事ができない多面的機能を有している。森林２５００万haのうち、１３００万haは天然林であり、そのうち約１１００万haが天然広葉樹林である。わが国の天然広葉樹林のなかでナラ枯れと思われる被害は早くから各地で記録されており、新しい生物被害ではないが１９８０年代以降、被害が急激に拡大し始めた。２０１０年度の被害量（被害材積）３２．５万 m^3 （林野庁）をピークに減少傾向にあったが、２０１９年度は約６万

m³の被害量となっており、2018年度に比べ、約1.5万m³の増加である。

東京都では2010年度に島しょ部（三宅島、御蔵島、八丈島）で被害が確認された後、内地での被害は確認されていなかったが、2019年度に入って都立公園にナラ枯れの症状が確認された。多摩地域でも昨年度から急速に被害が広がっている。

よって国においては、カシノナガキクイムシに対する被害の拡大防止を行うため、以下の事項について特段の措置を講じられるよう強く要望する。

- 1 被害の拡大防止のため、広域的な視点で国・県・都・関係市町村が連携して一体的に被害木の駆除に取り組むことが必要であり、このための態勢を整えると共に、これに伴う財政的措置を講じること。

以上、地方自治法第99条の規定により提出する。

提出先

衆議院議長	大島理森様
参議院議長	山東昭子様
内閣総理大臣	菅義偉様
農林水産大臣	野上浩太郎様
国土交通大臣	赤羽一嘉様
環境大臣	小泉進次郎様
総務大臣	武田良太様

国民の命と暮らしを守る新型コロナウイルス感染症対策の実施を求める意見書
(9月29日)

新型コロナウイルス感染症は社会経済活動の制約を長期化させ、国民生活や経済に深刻な影響を与えている。そのうえ、デルタ株の感染拡大や、緊急事態宣言が発出されても人流が十分に抑えられなくなった等の理由により、感染者数やPCR陽性率が高水準で推移し、特に50代以下の重症化が顕著にみられるようになってきた。今後もこれまで経験したことのないような医療ひっ迫となる恐れがある。

国は責任をもって「助かる命が助からなくなる」という最悪の事態を食い止めなければならない。よって、町田市議会は「国民の命と暮らしを守る」観点から、下記の事項を徹底し、万全の対策を講ずるよう政府に対し強く求める。

記

- 1 新型コロナウイルス感染症患者の入院・治療について、都道府県を越えて患者を受け入れる体制、医療関係者を融通し合う体制や、必要な人が検査を受けられる体制を整備すること。
- 2 あらゆる方策を講じても入院ができない場合には、町田市に設置されたような酸素吸入器付きの入院待機ステーション、臨時医療施設の設置や宿泊療養施設を確保するなど、必要な医療を受けられる体制を整備すること。
- 3 やむを得ず患者が自宅療養する場合には、少なくとも在宅で持続的な酸素投与ができ

る体制を整備し、感染防護品を確実に供給すること。また、診療を受けられずに放置されることがないように、確実に訪問診療等を受けられる体制を整備するとともに、容体が悪化した場合には迅速に対応、確実に入院できる体制を整備すること。

- 4 抗体カクテル療法が必要な場合は、宿泊療養施設や医療機関の外来などでも確実かつ安全に受けられるよう供給量を確保し、速やかに体制を整備すること。
- 5 新型コロナウイルスにより多大な影響を受けた医療従事者等や事業者に対し、慰労金や事業に配慮した持続化給付金を再支給すること。
- 6 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金のさらなる追加交付をすること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

提出先

衆議院議長 大島理森様

参議院議長 山東昭子様

内閣総理大臣 菅義偉様

厚生労働大臣 田村憲久様

経済産業大臣 梶山弘志様

経済再生担当大臣

西村康稔様

新型コロナウイルス感染症ワクチン接種推進担当大臣

河野太郎様

総務大臣 武田良太様

同性婚を認める法改正に向けた議論の促進を求める意見書（12月23日）

私たちの国には、既に同性のカップルが人生を共にし、結婚に相当する生活を送っている。共に子どもを育てている同性カップルも存在し、養育里親になるケースもある。しかし、そうした方々が法的に婚姻できない状態になっていることで、相続ができない、子どもの「両親」として認められない、などで重大な不利益が生じている。憲法14条「法の下の平等」、憲法24条「婚姻の自由」をすべての人に保障する体制が求められている。

調査によると、世界においては、29か国において同性婚が認められている。国内では、全国の130以上、日本の人口のおよそ4割にあたる自治体で同性パートナーを認める制度が導入されている。そうした中で、社会的な理解が急速に進んでおり、2021年3月に実施されたNHKの世論調査で、同性婚を認めることに対して、「どちらかといえば賛成」「賛成」を合わせると約6割が賛成。賛成の理由としては「誰にでも平等に結婚する権利があるから」が8割近く、という結果であった。

政府も、「性的指向や性自認を理由とする偏見や差別をなくし、理解を深めることが必要」と呼びかけている。「誰一人取り残さない」共生社会の実現に向け、当事者が抱える生きづらさや生活上の困難を謙虚に学び、議論していく必要があると考える。

よって、町田市議会は、国に対して同性婚を認める法改正に向け、議論促進を強く求めるものである。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

提出先

衆議院議長 細田博之様
参議院議長 山東昭子様
内閣総理大臣 岸田文雄様
法務大臣 古川禎久様
厚生労働大臣 後藤茂之様
総務大臣 金子恭之様

「地方自治法施行令第167条の2第1項第1号」に定める
少額随意契約の限度額の見直しを求める意見書（12月23日）

地方公共団体が締結する契約は、地方自治法第234条第1項に、「売買、貸借、請負その他の契約は、一般競争入札、指名競争入札、随意契約又はせり売りの方法により締結するものとする。」と規定され、同法同条第2項には、「前項の指名競争入札、随意契約又はせり売りは、政令で定める場合に該当するときに限り、これによることができる。」と規定されている。

この法に基づき、地方自治法施行令（以下、「施行令」という。）には第167条の2第1項に、入札の方法によらず、任意の方法で特定した契約候補者と契約を締結する随意契約が規定されており、その内の第1号には、「売買、貸借、請負その他の契約でその予定価格が契約の種類に応じ定める額の範囲内において普通地方公共団体の規則で定める額を超えないものをするとき。」と、修繕工事など迅速に対応するために少額の場合の随意契約を定めている。その額は、「工事又は製造の請負」にて130万円、「財産の買入れ」で80万円、「物件の借入れ」で40万円、「財産の売払い」で30万円、「物件の貸付け」で30万円、業務委託などの「これら以外のもの」で50万円としている。これらの額が定められたのは1982年の「施行令」改正時である。

一方、1989年には消費税が導入され、2019年には税率が10%に引き上げられた。随意契約において契約する際にも、消費税を含んだ額にて契約することとなる。つまり、少額にて随意契約する際には、既に消費税分10%が留保されている。また、人件費や物件費の上昇もあり、受注事業者の収入は1982年当時と比べて、ますます、目減りしている状況にある。併せて、現状のままでは能率的な行政運営に支障が出てくるおそれがある。しかしながら、地方自治体は、「施行令」が改正されない限り、これらの限度額を上回る額を随意契約できる額として「規則」に規定することはできない。

よって、町田市議会は、受注事業者が相当額の収益を得られるように「施行令」第167条の2第1項第1号を早急に改正されるよう、下記のとおり国に対して求めるものである。

記

- 1 今から40年近く前に定められた「施行令」第167条の2第1項第1号の少額にて随意契約できるそれぞれの限度額は、消費税の導入や人件費及び物件費の上昇といった状況を反映していない。透明性を担保した上で、適正な限度額に是正すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

提 出 先

衆議院 議長 細 田 博 之 様
参議院 議長 山 東 昭 子 様
内閣総理大臣 岸 田 文 雄 様
法 務 大 臣 古 川 禎 久 様
総 務 大 臣 金 子 恭 之 様

町田児童相談所の早期設置を求める意見書（12月23日）

全国の児童相談所が2020年度に相談対応した児童虐待件数は調査開始以来初めて20万を超え、2019年度に虐待で死亡した子どもは前年度より5人増え、78人となった。

この町田市においては、八王子児童相談所が管轄し、市の関係各所と連携して児童虐待対応等に努力されているが、八王子児童相談所の所管は、八王子市、町田市、日野市のおよそ120万人規模である。体制上、また地理的な状況から迅速な対応に課題を抱えていることは、これまでも指摘されていることである。

令和5年4月1日施行の「児童福祉法施行令」の改正では、児童相談所の管轄は「管轄区域における人口が、基本としておおむね50万人以下であること」としている。さらに、「『児童福祉法施行令及び地方自治法施行令の一部を改正する政令』の公布について（通知）」（令和3年の7月21日付厚生労働省子ども家庭局長通知）によれば、「『おおむね50万人』との規定は、<略>管轄人口20万人から100万人までの範囲が目安となる趣旨であり、これを踏まえて積極的に管轄区域の見直しを検討されたいこと。」とある。

虐待予防、早期発見に力を入れるとともに、訪問調査、一時保護等に対応する児童相談所の設置は急務である。子どもが虐待で生命を奪われることのない社会、これは行政、そして私たち大人の責任であると考えます。

よって、東京都に対し、町田市に児童相談所を早期に設置することを強く求めるものである。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

提 出 先

東京都 知 事 小 池 百合子 様
総 務 大 臣 金 子 恭 之 様

●委員会提出議案

インターネット上のいじめ抑止に関する意見書（9月29日）

インターネットの普及やSNSの発達等により、私たちは簡易にコミュニケーションをとることができるようになった。しかし、その一方で匿名による誹謗中傷などが後を絶たず、深刻な社会問題となっている。また、インターネット上による社会問題は、誹謗中傷

にとどまらず、教育の現場でも「いじめ」の要因ともなっている。

このような状況下において、文部科学省では新しい「学習指導要領」として「GIGAスクール構想」を進めている。

「GIGAスクール構想」とは、児童生徒1人1台の学習者用端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備する構想のことであり、子どもたちの未来を見据え、創造性を育む教育ICT環境の実現に向けた政策とされており、2020年度には全教室の無線LAN環境整備と学習者用端末の1人1台の導入が決定している。町田市においても、児童生徒に対し1人1台のタブレット端末を配布しており、現在無線LAN環境整備などに力を入れ、新型コロナウイルスの影響下でリモート授業等の対応も含め各児童生徒がタブレットを家庭に持ち帰っている状況にある。

このような環境下で今回町田市立小学校に通っていた6年生の女子児童が「いじめ」を受けていたという趣旨の遺書を残し自殺したという報道がされた。この事件の中では学校で配られたタブレット端末のチャット機能が使われ誹謗中傷が繰り返されていたという可能性が指摘されている。

文部科学省では、平成25年に制定された「いじめ防止対策推進法」の中で「いじめ」の防止等のための対策の調査研究の推進等について定めているが、実際は調査研究及び検証をするための発信者情報の開示請求などを学校や教育委員会が行い調査・検証を行う法的体制が整っていないのが現状である。

そこで町田市議会は、今後「いじめ」により尊い児童の命が失われないよう、国に対し以下について求める。

- 1 「いじめ」による自殺の可能性がある場合、地方自治体や学校が調査・検証する体制を速やかに立ち上げるため、「いじめ」に係る発信者情報の開示請求等ができるよう法的整備を求める。
- 2 「GIGAスクール構想」によるタブレット端末による「いじめ」が今後起きないように、児童生徒同士がやり取りできるチャット機能等の使用制限強化を求める。
- 3 今回町田市で起こった事件に関する調査・検証体制を速やかに立ち上げ、事態の真相を明らかにすることを求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

提出先

衆議院議長	大島理森	様
参議院議長	山東昭子	様
内閣総理大臣	菅義偉	様
文部科学大臣	萩生田光一	様
デジタル大臣	平井卓也	様
総務大臣	武田良太	様

(7) 請 願

請願番号	件 名	受理月日	議決月日	結 果
1	公式戦のできるテニスコートの整備を早急に進めることを求める請願	R3. 2. 16	6月17日	取り下げ
2	国民健康保険税の値上げを行わないことを求める請願	R3. 2. 19	3月29日	不採択
3	第8期介護保険料の値上げを行わないことを求める請願	R3. 2. 19	3月29日	不採択
4	野津田公園旧バラ広場へのテニスコート建設予算の執行延期を求める請願	R3. 2. 19	3月29日	不採択
5	都・国に対し「命を守るため、今すぐ東京五輪・パラリンピック開催中止の決断を求める意見書」の提出を求める請願	R3. 5. 26	6月17日	不採択
6	町田市立小中一貫ゆくのき学園の廃校見直しを求める請願	R3. 5. 31	6月30日	採 択
7	野津田公園旧ばら広場への土砂埋立てによる危険を避け安全の確保と環境保全を求める請願	R3. 6. 7	6月30日	不採択
8	「中学校歴史教科書の採択の特例」に関する請願	R3. 6. 7	6月30日	不採択
9	町田市教育委員会の「町田市新たな学校づくり推進計画」について見直しを求める請願	R3. 8. 19	9月29日	不採択
10	町田の市立学校をなくさないで！すべての小・中学校の存続を求める請願	R3. 8. 26	9月29日	不採択
11	町田市の葬祭事業の継続を求める請願	R3. 8. 26	12月22日	継続審査
12	町田市の葬祭事業廃止にあたり、この事業の継続を求める請願	R3. 11. 25	12月22日	継続審査
13	熊沢あやり町田市議会議長の数々の問題行動により、毀損した町田市及び町田市議会の名誉の回復を求める請願	R3. 11. 29	12月22日	継続審査
14	リニア・トンネル工事について市民の安全・安心のための請願書	R3. 11. 29	12月22日	継続審査
15	中等度難聴者に対する補聴器購入費の助成を求める請願	R3. 11. 29	12月22日	継続審査
16	国に対し「75歳以上の医療費窓口負担2割化の実施を中止する意見書」提出を求める請願	R3. 11. 29	12月9日	不採択
17	認可保育所と認定こども園の運営費補助格差を解消し、認定こども園が健全に運営できるよう是正することを求める請願	R3. 11. 29	12月22日	採 択
18	本町田小学校の存続を求める請願	R3. 11. 29	12月22日	継続審査

(8) 陳 情

陳情 番号	件 名	受理月日	付託 月日	議決 月日	結 果
1	自衛隊の医療部隊増強について意見書を国に提出することに関する陳情	2月3日	—	—	健康福祉 常任委員会 参考送付
2	安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康をまもるための意見書の提出に関する陳情	2月17日	—	—	健康福祉 常任委員会 参考送付
3	新型コロナウイルス感染症に関する陳情	2月19日	—	—	健康福祉 常任委員会 参考送付
4	厚生労働省へ保健所の感染症に対する機能強化の意見書を提出することに関する陳情	3月29日	—	—	健康福祉 常任委員会 参考送付
5	首都東京の在日米軍基地返還の道筋をつける為、対外的情報省の設立を求める意見書を防衛省に提出することに関する陳情	5月10日	—	—	総務 常任委員会 参考送付
6	パンデミックに潜在看護師を活用すべきと国に意見書を提出することに関する陳情	6月7日	—	—	健康福祉 常任委員会 参考送付
7	辺野古新基地建設の中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について国民的議論を行い、憲法に基づき公正かつ民主的に解決するべきとする意見書の採択を求める陳情	6月21日	—	—	総務 常任委員会 参考送付
8	特別定額給付金の再度実施について求める意見書を町田市議会が政府に提出することに関する陳情	8月18日	—	—	健康福祉 常任委員会 参考送付
9	同性パートナーシップ制度及び性的マイノリティに関する施策について慎重な検討を求める陳情	11月29日	—	—	文教社会 常任委員会 参考送付
10	新型コロナウイルス罹患後と同ワクチン接種後の健康状態調査について	12月15日	—	—	健康福祉 常任委員会 参考送付

(9) 質疑の通告内容

◎代表質疑等

第1回定例会

自由民主党 (85分)

質 疑 者	質 疑 事 項	
いわせ和子 (代表質疑)	・ 一般会計予算	(1) 令和3年度当初予算について
	・ 施政方針	(1) 2021年度の市政運営の視点について (2) 将来を担う人が育つまちをつくる取組について (3) 安心して生活できるまちをつくる取組について (4) 賑わいのあるまちをつくる取組について (5) 暮らしやすいまちをつくる取組について (6) 行政経営改革の取組について

公明党 (60分)

質 疑 者	質 疑 事 項	
山下てつや (代表質疑)	・ 施政方針	(1) 町田市は、その立地や交通利便性、都市とみどりの“ちょうどよさ”から、人々の暮らし方や働き方に対する価値観の変化を受け入れるポテンシャルを多分に秘めているとのことだが、今後の未来へつなげる投資について、どのように考えているのか。 (2) 中学生全員に安全・安心で、栄養バランスが整えられた「温かい給食」を提供するため、給食センター方式による全員給食を目指すとのことだが、現行方式を導入してから、どのような経過を辿ってきたのか。複数箇所に整備を予定している給食センターの建設地や建設スケジュール及び複合的な機能について、どのように検討していくのか。さらに、将来的には給食費の無償化の実現に向けて取り組むべきと考えるがどうか。 (3) 子どもの居場所の充実を図るため、小山田中学校区子どもクラブについては、建設工事に着手し、2021年度内の開館を目指しているとのことだが、町田市の子育て環境の魅力をさらに高めるためにどのように取り組んでいくのか。 (4) 新型コロナウイルスの感染予防対策として、町田市発熱相談センターと地域外来・検査センターの体制を引き続き維持し、感染症の拡大防止に努めることや、接種が始まるワクチンについても、万全な体制を整えるとのことだが、具体的な対応状況はどうか。 (5) 町田市地域防災計画は、コロナ禍の経験や近年の大型台風の課題等を踏まえ修正したとのことだが、首都直下型地震や豪雨への対策で災害に強い街づくりについて、どのような考え方で進めていくのか。

<p>山下てつや (代表質疑)</p>	<p>・ 施政方針</p>	<p>(6) 町田リサイクル文化センターは、2022年1月に、「町田市バイオエネルギーセンター」と名称を変え、装い新たに生まれ変わることだが、熱回収施設等の整備エリアにおいて、「温浴施設」を含め、どのようなまちづくりを行っていくのか。また、資源化施設の整備についてはどのように取り組みを進めていくのか。</p> <p>(7) 市内経済の要所である町田駅前を中心市街地については、駅周辺地区の都市再生整備計画を策定し、原町田大通りを使った社会実験を行うとのことだが、都市再生整備計画の内容は。また、2021年度は社会実験を行うということだが、その後の展開はどのように考えているのか。</p> <p>(8) 芹ヶ谷公園“芸術の杜”については、子どもも大人も学び、楽しめるような様々な活動が展開される「パークミュージアム」の実現に向けた取り組みを引き続き行うとのことだが、「子どもと体験」の旗印となる体験工房について、民間活力の導入や土地の有効活用を含め、今後どのように整備を進めていくのか。</p> <p>(9) 活気あるまちには市内事業者のチャレンジが必要不可欠であり、新たなビジネスモデルや新技術の導入に意欲的な事業者への支援を行い、市内事業者の競争力強化と付加価値の向上を図るとのことだが、中小企業者などへの支援についてはどのように取り組んでいくのか。</p> <p>(10) 多摩都市モノレールの延伸について、中心市街地から、木曽山崎団地、忠生・北部といった3つのエリアのまちづくりまで、モノレールを迎え入れるための準備を進めるとのことだが、コロナ禍を受けて、人の移動についての価値観が変わってきており、それぞれのエリアについて、魅力的な交流拠点としてのポテンシャルを引き出すまちづくりを行っていくことが求められるが、市としてどのように取り組むのか。</p> <p>(11) 小田急多摩線の延伸については、相模原市との共同による調査検討や、収支採算性等の課題解決に向けた関係機関との調整・協議を引き続き進めるとのことだが、早期実現に向けて、今後の取り組みを伺いたい。</p> <p>(12) 行政のデジタル化について、これまでとは全く違ったスピードで、急速に進展していくことを期待しているとのことだが、市民サービスの向上に向けて、どのように取り組みを進めていくのか。</p>
-------------------------	---------------	---

まちだ市民クラブ（60分）

質 疑 者	質 疑 事 項	
<p>わたべ真実 (代表質疑)</p>	<p>・ 一般会計予算</p>	<p>(1) 新型コロナウイルスの影響により税収が2020年度予算と比較して約52億円の減収とあるが、この経済悪化の状況は今後どの程度続くと見込んでいるか。市内経済も落ち込む中、今後、町田市の税収を回復させていくための対策は。 町田市の財政全般についての課題と取り組みについて聞く。</p> <p>(2) 事業の優先付けを行い、実施時期の見直しや、事業の廃止・縮小などの抜本的な見直しを行ったとあるが事業費をどの程度抑えられたのか。一方、一般会計歳出総額は約77億円の増額である。その要因は。</p>
	<p>・ 施政方針</p>	<p>(1) 学校教育のデジタル化について ICTの積極的活用によりGIGAスクール構想によるタブレット端末の全生徒配備などによる、学校教育デジタル化の加速により、教育現場ではどのような変化が見込まれるのか。またデジタル化の中で、どのようにコミュニケーション能力を身につけることができるのか。</p> <p>(2) 中学校給食について「選択制」から給食のセンター方式に方針転換し基本計画を策定するとあるが、今後の進め方はどうか。</p>

<p>わたべ真実 (代表質疑)</p>	<p>・ 施政方針</p>	<p>(3) 新型コロナウイルス感染症のワクチン接種について、町田市の進捗状況は。</p> <p>(4) 小中学校の避難施設機能の向上と他の施設の老朽化対策に及ぼす影響について</p> <p>(5) 新しい熱回収施設の整備について稼働によるごみ減量や事業の効果について聞く。</p> <p>(6) 芹ヶ谷公園芸術の杜・(仮称)国際工芸美術館について 「芹ヶ谷公園芸術の杜」について、今回の計画により約20年間で約252億円の経済効果を見込んでいるが、この経済効果の算出根拠は。また(仮称)国際工芸美術館整備事業・国際版画美術館との一体工事事業・体験工房整備事業にかかる予算総額40億円の妥当性についての見解を聞く。</p> <p>(7) 第3次町田市環境マスタープランの策定について 目指すものについて伺う。</p> <p>(8) 行政のデジタル化の推進について 「“e-まち”実現プロジェクト」を促進することにより、向上する市民サービスと庁内の連携のイメージは。</p> <p>(9) 民間のノウハウを積極的に活用とあるが、想定される効果と具体的な内容は。</p> <p>(10) 公共施設の再編の推進について 複合化も含めた再編を着実に進めるとあるが、昨年の代表質疑の答弁では、まず保健所中町庁舎と健康福祉会館ということでした。今後の財政状況を踏まえ、どのように進めていくのか。町田シバヒロの位置づけはどのようなのか。</p>
<p>森本せいや</p>	<p>・ 町田市立図書館条例</p>	<p>(1) 指定管理者制度を図書館に導入するにあたり、そのメリット及びデメリットを冷静に分析しているか。</p> <p>(2) 全国の成功例、一部報道に見られるような不適切な例をしっかりと把握しているか。</p>

保守の会 (55分)

質 疑 者	質 疑 事 項	
<p>白川哲也 (代表質疑)</p>	<p>・ 施政方針</p>	<p>(1) 中学校給食について</p> <p>① 無料試食会の実施を踏まえてどのような検討がなされ、方針転換に至ったのか。</p> <p>② 給食センターの建設費、運営費はどう考えるか。</p> <p>③ 運営費はデリバリー方式と比較するとどうか。</p> <p>④ 町田市の財政全体に与える影響と費用対効果はどうか。</p> <p>⑤ 中学校給食のセンター施設の予定の箇所数、使用エネルギーの分散化とソフトエネルギーの導入の是非などそのエネルギー源はどのように考えているか。</p> <p>(2) 新型コロナウイルス感染症対策について、ワクチン接種などを含め今後どのように進めていくのか。</p> <p>(3) 原町田大通りに新たな憩いと賑わいの空間を創り出すとしているが、2020年度の社会実験からどのようなことが導き出されたのか。原町田大通りの将来像は。</p>

白川哲也 (代表質疑)	・ 施政方針	<p>(4) 歳出を見直すにあたり、約200ある政策的事業の中でどのような経緯を経て、どのような判断で、(仮称)国際工芸美術館は優先的に取り組むべき事業となったのか。</p> <p>(5) 東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた現在の準備状況とコロナ禍における今後の進め方は。</p> <p>(6) 相原駅周辺の街づくりを計画的に進めていくとしているが、どのように街づくりを進めていくのか。</p> <p>(7) SDGsの考え方をどのように環境マスタープランの中で反映させていくのか。</p> <p>(8) デジタル化の推進について、デジタルを活用しどのように生産性の向上を図っていくのか。その考え方を問う。</p> <p>(9) 2021年度の事業選定に当たっては、市内経済を支える施策を優先的に選定するとしているが、コロナ禍における経済施策をどのように進めていくのか。</p> <p>(10) 公共施設の再編について、検討状況と今後の進め方は。</p> <p>(11) 市税収入は昨年比52億円減の636億円とここ十数年でも過去最低となる一方、一般会計1,738億円、特別会計を含めた総額は3,003億円と過去最高となっているが、どのように予算を組んだのか。また、将来負担など今後の財政状況はどうなっていくか。</p>
	・ 町田市病院事業会計予算	<p>(1) 町田市病院事業会計予算において、新型コロナウイルス感染症はどのように影響をしているか。</p>

日本共産党 (50分)

質 疑 者	質 疑 事 項
殿村健一 (代表質疑)	<p>・ 施政方針</p> <p>(1) “コロナパンデミック”の経験から学んだ教訓は何か。「自己責任論」ではなく、「公助」として、市民の命と暮らしを守る地方自治体としての役割を問う。 また、今、求められている新型コロナ感染予防対策、保健所と市民病院の体制強化、暮らし支援について問う。</p> <p>(2) 「厳しい財政状況にあっても、10年、20年先を見据え、芹ヶ谷公園“芸術の杜”…(略)…のようなプロジェクトには果敢に投資していく」と述べている。しかし、今、優先して果敢に投資すべきは、未来を担う子どもたちの教育環境充実へ少人数学級を実現すること。また、市民のために市立図書館を存続し、市民の要求にこたえることだと考えるが、どうか。</p> <p>(3) 中学校全員給食実施の目的と意義、必要な条件について問う。</p> <p>(4) 多摩都市モノレール延伸と「3つのエリア」のまちづくりについて内容と課題(整備費用、採算性、町田市の財政負担、住環境への影響、他の新交通システムの検討など)について問う。また、「モノレールを前提としたまちづくり」の転換を求めるが、どうか。</p> <p>(5) 「デジタル化」の功罪について問う。「デジタル化」に伴って人員削減をするのではなく、市民の声にしっかりと寄り添って、「住民の福祉の増進」のために仕事をすべきと考えるが、どうか。</p>
佐々木智子	<p>町田市国民健康保険条例の一部を改正する条例</p> <p>(1) 税率及び税額改定の目的と内容は何か。</p> <p>(2) 算出根拠はどうか。</p> <p>(3) 新型コロナウイルス感染症による被保険者の所得への影響をどう勘案したのか。</p>

田中美穂	町田市立図書館条例	<p>(1) 市立図書館への指定管理者制度の導入は、どこで検討され、どのように決定されたのか。</p> <p>(2) 今回の条例改正によって指定管理者制度を導入できる図書館はどこか。</p> <p>(3) 導入する場合、どのような手続きが必要になるか。</p> <p>(4) 鶴川駅前図書館は複合施設の中にあるが、指定管理の範囲はどうなるのか。</p>
------	-----------	--

諸派（10分）

質疑者	質 疑 事 項	
新井よしなお	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一般会計予算 	<p>(1) えいごのまちだ事業について</p> <p>① 「英語教育で選ばれるまちだ」を実現する、とあるが、他の自治体と比較をして「選ばれるまちだ」となる理由は何か。</p> <p>② 学校によって指導レベルに差はないか。</p> <p>③ 近隣自治体ではフォニックスを導入しているところもあるが、指導しない理由は何か。</p>
	<p>1 えいごのまちだ事業</p>	

諸派（10分） ※他の諸派議員（藤田学議員）より譲り受けた5分含む

友井和彦	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一般会計予算 	<p>予算編成方針について 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた予算編成であるとの認識に立って。</p> <p>(1) 基本方針1に「歳入予算の大幅な減少が見込まれることから事業の優先順位付けを行い、実施時期の見直しや、事業の廃止、縮小など事務事業の抜本的見直しを行う」とある。見直し対象となった市民要望の事業も存在する中、一般会計、特別会計共に過去最大となる予算を計上している。</p> <p>① 実施時期の見直し、廃止、縮小となった主な事業は。</p> <p>② 歳入減の中、過去最大の予算編成となっていることについての見解及び影響を受ける市民への説明責任をどう考え、どのように説明するのか。</p> <p>(2) 基本方針3に2021年度を支える3つの柱がある。その重点的に取り組む事業に「まちの魅力向上につながる事業」（仮）国際工芸美術館整備事業がある。誰が必要性を訴え、誰が緊急性を判断し、どのように費用対効果を検証したのか。</p>
------	--	---

◎条例・その他

第2回定例会

質 疑 者	質 疑 事 項
佐々木智子	・ 町田市基本構想・基本計画「まちだ未来づくりビジョン2040」の策定について
田中美穂	・ 町田市立学校適正規模・適正配置等審議会条例を廃止する条例

第3回定例会

質 疑 者	質 疑 事 項
わたべ真実	・ 町田市葬具使用条例を廃止する条例
田中美穂	・ 町田市葬具使用条例を廃止する条例 ・ 町田市立鶴川駅前図書館（図書館運営業務に限る。）の指定管理者の指定について
おんじょう由久	・ 町田市葬具使用条例を廃止する条例
東友美	・ 町田市立鶴川駅前図書館（図書館運営業務に限る。）の指定管理者の指定について

第4回定例会

質 疑 者	質 疑 事 項
細野龍子	・ 町田市住みよい街づくり条例
三遊亭らん丈	・ 町田市立図書館条例の一部を改正する条例
森本せいや	・ 町田市障がい者福祉センター条例を廃止する条例
山下てつや	・ 町田市障がい者福祉センター条例を廃止する条例
佐々木智子	・ 町田市障がい者福祉センター条例を廃止する条例

◎予算

第2回定例会

質 疑 者	質 疑	事 項
藤 田 学	・一般会計補正予算（第2号）	1 新たな学校づくり推進事業
東 友 美	・一般会計補正予算（第2号）	1 新たな学校づくり推進事業
田 中 美 穂	・一般会計補正予算（第2号）	1 新たな学校づくり推進事業
細 野 龍 子	・一般会計補正予算（第2号）	1 保育所等整備補助事業費 2 生涯学習センター事業費

第3回定例会

質 疑 者	質 疑	事 項
細 野 龍 子	・一般会計補正予算（第4号）	1 交通輸送対策費 2 小学校施設費
松 葉 ひ ろ み	・一般会計補正予算（第4号）	1 オンライン学習通信費支給事業
森 本 せ い や	・一般会計補正予算（第4号）	1 交通輸送対策費 2 オンライン学習通信費支給事業
新 井 よ し な お	・一般会計補正予算（第4号）	1 小学校35人学級対応事業
佐 々 木 智 子	・一般会計補正予算（第4号）	1 学校跡地利用事業費 2 オンライン学習通信費支給事業

第4回定例会

質 疑 者	質 疑	事 項
おんじょう由久	・一般会計補正予算（第6号）	1 新型コロナウイルスワクチン接種事業
田 中 美 穂	・一般会計補正予算（第6号）	1 新型コロナウイルスワクチン接種事業
村 ま つ 俊 孝	・一般会計補正予算（第6号）	1 デジタルデバイド対応促進事業（図書館サービス利用支援）
藤 田 学	・一般会計補正予算（第6号）	1 デジタルデバイド対応促進事業（図書館サービス利用支援）

◎決算

第3回定例会

質 疑 者	質 疑 事 項	
殿 村 健 一	・町田市病院事業会計決算認定	1 令和2年度町田市病院事業会計決算 附属明細書
		2 令和2年度町田市病院事業報告書

(10) 一般質問の内容

第1回定例会

	質 問 事 項
森本 せいや	1 鶴川駅周辺の更なるまちづくりの発展を求めて 2 中学校給食のセンター方式化に向けて 3 投票率の向上を求めて 4 デジタル教材の推進方針とその弊害の可能性
大西 宣也	1 中共の国防動員法について 2 薬師池の緑色の水質は何が問題なのか 3 時間外勤務時間について 4 武漢コロナについて
木目田 英男	1 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金について 2 自治体のデジタル化について 3 行動経済学におけるナッジの活用について
吉田 つとむ	1 (仮称) 国際工芸美術館の収蔵作品の価値と一般的評価 2 花粉症対策について 3 町田市民病院の業務受注業者と施設利用事業者は安定的に事業ができていますか 4 オリンピック・パラリンピックの保険適用について
星 だいすけ	1 「する」スポーツについて 2 子どもを守るうえで町田市と東京都の連携について 3 長寿社会に向けて
村まつ 俊孝	1 地方創生臨時交付金を活用したコロナ禍の支援 2 アフターコロナを見据えたまちづくり 3 高齢者の安心のために
おさむら 敏明	1 南町田グランベリーパークについて 2 市が管理している街路樹について 3 所有者不明土地の現状と解決策は
佐々木 智子	1 新型コロナの影響から市民のくらしと事業者を守る支援策を求めて 2 35人学級の実施に向けた対応を問う 3 国民健康保険税の未就学児軽減について問う 4 木曾山崎団地地区の団地再生の進捗状況を問う
おんじょう 由久	1 施設利用における待機者数の地域差是正の取り組みについて 2 公共交通の拡充について 3 行政・教育のデジタル化について 4 南町田グランベリーパーク駅周辺の諸課題について
斉藤 かつひろ	1 水害・地震発生時に備えた近隣市との協力について 2 家庭から出る資源とごみについて 3 独居高齢者の見守り支援について
細野 龍子	1 新型コロナ感染症から市民の命と健康を守る施策を求めて 2 安心の介護保険事業への見直しを求めて 3 視覚障がい者が安全に暮らせるまちを求めて 4 南町田グランベリーパーク複合利用ゾーンについて問う

	質 問 事 項
深沢ひろふみ	1 中国のウイグルをはじめとする少数民族弾圧について町田市の見解を問う 2 (仮称) 国際工芸美術館の計画から現在までに費やした予算について問う 3 新型コロナウイルス感染症に効果が期待される日本の治療薬について 4 改正放送法案(NHKに関する法案)閣議決定について町田市の見解を問う
ちだ伸也	1 学校IT支援について 2 交通空白地区対策について 3 高齢化の進む中での健康推進政策について 4 スケートボード競技と安全利用について
田中美穂	1 コロナ禍で困窮する市民を支える町田市に 2 中学校全員給食の計画のさらなる充実と早期提供を求めて 3 鶴川図書館の存続を求めて 4 父親が育児の当事者になる町田市に 5 就学援助費の拡充を求めて
松岡みゆき	1 多摩都市モノレール延伸について
わたべ真実	1 小学校給食について 2 HPVワクチンの接種について
渡辺徹太郎	1 オリンピック・パラリンピックについて 2 玉川学園正門前踏切(鶴川5号踏切)について(その4)
佐藤和彦	1 未来につなぐ脱炭素のまちづくりについて 2 認知症施策について
おぜき重太郎	1 相原地域の魅力向上について 2 図書館の広域利用について 3 はんこレスの取り組みについて
矢口まゆ	1 保育所等入所選考基準の点数を見直そう! 2 子どもの預け先に困る全ての0から2歳児の子育て家庭にベビーシッターの利用助成実施を! 3 児童・生徒の学ぶ権利を保障し、その学びが等しく評価される不登校支援を目指して 4 現在の選択制デリバリー中学校給食をもっと利用しやすくするために 5 学校に通う児童・生徒とその保護者、学校の教職員の方々がPTAについて正しく理解できるような情報発信を!
いわせ和子	1 不登校児童生徒について 2 夜間中学について 3 鶴川地域の移動支援について
三遊亭らん丈	1 町田市立図書館の現状と今後について 2 町田市の自殺対策について 3 近年増えているヤングケアラーについて 4 情報弱者対策についてーマイナポイント制度についてー
新井よしなお	1 会議室やホール等公共施設のネット環境について 2 市立保育園以外でのおむつ専用袋配付について 3 危険な道路遊びについて 4 (仮称) 国際工芸美術館整備計画について

	質 問 事 項
松 葉 ひ ろ み	1 コロナ禍で深刻化している社会的孤立を防ぐための支援を！ 2 子どものSOSを見逃さないために
若 林 章 喜	1 2021年度まちだの教育について 2 コロナ禍における女性悩み事相談について
山 下 て つ や	1 コロナ禍の子どもたちが文化芸術に触れる機会を 2 北部丘陵地域の活性化について 3 教育センターの複合化について 4 新型コロナウイルスワクチンの接種について
東 友 美	1 性と生について（その3） 2 デジタル化社会と高齢者について 3 小中学校におけるいじめについて 4 生活保護について 5 2021年6月改正動物の愛護及び管理に関する法律について
戸 塚 正 人	1 新型コロナウイルス感染症の対策について 2 (仮称)国際工芸美術館整備計画について
白 川 哲 也	1 2021年度当初予算を踏まえた財政見通しについて 2 外郭団体について 3 定住促進について 4 市民病院の次期中期経営計画における財政見通しについて
藤 田 学	1 町田市バイオエネルギーセンター及び周辺施設等の防災拠点としての位置付けについて 2 新型コロナウイルスワクチン副反応を疑う症状に対する診療体制について 3 ヒトパピローマウイルスワクチンに係わる定期接種の対象者等への周知について 4 CDR (Child Death Review) 予防のための子どもの死亡検証について 5 在宅医療・介護連携推進事業について
殿 村 健 一	1 まちづくりにおける公立図書館の役割について問う 2 国際版画美術館と(仮称)国際工芸美術館、考古資料と博物館について問う 3 核兵器禁止条約の発効と核兵器廃絶について問う
佐 藤 伸 一 郎	1 市街化調整区域の土地活用について 2 町田市の公園、緑地のナラ枯れについて

第 2 回 定 例 会

おさむら敏明	1 多摩都市モノレール、南町田グランベリーパーク駅までの延伸を検討すべきだが 2 町田市におけるマイナンバーカードの普及について
佐 藤 伸 一 郎	1 相原駅周辺で進められている道路整備について 2 町田市のシティプロモーションについて 3 市街化調整区域における土地区画整理事業について
い わ せ 和 子	1 中学校給食センターによる全員給食の早期実現を求める 2 学童保育クラブについて 3 病児病後児保育事業の更なる取り組みを

	質 問 事 項
渡 辺 徹 太 郎	1 新型コロナウイルス感染症について 2 町内会・自治会について
わ た べ 真 実	1 新型コロナ感染症対策の現状と課題について 2 携帯基地局をめぐる地域の紛争について、市でできることはあるか 3 小中学校でのタブレット端末使用にかかわる課題について
松 葉 ひ ろ み	1 防災備蓄品の活用について 2 家庭学習におけるタブレット端末の利用について 3 ひとり親家庭自立支援について 4 コロナ禍における妊産婦支援について（その3）
新 井 よ し な お	1 （仮称）国際工芸美術館整備計画について 2 高齢者への接種後のワクチン接種の考え方について 3 これまで提案してきたものの進捗とその後の対応を問う 4 道路遊びの危険性周知について
石 川 好 忠	1 再犯防止推進計画について 2 特定生産緑地の指定に向けた取組状況について
ち だ 伸 也	1 学校でのマスク着用について 2 第二次町田市環境マスタープランにおける地球温暖化防止に向けた目標の達成状況は
お ぜ き 重 太 郎	1 コロナ禍の子育て支援について 2 町田市新たな学校づくり推進計画について 3 ゆっくりロードについて 4 相原駅周辺の道路事業について 5 多摩都市モノレールの延伸について
細 野 龍 子	1 新型コロナから市民を守る施策を求めて 2 ジェンダー平等推進施策の拡充を求めるがどうか 3 生理の貧困への支援を求める
お ん じ ょ う 由 久	1 新型コロナワクチン接種について 2 待機児童の地域差是正の取り組みについて 3 中学校給食のセンター整備の考え方について
佐 々 木 智 子	1 コロナ禍から市民のいのち・暮らし・営業を守る支援策を問う 2 高齢者や障がい者に寄り添う町田市を求めて 3 豪雨災害・土砂災害に備えた防災対策を問う 4 がん患者へのウィッグ（カツラ）購入費の助成を求めて
殿 村 健 一	1 シルバーピア生活協力員及び支援協力員の法的地位と待遇等について問う 2 芹ヶ谷公園“芸術の杜”（仮称）国際工芸美術館整備事業及び町田都市計画道路3・4・11号線整備事業について問う 3 消防団活動の充実を求めて
村 ま つ 俊 孝	1 中心市街地のまちづくりについて 2 コロナ禍におけるがん検診の受診控えについて 3 市民の交通について
若 林 章 喜	1 市民病院の次期中期経営計画について 2 認知症にやさしいまちづくりについて

	質 問 事 項
佐藤和彦	1 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の町田市の準備状況について 2 するスポーツの充実について
白川哲也	1 経済施策の取り組み状況について 2 新規事業の議会への提案について 3 団地再生について
森本せいや	1 公正な契約事務・適切な公契約の実施について 2 小学校における35人学級の実現について 3 鶴見川及び周辺の安全対策について
田中美穂	1 より豊かな中学校給食の実現を求めて 2 子どもの権利が尊重される学校へ 3 保護者の育休中の学童保育の利用について 4 生活保護の扶養照会の改善を求めて
深沢ひろふみ	1 コロナ禍におけるマナーについて 2 市民に分かりやすい情報提供を 3 高齢者へのマイナンバーカードの普及への取り組みは 4 コロナ禍での買い物支援、町田市の取り組みについて問う
矢口まゆ	1 市立小中学校への入学準備及び在学中における家庭の出費について 2 保護者が、“預けて良かった”と思える保育を提供するために 3 園庭のある保育園を望む子どもや保護者のために、保育環境の整備を！ 4 市の職員でも、すぐに空き状況を把握できない一時保育の現状の改善にむけて
友井和彦	1 (仮称)町田市中学校給食センターについて 2 西田スポーツ広場に関する件について 3 新型コロナウイルスワクチン接種について 4 東京2020オリンピック・パラリンピックに関する件について
大西宣也	1 町田市は非常時体制に不備はないか 2 コロナワクチン接種について 3 共産党の機関紙、赤旗について 4 教科書採択の特例について
戸塚正人	1 公共施設再編計画について 2 公平な選挙実施について 3 町田市史の伝承施策について 4 交通不便地域の解消施策について
木目田英男	1 空き家対策について 2 官民連携について 3 行政のデジタル化について
三遊亭らん丈	1 就労困難者への支援について 2 介護保険を利用できない40歳未満の方への支援について 3 町田市立博物館の収蔵品について 4 町田市民病院での無線LANについて

	質 問 事 項
東 友 美	1 性と生について（その4） 2 LGBTについて（その7） 3 新型コロナが障がい者の生活に与える影響について 4 会議公開制度について 5 離婚前のひとり親支援について
藤 田 学	1 望まない孤独・孤立問題の対策について 2 成年後見制度の利用促進について 3 がん予防対策について
斉藤 かつひろ	1 改正災害対策基本法の成立に伴う要配慮者支援について 2 小中一貫ゆくのき学園（大戸小・武蔵岡中）について 3 大戸踏切周辺の道路整備について
山下 てつや	1 市内交通事業者の支援について 2 コロナ禍における学校開放について 3 ひとり暮らしの高齢者の見守りについて 4 脱炭素社会の実現に向けて

第 3 回 定 例 会

氏 名	質 問 事 項
戸 塚 正 人	1 町田市住みよい街づくり条例について 2 中学校給食センター整備計画について 3 (仮称)国際工芸美術館整備計画について
松 葉 ひ ろ み	1 パートナーシップ認証制度の導入について（その3） 2 犬を飼う第1選択肢を保護犬に！ 3 女性デジタル人材の育成について 4 市立小中学校でのタブレット端末の活用について問う
村 ま つ 俊 孝	1 コロナ禍における市内事業者の支援について 2 中心市街地のまちづくりについて（その2） 3 働き方改革について（その2）
山 下 て つ や	1 小中学校におけるヤングケアラー支援について 2 (仮称)グリーンポイントの取組について 3 ニュースポーツの普及について 4 (仮称)町田市里山環境活用保全計画について
森 本 せ い や	1 新型コロナウイルスのワクチン接種について 2 通学路等の安全確保について 3 訪問介護サービス等の課題について
石 川 好 忠	1 街路樹について 2 保育所の待機児童対策について
斉藤 かつひろ	1 コロナ禍でのがん検診について 2 令和3年8月の大雨について 3 プッシュ型行政サービス実現に向けて
三遊亭らん丈	1 「ことばらんどショートショートコンクール2021」について 2 豊かな町田の歴史のアピールについて 3 森野住宅周辺地区の今後について

	質 問 事 項
矢 口 ま ゆ	1 児童生徒、そして保護者にもっと寄り添う学校運営を目指して 2 子どもの預け先に困る子育て家庭にベビーシッターの利用助成実施を！ 3 子どもたちの、不慮の事故を防ぐために
深 沢 ひ ろ ふ み	1 新型コロナ感染予防啓発について 2 ワーゲンバスについて 3 団地住民の利便性アップを求めて
木 目 田 英 男	1 町田市都市づくりのマスタープランについて 2 町田市の人口について 3 防災分野のデジタル化について
細 野 龍 子	1 子どもを産み育てるための負担軽減を求めて 2 新型コロナから市民の命を守る市政を求めて
藤 田 学	1 SDG s の取り組みについて 2 パラリンピックレガシー・共生社会の実現への取り組みについて 3 スケートボードのフィールドを広げたい 4 土砂災害警戒区域への対策について
い わ せ 和 子	1 新型コロナウイルス感染症について 2 鶴見川クリーンセンターに整備されるゼルビアの練習場について
若 林 章 喜	1 PMSと更年期について 2 忠生地域まちづくりランドデザインについて② 3 旧忠生第六小学校の健康増進関連拠点について
新 井 よ し な お	1 (仮称) 国際工芸美術館整備計画について 2 工事契約でのインセンティブ制度導入を求める 3 道路遊びの危険性周知について
佐 々 木 智 子	1 コロナ禍における「地域包括ケアシステム」の重要性を問う 2 自治体のデジタル化と住民サービスへの影響を問う 3 土砂災害警戒区域等における日常からの減災への備えを問う
白 川 哲 也	1 新公会計制度について 2 公共施設再編計画について 3 中心市街地について 4 中学校給食について 5 SDG s の取り組みについて
お ぜ き 重 太 郎	1 次期5ヵ年計画における財政指標について 2 学校徴収金について 3 通学路の安全点検について 4 教員の負担軽減について
渡 辺 巖 太 郎	1 街路灯・公園灯LED化事業について 2 外国資本による土地の取得について 3 国際貢献について (パート5)
佐 藤 和 彦	1 避難施設について 2 子どもの貧困対策について
お さ む ら 敏 明	1 南町田拠点創出まちづくりプロジェクトについて
ち だ 伸 也	1 市政の平和への取り組みについて 2 オリンピック・パラリンピック後のスポーツ推進について

	質 問 事 項
おんじょう由久	1 学校外でのICTが使える自主学習の環境について 2 公共交通の充実について 3 投票率向上に向けた取り組みについて 4 飼い犬の糞害対策について 5 (新型コロナ) ワクチン接種について
わたべ真実	1 ナラ枯れから見る緑の保全について 2 医療的ケア児と家族の支援について
東友美	1 性と生について(その5) 2 LGBTについて(その8) 3 不妊・不育症について(その2) 4 木曾山崎団地地区について(その2) 5 小中学校におけるデジタル化について 6 養育費確保支援事業について
田中美穂	1 小中学校キャリア・パスポートについて 2 学校統廃合をやめて少人数学級への対応を 3 より良い中学校全員給食を求めて 4 使いやすい生活保護制度を求めて 5 鶴川図書館の存続を求めて
大西宣也	1 鶴川団地の建て替えと同商店会の有料路上駐車場の復活について 2 町田市を抱える回収困難な債権の金額とその処理について 3 武漢コロナについて 4 議長公用車の私的利用についてほか 5 ナラ枯れについて
殿村健一	1 国際版画美術館と(仮称)国際工芸美術館整備について問う 2 シルバーピア生活協力員及び支援協力員の業務実態に沿った待遇改善と法的地位の確保、対応について問う 3 コロナ禍における7月のサッカーの試合に対する市職員への観戦招待について問う

第4回定例会

おさむら敏明	1 道路の維持管理について 2 道路事業、市民要望に込えているか
戸塚正人	1 (仮称)国際工芸美術館整備計画について 2 南地域の諸課題について
細野龍子	1 豊かな学校給食を求めて 2 脱炭素社会実現の取り組みについて問う 3 南町田グランベリーパーク駅周辺地区等整備事業について問う
三遊亭らん丈	1 随意契約できる上限額の見直しについて 2 中心市街地のまちづくりについて 3 子ども用品への町田市のリユース等の取り組みについて 4 町田市の美術品の受け入れについて

	質 問 事 項
松 葉 ひ ろ み	1 鉄道駅ホームドア整備について 2 中学校給食センターの整備について 3 子育て家庭に寄り添ったさらなる支援を 4 避難所混雑状況確認システムについて
村 ま つ 俊 孝	1 中心市街地のまちづくりについて（その3） 2 高齢者の安心のために（その2） 3 マイナンバーカードの課題について（その2） 4 デジタル・デバイド解消に向けて
若 林 章 喜	1 新型コロナウイルス感染症対策の総括（中間報告）について 2 認知症にやさしいまちづくりについて 3 多文化共生について
渡 辺 巖 太 郎	1 （仮称）町田駅周辺公共施設再編構想について 2 新たなごみ処理施設（町田市バイオエネルギーセンター）について 3 私道について
佐 々 木 智 子	1 コロナ禍で市民に寄り添う支援策を求めて 2 旧忠生第六小学校跡地の健康増進関連拠点整備について問う 3 循環型社会に向けたごみ減量課題について問う 4 特別障害者手当の制度周知について問う
木 目 田 英 男	1 町田市における環境施策について 2 シナリオプランニングについて 3 シティプロモーションについて 4 都市計画道路3・4・34号線及び3・4・9号線について
新 井 よ し な お	1 （仮称）国際工芸美術館整備計画について 2 学校現場でのいじめの対応について 3 道路遊びの危険性周知について 4 陰山メソッドを活用した学力向上の取り組みについて
友 井 和 彦	1 保健所中町庁舎と健康福祉会館の再編について 2 町田市都市づくりのマスタープラン（交通）について 3 南町田グランベリーパーク駅及び周辺整備について
大 西 宣 也	1 フェイスブックへの投稿による人権侵害について見解を求める 2 コロナ第6波に対し3回目のワクチン接種施設に町田市民病院の積極的活用を求める 3 市長、議長の公用車の利用について
おんじょう由久	1 行政、教育のDXについて 2 長期化したコロナ禍にあって、健康への影響や対策は 3 学童保育クラブの現状と今後は
石 川 好 忠	1 災害対策について 2 コロナ禍における町田市の事業者支援について

	質 問 事 項
矢 口 ま ゆ	1 子どもや保護者の意見をもっと活かすため、学校評価のあり方の見直しを！ 2 いついくら請求されるかわからない…。入学準備の負担が大きい…。小中学校の保護者負担のあり方見直しを！ 3 校則や標準服、その他学校ルールについて、児童生徒や保護者が意見を言える、話し合える環境の整備を！ 4 子どもたちを取り巻く、いじめや家庭内での困難について、教育委員会と学校それぞれの役割を問う 5 全員給食導入まで実施される現在のデリ弁給食をもっと使いやすく！
ち だ 伸 也	1 町田市の教育現場の環境変化について 2 現時点での交通マスタープランの進捗状況は
深 沢 ひろふみ	1 外国人の参政権について 2 市政懇談会について 3 町田3・3・36号線について 4 オンラインの活用について
お ぜ き 重 太 郎	1 公園の遊具や樹木について 2 高齢者の移動支援について 3 境川について 4 多摩境駅前交番について 5 相原駅東口交通広場について
い わ せ 和 子	1 帯状疱疹ワクチンについて 2 衆議院議員選挙を振り返って
佐 藤 和 彦	1 地域公共交通の整備について 2 町田市版地域包括ケアシステムの構築について 3 認知症になっても安心して暮らせる町田市に
森 本 せ い や	1 鶴川地区の諸課題について 2 災害に強い町田を目指して
藤 田 学	1 Children First政策の実現を 2 町田市便利なバス計画の進捗状況について 3 農業の担い手への支援について 4 町田市都市公園緑地等指定管理者制度活用について 5 町田都市計画道路3・4・19号線（宮前橋）の安全対策と整備計画について
斉 藤 かつひろ	1 自転車の安全な利用について 2 大雨時の浸水・土砂災害について 3 子宮頸がん予防のためのHPVワクチンの定期接種について
殿 村 健 一	1 町田の縄文遺跡・遺物と市立博物館の保存、活用について問う 2 芹ヶ谷公園“芸術の杜”パークミュージアム計画について問う 3 小田急・JR町田駅のバリアフリー、安全対策について問う 4 シルバーピア生活協力員及び支援協力員について問う
田 中 美 穂	1 いじめ問題の解決を求めて 2 リニア中央新幹線事業について問う 3 生活保護の改善を求めて 4 市立図書館のあり方について

	質 問 事 項
東 友 美	1 小中学校における情報モラル教育について 2 子どもの居場所づくりについて 3 豊かな自然と生態系を守るために 4 空家対策について 5 町田市地域活動サポートオフィスについて 6 生産緑地について（その4）
白 川 哲 也	1 長期的な視点に立った財政について 2 中学校給食について 3 市民病院の財政状況について 4 SDGsの取り組みについて
山 下 て つ や	1 多摩都市モノレール町田方面延伸を想定した今後の取組について 2 教育センターの複合化について 3 障がい者福祉と関連した施策について
佐 藤 伸 一 郎	1 堺地域における道路整備について
わ た べ 真 実	1 公設デイサービスの今後について 2 家庭的保育室について 3 学校給食の地産地消をめざして 4 ごみ処理政策について

5. 委員会の概要

(1) 常任委員会の開催状況

委員会名	開催日数	会議時間	付託案件			
			議案	請願	陳情	その他
総務	12	22時間30分	23	2	2	2
健康福祉	10	43時間59分	37	5	7	2
文教社会	12	43時間23分	26	6	1	1
建設	8	18時間59分	30	3	0	2

イ. 総務常任委員会

開催月日	審査事件
2月19日	議案第1号、諮問第1号
3月8日	議案第8号、第9号、第25号、第26号、第29号、第37号 (行政報告) <ul style="list-style-type: none"> ・ 「民間とのコラボレーションによる公共施設建替え方針」策定及び「公共施設マネジメント情報紙ぷらっと第6号」の発行について ・ 確定申告の期限延長による影響について ・ 訴訟事件の終結等について ・ 町田駅周辺地区における都市再生整備計画の策定について ・ 「まち☆ベジBOOK 大地のごちそう」の発行について ・ 「(仮称)町田市里山環境活用保全計画」の策定に係るアンケート調査結果及び計画の策定について 特定事件の継続調査申し出について
3月29日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 委員派遣について
4月9日	議案第47号
6月7日	副委員長の互選
6月21日	議案第48号、第50号～第52号 (行政報告) <ul style="list-style-type: none"> ・ キャッシュレス決済プレミアムポイント事業の実施結果について ・ 第4次町田市農業振興計画の中間見直しについて ・ 町田駅周辺の公共施設の再編に関するアンケートの実施及び「公共施設マネジメント情報紙ぷらっと第7号」の発行について 特定事件の継続調査申し出について

9月8日	議案第64号、第70号、第71号、第74号、第87号 認定第1号 (行政報告) ・ 市税のクレジット納付の拡充について
9月9日	・ 「(仮称)町田駅周辺公共施設再編構想」の骨子について ・ 旧忠生第六小学校(健康増進関連拠点)への体育館整備に向けた公募によるサウンディング型市場調査の実施について ・ 「まちだ〇ごと大作戦18-20 ⁺ 」の進捗状況について ・ 「町田市デジタル化総合戦略2021」について 特定事件の継続調査申し出について
9月15日	認定第1号
9月29日	議案第90号
11月29日	議案第109号、第110号
12月13日	議案第93号、第102号、第112号、請願第13号、第14号 (行政報告) ・ 町田市国土強靱化地域計画(案)に係る市民意見募集の実施について ・ 町田市いじめ問題調査委員会の設置について ・ 「公共施設マネジメント情報紙ぷらっと第8号」の発行及び市民意見募集の実施について ・ 「まちだシティプロモーション基本計画22-26」の策定について ・ まちだ〇ごと大作戦18-20 ⁺ の実施状況について ・ 中小企業者家賃補助事業【第3弾】の実施結果について ・ キャッシュレス決済プレミアムポイント事業【第2弾】の実施結果について ・ 飲食事業者応援事業の実施結果について ・ 「第4次町田市農業振興計画 改訂版(案)」のパブリックコメントの実施について ・ 「(仮称)町田市里山環境活用保全計画(案)」のパブリックコメントの実施について ・ 異議申立てに対する却下処分取消請求事件について 特定事件の継続調査申し出について
5月13日	行政視察(つくば市) ※オンラインにて実施

ロ. 健康福祉常任委員会

開催月日	審査事件
2月19日	議案第1号、第2号、第3号、第4号、第7号
3月8日 3月9日	<p>議案第10号～第16号、第22号、第29号～第32号、第35号、請願第9号(2)、第2号、第3号</p> <p>(行政報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> 「第5期町田市国民健康保険事業財政改革計画」の策定について 「町田市いきいき長寿プラン21-23(高齢者福祉計画・介護保険事業計画-第8期-)」策定に係るパブリックコメントの実施結果及び計画策定について 「第2期健康・医療情報分析に基づく生活習慣病等予防事業実施計画(データヘルス計画)」の策定について 「町田市障がい者プラン21-26」の策定について <p>特定事件の継続調査申し出について</p>
4月9日	議案第47号
6月21日	<p>議案第48号、第49号、54号、第55号</p> <p>(行政報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> 町田市民病院中期経営計画(2017年度～2021年度)及び事業計画の進捗状況について(2020年度) ふるさと納税を活用した医療機関への支援について 新型コロナウイルスワクチン接種事業について ひかり療育園運営体制の移行について <p>特定事件の継続調査申し出について</p>
6月30日	議案第63号
9月8日 9月9日	<p>議案第64号～第67号、第72号、請願第11号、認定第1号、第3号</p> <p>(行政報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> 「(仮称)町田市地域ホッとプラン」策定に係るパブリックコメントの実施について 耳鼻咽喉科の診療体制について 新型コロナウイルスワクチン接種事業について(その2) 認知症とともに生きるまちづくりに関する連携協定の締結について <p>特定事件の継続調査申し出について</p>

9月15日	認定第1号、第3号
12月13日	<p>議案第72号、第93号～第98号、第114号、請願第11号、第12号、第15号 (行政報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「(仮称)町田市地域ホットプラン」策定に係るパブリックコメント実施結果及び計画策定スケジュールについて ・ 町田市民病院 第4次中期経営計画(2022年度～2026年度)(案)のパブリックコメントの実施について ・ 町田市民病院中期経営計画(2017年度～2021年度)及び事業計画の進捗状況について(2021年度上半期) ・ 新型コロナウイルスワクチン接種事業について(その3) <p>特定事件の継続調査申し出について</p>

ハ. 文教社会常任委員会

開催月日	審査事件
2月22日	議案第1号
3月10日 3月11日	<p>議案第21号、第29号、第36号 (行政報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 町田市地域防災計画(2020年度修正)について ・ (仮称)町田市市民センター等の未来ビジョン素案に対する市民意見募集実施結果及びビジョン策定について ・ 玉川学園コミュニティセンターの開所について ・ 鶴川市民センター第3駐車場の有料化について ・ パラスポーツの普及啓発・理解促進等に向けた取組みについて ・ 「町田市子ども発達支援計画行動計画(2021～2023)」策定に係る意見募集の実施結果及び計画策定について ・ 新たな中学校給食の提供方式について ・ 「町田市立自由民権資料館のあり方見直し方針」の策定について ・ 文化財の指定について ・ 「効率的・効果的な図書館サービスのアクションプラン」の取組状況について <p>特定事件の継続調査申し出について</p>
4月9日	議案第47号

<p>6月18日</p>	<p>議案第48号、第53号、第57号、第58号、請願第6号、第8号 (行政報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「町田市新たな学校づくり推進計画」・「町田市立学校施設機能別整備方針」・「町田市立学校個別施設計画」の策定について ・ 中学校給食センターの整備について ・ 2020年度地区協議会事業について ・ (仮称)第5次町田市男女平等推進計画の策定について ・ 町田市マイナンバーカードセンターの開所について ・ 国際版画美術館・(仮称)国際工芸美術館一体化工事について ・ 仮処分の申立てについて ・ 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会関連事業の実施について ・ 子どもセンター及び地域子育て相談センターの再編成について ・ 2021年4月認可保育所等入所待機児童数(確定値)について ・ 町田市安全安心まちづくり推進計画の策定について ・ 町田市交通安全行動計画の策定について <p>特定事件の継続調査申し出について</p>
<p>9月10日 9月13日</p>	<p>議案第64号、第75号～第77号、第83号～第86号、第88号、請願第9号、第10号、認定第1号 (行政報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 町田市民ホールの休館について ・ 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会関連事業の実施結果について ・ 「(仮称)町田市地域ホッとプラン」策定に係るパブリックコメントの実施について <p>特定事件の継続調査申し出について</p>
<p>9月17日</p>	<p>認定第1号 (行政報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ いじめの重大事態への対処について
<p>9月21日</p>	<p>(行政報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ いじめの重大事態への対処について
<p>12月9日</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 議案第111号

12月10日	<p>議案第93号、第99号～第101号、第105号、第106号、請願第17号、第18号</p> <p>(行政報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大地沢青少年センターの民間活力導入について ・ 「町田市新たな学校づくり推進説明会等」の実施報告について ・ 中学校給食センター整備事業について ・ 町田市生涯学習センターのあり方に関する生涯学習審議会からの答申について ・ 町田市安全安心まちづくり推進計画におけるパブリックコメントの実施について ・ 町田市交通安全行動計画における意見募集の実施について ・ 「(仮称)町田市地域ホットプラン」策定に係るパブリックコメントの実施結果及び計画策定スケジュールについて ・ 「(仮称)一人ひとりがその人らしく生きるまちだプラン(第5次町田市男女平等推進計画)」策定に係るパブリックコメントの実施について ・ 町田市鶴川緑の交流館の命名権に関する協定の更新について <p>特定事件の継続調査申し出について</p>
12月22日	議案第115号

二. 建設常任委員会

開催月日	審査事件
2月22日	議案第1号、第5号、第6号
3月10日	<p>議案第17号～第20号、第23号、第24号、第29号、第33号、第34号、第38号～第41号、請願第1号、第4号</p> <p>(行政報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 町田市居住支援相談窓口の開設について ・ 土地の買入れについて(薬師池北緑地用地) ・ 「(仮称)第2次町田市一般廃棄物資源化基本計画」(案)に対するパブリックコメントの実施結果及び計画策定について ・ 多摩ニュータウン環境組合へのごみ処理支援要請について ・ 新たなおみの資源化施設について ・ 損害賠償請求事件について ・ 「未来につなぐ下水道事業プラン～町田市下水道事業経営戦略～」策定について ・ 「町田市公共用水域水質改善10ヶ年計画」の改定について ・ 下水道革新的技術実証事業(B-DASHプロジェクト)実証研究の終了について <p>特定事件の継続調査申し出について</p>

6月18日	<p>議案第56号、第59号、第60号、請願第7号 (行政報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「(仮称)町田市都市づくりのマスタープラン」策定の進捗状況について ・ 「町田市住みよい街づくり条例」改正の進捗状況について ・ 「町田市耐震改修促進計画」の改定について ・ 多摩ニュータウン環境組合へのごみ処理支援要請について(その2) ・ 新たなおみの資源化施設について <p>特定事件の継続調査申し出について</p>
9月10日 9月13日	<p>議案第64号、第68号、第69号、第73号、第81号、第82号、認定第1号、認定第2号 (行政報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 南町田拠点創出まちづくりプロジェクトについて <p>「町田市都市づくりのマスタープラン」策定に係るパブリックコメント及び「町田市土地利用に関する基本方針及び制度活用の方策」改定に係る市民意見募集の実施について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「町田市住みよい街づくり条例」改正に係るパブリックコメントの実施について ・ 鶴川駅周辺再整備事業の進捗状況について ・ 土地の買入れについて(蓮田緑地用地) ・ 「第3次町田市環境マスタープラン」(案)のパブリックコメントの実施について ・ 新たなおみの資源化施設について <p>特定事件の継続調査申し出について</p>
9月17日	認定第1号、認定第2号
12月9日	議案第113号
12月10日	<p>議案第93号、第103号、第104号、第107号 (行政報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「境川金森調節池の上部利用に関する方針」の決定について ・ 「第3次町田市環境マスタープラン」(案)のパブリックコメントの実施結果について ・ 「使用済み紙おむつのリサイクル推進に向けた実証事業」の進捗について ・ 新たなおみの資源化施設について ・ 損害賠償請求事件について ・ 町田市生活道路拡幅整備基準の改定について ・ 「町田市住みよい街づくり条例」改正に係るパブリックコメントの結果について <p>「町田市都市づくりのマスタープラン」策定に係るパブリックコメント及び「町田市土地利用に関する基本方針及び制度活用の方策」改定に係る市民意見募集の結果について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 開発許可等の審査基準の改定について <p>特定事件の継続調査申し出について</p>

(2) 常任委員会の特定事件調査事項

<p>総務常任委員会</p>	<ul style="list-style-type: none"> 1. 長期計画について 1. 広報・広聴について 1. 財政の運用状況について 1. 事務処理の効率化について 1. 行政情報の取り扱いについて 1. 人事管理について 1. 財産の管理について 1. 市税について 1. 農業対策について 1. 契約事務について 1. 庁舎について 1. 選挙事務について 1. 営繕について 1. 産業及び観光の振興について 1. 労働政策について 1. 農業政策について 1. 北部丘陵及び中心市街地の整備について
<p>健康福祉常任委員会</p>	<ul style="list-style-type: none"> 1. 保健・医療・福祉の充実について 1. 高齢者福祉の充実について 1. 障がい者福祉の充実について 1. 病院事業について
<p>文教社会常任委員会</p>	<ul style="list-style-type: none"> 1. 市民サービスについて 1. 市民活動振興について 1. 男女平等推進について 1. 消費生活について 1. 義務教育の整備、充実とその質的向上について 1. 障がい児教育について 1. 学校給食の運営について 1. 青少年教育について 1. 社会教育の振興について 1. 文化・スポーツの振興について 1. 子ども行政について 1. 防災対策について 1. 火葬場対策について 1. 生活安全の推進について 1. 交通安全の推進について
<p>建設常任委員会</p>	<ul style="list-style-type: none"> 1. 環境政策について 1. 公害政策について 1. 墓地対策について 1. 公園・緑地政策について 1. 清掃政策について 1. 土地利用政策について 1. 都市計画事業について 1. 道路・河川の整備について 1. 交通安全対策について 1. 交通輸送対策について 1. 住宅政策について 1. 上水道対策について 1. 下水道事業について

(3) 議会運営委員会の開催状況

開催回数	開催延日数	会議時間
32回	28日	6時間23分

開催月日	開催回数	審 査 事 件
1月8日	1	1 令和3年(2021年)第1回町田市議会臨時会の運営について 2 令和3年(2021年)第1回定例会の日程案の変更について 3 その他
1月19日	2	1 「議会だより」の編集について 2 議会関心度の向上について 3 代表質疑について 4 その他
2月12日	3	1 令和3年(2021年)第1回町田市議会定例会の運営について 2 議員派遣について 3 その他
2月19日	4	1 追加議案について 2 本日の運営について 3 その他
2月24日	5	1 追加議案の取り扱いについて 2 請願及び陳情の付託について 3 本日の運営について 4 その他
3月5日	6	1 一般質問の日程について 2 追加議案について 3 本日の運営について 4 第2回定例会の日程について 5 その他
3月29日	7	1 議員提出議案の取り扱いについて 2 追加議案について 3 本日の運営について 4 「議会だより」の編集について 5 その他
	8	1 附帯決議の取り扱いについて

開催月日	開催回数	審 査 事 件
4月6日	9	1 令和3年（2021年）第2回町田市議会臨時会の運営について 2 その他
4月19日	10	1 「議会だより」の編集について 2 議会関心度の向上について 3 その他
5月31日	11	1 令和3年（2021年）第2回町田市議会定例会の運営について 2 議員派遣について 3 その他
6月7日	12	1 副委員長の互選 2 広報広聴小委員会委員の選出について
	13	1 一般質問の日程について 2 多摩ニュータウン環境組合議会議員の選挙について 3 東京都後期高齢者医療広域連合議会議員選挙の候補者の推薦について 4 本日の運営について 5 議会関心度の向上について 6 協議事項について 7 その他
6月10日	14	1 請願及び陳情の付託について 2 その他
6月17日	15	1 請願の取り下げについて 2 本日の運営について 3 第3回定例会の日程について 4 その他

開催月日	開催回数	審 査 事 件
6月30日	16	1 議員提出議案の取り扱いについて 2 追加議案について 3 陳情の取り扱いについて 4 本日の運営について 5 「議会だより」の編集について 6 議会関心度の向上について 7 その他
7月20日	17	1 「議会だより」の編集について 2 議会関心度の向上について 3 協議事項について 4 その他
8月19日	18	1 令和3年（2021年）第3回町田市議会定例会の運営について 2 議員派遣について 3 協議事項について 4 その他
8月26日	19	1 一般質問の日程について 2 本日の運営について 3 その他
8月31日	20	1 請願及び陳情の付託について 2 一般質問の日程について 3 その他
9月7日	21	1 本日の運営について 2 第4回定例会の日程について 3 議会関心度の向上について 4 その他
9月29日	22	1 委員会提出議案の取り扱いについて 2 議員提出議案について 3 追加議案について 4 本日の運営について 5 「議会だより」の編集について 6 その他

開催月日	開催回数	審 査 事 件
10月19日	23	1 「議会だより」の編集について 2 議会関心度の向上について 3 その他
11月22日	24	1 令和3年(2021年)第4回町田市議会定例会の運営について 2 議員派遣について 3 その他
11月29日	25	1 一般質問の日程について 2 追加議案について 3 12月定例会における運営方法について 4 本日の運営について 5 議会関心度の向上について 6 その他
11月30日	26	1 保守の会会派からの申し出について 2 その他
12月2日	27	1 請願及び陳情の付託について 2 その他
12月9日	28	1 追加議案について 2 議案の訂正について 3 本日の運営について 4 令和4年第1回定例会の日程について 5 会議規則の改正について 6 その他
12月15日	29	1 保守の会会派からの申し出について 2 その他
12月22日	30	1 委員会提出議案の取り扱いについて 2 議員提出議案について 3 追加議案について 4 陳情の取り扱いについて 5 本日の運営について 6 退任に伴う挨拶について 7 「議会だより」の編集について 8 その他
	31	1 動議について
	32	1 議長の辞職について

(4) 特別委員会の設置

◎第16期町田市議会改革調査特別委員会（2018年（平成30年）12月11日設置）

- 付議事件 ① 議員の調査活動等に関する事項
② 議会の権能強化及び環境整備に関する事項
③ 市民と議会の関わりに関する事項
④ 議会の情報提供に関する事項
⑤ 議員の身分等に関する事項

設置期間 2021年（令和3年）3月29日

定数 10人

◎町田市基本構想・基本計画調査特別委員会（2020年（令和元年）8月28日設置）

- 付議事件 ① 町田市基本構想に関する事項
② 町田市基本計画に関する事項
③ 町田市基本構想及び町田市基本計画の策定に関する予算

設置期間 2021年（令和3年）6月30日

定数 10人（令和2年3月18日定数減）

(5) 特別委員会の開催状況

イ. 第16期町田市議会改革調査特別委員会の開催状況

委員会名	開催回数	開催延日数	会議時間
第16期町田市議会改革調査特別委員会	1回	1日	10分

開催日	開催回数	審 査 事 件
2月26日	1	付議事件① 議員の調査活動等に関する事項 付議事件② 議会の権能強化及び環境整備に関する事項 付議事件③ 市民と議会の関わりに関する事項 付議事件④ 議会の情報提供に関する事項 付議事件⑤ 議員の身分等に関する事項

ロ. 町田市基本構想・基本計画調査特別委員会の開催状況

委員会名	開催回数	開催延日数	会議時間
町田市基本構想・基本計画調査特別委員会	3回	3日	1時間2分

開催日	開催回数	審 査 事 件
2月19日	1	第1号議案 令和2年度(2020年度)町田市一般会計補正予算(第6号)
3月12日	2	第29号議案 令和3年度(2021年度)町田市一般会計予算 付議事件① 町田市基本構想に関する事項 付議事件② 町田市基本計画に関する事項 付議事件③ 町田市基本構想及び町田市基本計画の策定に関する予算 行政報告 「まちづくり基本目標・経営基本方針」(基本計画素案)の パブリックコメント実施結果について
6月22日	3	第62号議案 町田市基本構想・基本計画 「まちだ未来づくりビジョン2040」の策定について 付議事件① 町田市基本構想に関する事項 付議事件② 町田市基本計画に関する事項 付議事件③ 町田市基本構想及び町田市基本計画の策定に関する予算

6. その他の会議の概要

(1) 全員協議会・法外委員会の開催状況

委員会名	開催回数	開催延日数
全員協議会	2回	2日
災害対策委員会	0回	0日

イ. 全員協議会

開催月日	開催回数	審 査 事 件
2月26日	1	<ul style="list-style-type: none">・令和2年度（2020年度）町田市一般会計及び特別会計補正予算の専決処分について・町田市市税条例の一部を改正する条例の専決処分について
11月30日	2	<ul style="list-style-type: none">・一部事務組合議会等の活動報告について

7. 会議の傍聴者

(1) 令和3年本会議傍聴者数

会議別	人数
第1回 臨時会	0
第1回 定例会	0
第2回 臨時会	0
第2回 定例会	0
第3回 定例会	2
第4回 定例会	79
計	81

(2) 令和3年委員会傍聴者数

委員会	人数	委員会	人数
総務常任委員会	10	災害対策委員会	0
健康福祉常任委員会	11	第16期町田市議会改革 調査特別委員会	0
文教社会常任委員会	18		
建設常任委員会	4	町田市基本構想・基本計画 調査特別委員会	0
議会運営委員会	8		
計		計	51

(3) 令和3年傍聴者数

会議別	人数
本会議	81
委員会	51
議案説明会	0
全員協議会	0
計	132

8. 議会刊行物一覧

種 別	頁数	発行年月日	印刷部数	内 容
議会だより第219号	8	1月30日	99,976	令和2年第4回定例会
〃 第220号	8	4月30日	99,976	令和3年第1回定例会
〃 第221号	8	7月30日	90,926	令和3年第2回定例会
〃 第222号	8	10月30日	90,926	令和3年第3回定例会
会議録(26～33号)	505	2月	51	令和2年第4回定例会
〃 (1号)	12	3月	51	令和3年第1回臨時会
〃 (2～10号)	582	5月	51	令和3年第1回定例会
〃 (11号)	34	6月	51	令和3年第2回臨時会
〃 (12～19号)	433	8月	51	令和3年第2回定例会
〃 (20～27号)	449	11月	51	令和3年第3回定例会
議会の概要	34	5月	20	視察来市議員用
議案の内容	27～58	各定例会	各130～250	定例会傍聴者用
議会年報	110	3月	45	令和2年議会活動状況

9. 購入図書一覧

書名	著者・編集者	発行所
/	/	/

※ 令和3年の購入図書はありません。

10. 来訪市一覧

月 日	自治体名	議員	随行	その他	視 察 事 項
1月25日	四日市議会	8	2		①新公会計制度について ②ICT化の取り組みについて ※ オンラインにて実施
	1市	8	2	0	
合計		8	2	0	

◎月別来訪市議会数

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
自治体数	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
人 数	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10

参考

年別来訪市議会数

年	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31 ・R1)	2020 (R2)	2021 (R3)
自治体数	60	67	110	84	84	92	75	100	78	29	1
人 数	436	477	811	617	555	650	622	824	526	252	10

1 1. 調査活動状況

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
他市・官庁 への回答	12	5	4	12	10	3	10	12	8	4	5	1	86
議員からの 調査依頼	10	19	15	14	8	15	1	11	28	23	10	3	157

参考

年別調査状況

年	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31 ・ R1)	2020 (R2)	2021 (R3)
他市・官庁 への回答	140	136	126	115	125	118	107	111	95	88	86
議員からの 調査依頼	284	236	157	130	164	127	88	128	172	109	157

12. 資 料

(1) 歴代の正・副議長

代	議 長	在職期間		副 議 長	在職期間	
1	夏 目 文 吉	33. 3. 22	34. 3. 10	渋 谷 市十郎	33. 3. 22	34. 3. 10
2	夏 目 文 吉	34. 3. 10	35. 3. 11	菊 谷 武 平	34. 3. 10	35. 3. 11
3	熊 澤 重 治	35. 3. 11	36. 3. 14	内 田 政 光	35. 3. 11	36. 3. 14
4	笠 原 道 一	36. 3. 14	37. 3. 8	小 川 源之助	36. 3. 14	37. 3. 8
5	夏 目 文 吉	37. 3. 16	38. 11. 27	河 合 暁	37. 3. 16	39. 3. 13
6	河 合 暁	39. 3. 13	41. 3. 8	平 本 實	39. 3. 13	41. 3. 8
7	熊 澤 重 治	41. 3. 18	43. 3. 11	青 木 豊 富	41. 3. 18	43. 3. 12
8	平 本 實	43. 3. 12	45. 3. 8	斉 藤 照 男	43. 3. 13	45. 3. 8
9	森 町 三之助	45. 3. 17	47. 3. 10	笠 原 邦 雄	45. 3. 17	47. 3. 12
10	加 藤 二 郎	47. 3. 12	48. 3. 13	加 藤 忠 男	47. 3. 12	48. 3. 16
11	森 町 三之助	48. 3. 16	49. 3. 8	細 野 了	48. 3. 16	49. 3. 8
12	木目田 良 一	49. 3. 13	51. 3. 1	細 野 喜代松	49. 3. 13	51. 3. 3
13	内 田 博	51. 3. 3	53. 3. 8	笠 原 邦 雄	51. 3. 3	52. 3. 18
14	吉 岡 行 雄	53. 3. 9	55. 3. 6	長 沼 房 雄	52. 3. 22	53. 3. 8
15	小 山 貴 光	55. 3. 7	57. 3. 8	小 山 七 平	53. 3. 10	55. 3. 7
16	押 田 正	57. 3. 9	59. 3. 7	花 形 英 一	55. 3. 8	57. 3. 8
17	中 里 誠 作	59. 3. 8	61. 3. 8	木 美 貢	57. 3. 10	59. 3. 8
18	渋 谷 軍 治	61. 3. 11	63. 3. 3	小 竹 金 次	59. 3. 9	61. 3. 8
19	佐 藤 光 平	63. 3. 3	元. 9. 21	小 川 忠 男	61. 3. 11	63. 3. 3
20	小 山 貴 光	元. 9. 21	2. 3. 8	小 林 章	63. 3. 4	2. 3. 8
21	八 木 邦 治	2. 3. 12	4. 3. 3	茂 木 朱 実	2. 3. 12	4. 3. 5
22	金 森 貢	4. 3. 5	6. 3. 8	岩 下 正 充	4. 3. 5	6. 3. 8
23	熊 沢 洋	6. 3. 9	8. 3. 1	和 田 国 吉	6. 3. 9	8. 3. 1

代	議 長	在職期間		副 議 長	在職期間	
24	渋 谷 佳 久	8. 3. 1	10. 3. 8	志 村 賢 藏	8. 3. 1	10. 3. 8
25	渋 谷 敏 穎	10. 3. 9	12. 3. 1	谷 沢 和 夫	10. 3. 9	12. 3. 2
26	中 里 猪 一	12. 3. 2	14. 3. 8	伊 藤 泰 人	12. 3. 2	14. 3. 8
27	長 村 敏 明	14. 3. 11	16. 3. 1	佐 藤 常 雄	14. 3. 11	16. 3. 1
28	大 塚 信 彰	16. 3. 1	18. 3. 8	中 山 勝 子	16. 3. 2	18. 3. 8
29	黒 木 一 文	18. 3. 9	20. 2. 27	田 中 修 一	18. 3. 9	20. 2. 28
30	井 上 正 行	20. 2. 28	22. 3. 8	友 井 和 彦	20. 2. 28	22. 3. 8
31	川 畑 一 隆	22. 3. 9	24. 2. 27	吉 田 つとむ	22. 3. 9	24. 2. 27
32	田 中 修 一	24. 2. 27	26. 3. 8	藤 田 学	24. 2. 27	26. 3. 8
33	上 野 孝 典	26. 3. 10	28. 2. 25	大 西 宣 也	26. 3. 10	28. 2. 25
34	佐 藤 伸一郎	28. 2. 25	28. 10. 4	殿 村 健 一	28. 2. 26	30. 3. 8
35	吉 田 つとむ	28. 10. 4	30. 3. 8	佐 藤 和 彦	30. 3. 9	R2. 2. 21
36	若 林 章 喜	30. 3. 9	R2. 2. 21	お く 栄 一	R2. 2. 25	
37	熊 沢 あやり	R2. 2. 21	R3. 12. 22			
38	佐 藤 伸一郎	R3. 12. 22				

(2) 歴代の正・副常任委員長

期別	名称		総務		厚生		学生		産業		経済		建設		施設		
	任期	委員長	委員長	副委員長	委員長	副委員長	委員長	副委員長	委員長	副委員長	委員長	副委員長	委員長	副委員長	委員長	副委員長	
第1期	33. 3. 24～34. 3. 11	小島海三	笠原道一	博	小山省治	鬼頭玄定	鈴木喜市	高尾英輔	内田政光	小川源之助	高尾英輔	斎藤照男	熊澤重治	河合暁	菊谷武平	笠原道一	
	34. 3. 11～35. 3. 11	井上茂留	内田二郎	加藤四郎	青木豊富	平本白井	高尾喜市	笠原道一	小川源之助	高尾英輔	斎藤照男	高尾英輔	河合暁	佐藤善治郎	佐藤善治郎	佐藤善治郎	佐藤善治郎
	35. 3. 11～36. 3. 14	前田忠三	三沢四郎	名越覚十郎	名越覚十郎	堤加藤	高尾英輔	堤加藤	堤加藤	高尾英輔	高尾英輔	高尾英輔	高尾英輔	高尾英輔	高尾英輔	高尾英輔	高尾英輔
	36. 3. 14～37. 3. 8	平本實	中村義高	井上茂留	井上茂留	堤加藤	高尾英輔	高尾英輔	高尾英輔	高尾英輔	高尾英輔	高尾英輔	高尾英輔	高尾英輔	高尾英輔	高尾英輔	高尾英輔
第2期	37. 3. 17～39. 3. 13	久保田政雄	池田正盛	森町三之助	加藤忠男	堤加藤	高尾英輔	高尾英輔	高尾英輔	高尾英輔	高尾英輔	高尾英輔	高尾英輔	高尾英輔	高尾英輔	高尾英輔	高尾英輔
	39. 3. 13～41. 3. 8	加藤二郎	諸澄福治	諸澄福治	名越覚十郎	守屋三郎	高尾英輔	高尾英輔	高尾英輔	高尾英輔	高尾英輔	高尾英輔	高尾英輔	高尾英輔	高尾英輔	高尾英輔	高尾英輔
	39. 12. 19～41. 3. 8	吉岡行雄	森町三之助	諸澄福治	名越覚十郎	守屋三郎	高尾英輔	高尾英輔	高尾英輔	高尾英輔	高尾英輔	高尾英輔	高尾英輔	高尾英輔	高尾英輔	高尾英輔	高尾英輔
第3期	41. 3. 9～43. 3. 13	渋谷守生	諸澄福治	諸澄福治	名越覚十郎	守屋三郎	高尾英輔	高尾英輔	高尾英輔	高尾英輔	高尾英輔	高尾英輔	高尾英輔	高尾英輔	高尾英輔	高尾英輔	高尾英輔
	43. 3. 13～45. 3. 8	吉岡行雄	諸澄福治	諸澄福治	名越覚十郎	守屋三郎	高尾英輔	高尾英輔	高尾英輔	高尾英輔	高尾英輔	高尾英輔	高尾英輔	高尾英輔	高尾英輔	高尾英輔	高尾英輔
	44. 3. 14～45. 3. 8	吉岡行雄	諸澄福治	諸澄福治	名越覚十郎	守屋三郎	高尾英輔	高尾英輔	高尾英輔	高尾英輔	高尾英輔	高尾英輔	高尾英輔	高尾英輔	高尾英輔	高尾英輔	高尾英輔
期別	名称	総務		文教		社会		環境		産業		建設		施設			
第4期	45. 3. 18～47. 3. 17	諸澄福治	福本爽	守屋三郎	光安百太郎	長沼房雄	長沼房雄	長沼房雄	長沼房雄	長沼房雄	長沼房雄	長沼房雄	長沼房雄	長沼房雄	長沼房雄	長沼房雄	
	47. 3. 18～49. 3. 8	大沢伊助	小竹金次	宇田川孝	押田正	小林章	小林章	小林章	小林章	小林章	小林章	小林章	小林章	小林章	小林章	小林章	
第5期	49. 3. 14～51. 3. 13	小山貴光	長沼房雄	押田正	小林章	市田康	市田康	市田康	市田康	市田康	市田康	市田康	市田康	市田康	市田康	市田康	
	51. 3. 15～53. 3. 8	小山七平	中里誠作	光安百太郎	小原祥夫	三沢義雄	三沢義雄	三沢義雄	三沢義雄	三沢義雄	三沢義雄	三沢義雄	三沢義雄	三沢義雄	三沢義雄	三沢義雄	
第6期	53. 3. 9～57. 3. 11	中里誠作	長沼房雄	広田幾造	渡辺勝広	茂木朱実	茂木朱実	茂木朱実	茂木朱実	茂木朱実	茂木朱実	茂木朱実	茂木朱実	茂木朱実	茂木朱実	茂木朱実	
	55. 3. 13～57. 3. 8	小竹金次	小川忠男	小林章	萩原康好	佐藤光平	佐藤光平	佐藤光平	佐藤光平	佐藤光平	佐藤光平	佐藤光平	佐藤光平	佐藤光平	佐藤光平	佐藤光平	
	55. 3. 14～57. 3. 8	小竹金次	小川忠男	小林章	萩原康好	佐藤光平	佐藤光平	佐藤光平	佐藤光平	佐藤光平	佐藤光平	佐藤光平	佐藤光平	佐藤光平	佐藤光平	佐藤光平	
第7期	57. 3. 10～59. 3. 10	渋谷軍治	小川忠男	今村直	井上博行	倉成美敏	倉成美敏	倉成美敏	倉成美敏	倉成美敏	倉成美敏	倉成美敏	倉成美敏	倉成美敏	倉成美敏	倉成美敏	
	59. 3. 10～61. 3. 8	林郁男	山下七郎	須崎卓司	茂木朱美	萩原康好	萩原康好	萩原康好	萩原康好	萩原康好	萩原康好	萩原康好	萩原康好	萩原康好	萩原康好	萩原康好	

期別	名稱		總務		文教		社教		環境		企業		建設		設置		
	任期	名稱	委員長	副委員長	委員長	副委員長	委員長	副委員長	委員長	副委員長	委員長	副委員長	委員長	副委員長	委員長	副委員長	
第8期	61. 3.12~63. 3.11	八木 邦治	倉成 美敏	和 田 国吉	金 森 貢	佐 藤 松子	佐 藤 松子	岩 下 正充	須 崎 卓司	盛 永 勝也	須 崎 卓司	須 崎 卓司	須 崎 卓司	須 崎 卓司	須 崎 卓司	須 崎 卓司	須 崎 卓司
	63. 3.14~ 2. 3. 8	盛永 勝也	渋谷 敏穎	岩瀬 雄二	倉成 美敏	中里 猪一	山下 七郎	井上 正行	志村 賢藏	熊沢 洋	志村 賢藏	志村 賢藏	志村 賢藏	志村 賢藏	志村 賢藏	志村 賢藏	志村 賢藏
第9期	2. 3.13~ 4. 3.12	熊沢 洋	佐藤 常雄	稲葉 孝紀	中里 猪一	古宮 杜司男	古宮 杜司男	鱒沢 サト	斎藤 勇	谷沢 和夫	斎藤 勇	斎藤 勇	斎藤 勇	斎藤 勇	斎藤 勇	斎藤 勇	斎藤 勇
	4. 3.13~ 6. 3. 9	谷沢 和夫	中里 猪一	佐藤 松子	伊藤 泰人	中山 勝子	中山 勝子	彦坂 恵子	井上 正行	渋谷 佳久	彦坂 恵子	彦坂 恵子	彦坂 恵子	彦坂 恵子	彦坂 恵子	彦坂 恵子	彦坂 恵子
第10期	5. 6. 7~ 6. 3. 9																
	6. 3. 9~ 8. 3. 8	渋谷 佳久	伊藤 泰人	中山 勝子	黒木 一文	進木 忠	殿村 健一	殿村 健一	齋藤 稔	戸塚 雅夫	齋藤 稔	齋藤 稔	齋藤 稔	齋藤 稔	齋藤 稔	齋藤 稔	齋藤 稔
第11期	8. 3.11~10. 3. 8	黒木 一文	友井 和彦	戸塚 雅夫	井上 勉	小宮 晟太郎	吉田 勉	吉田 勉	岩下 正充	片山 光代	岩下 正充	岩下 正充	岩下 正充	岩下 正充	岩下 正充	岩下 正充	岩下 正充
	10. 3.10~12. 3. 5	吉田 勉	今村 路加	伊藤 泰人	大塚 信彰	長村 敏明	中西佳代子	中西佳代子	佐藤 常雄	井上 勉	佐藤 常雄	佐藤 常雄	佐藤 常雄	佐藤 常雄	佐藤 常雄	佐藤 常雄	佐藤 常雄
第12期	12. 3. 6~14. 3. 8	井上 勉	中西佳代子	彦坂 恵子	藤田 学	大塚 信彰	川畑 一隆	川畑 一隆	友井 和彦	田中 修一	友井 和彦	友井 和彦	友井 和彦	友井 和彦	友井 和彦	友井 和彦	友井 和彦
	13. 6. 1~14. 3. 8	岩瀬 雄二		谷沢 和夫	藤田 学	大塚 信彰	川畑 一隆	川畑 一隆	友井 和彦	田中 修一	友井 和彦	友井 和彦	友井 和彦	友井 和彦	友井 和彦	友井 和彦	友井 和彦
第11期	13.12. 3~14. 3. 8																
	14. 3.12~16. 3.11	藤田 学	友井 和彦	川畑 一隆	田中 修一	今村 路加	細野 龍子	細野 龍子	大西 宣也	高嶋 均	大西 宣也	大西 宣也	大西 宣也	大西 宣也	大西 宣也	大西 宣也	大西 宣也
第12期	15. 1.29~15.12. 3	渋谷 敏穎															
	15.12. 4~16. 3.11	大塚 信彰															
第11期	16. 3.12~18. 3. 8	大西 宣也	高嶋 均	殿村 健一	石井 恵子	川島 龍子	佐藤 洋子	佐藤 洋子	田中 修一	若林 章喜	田中 修一	田中 修一	田中 修一	田中 修一	田中 修一	田中 修一	田中 修一
	17. 2.28~18. 3. 8				佐藤伸一郎												

期別	任期	名称	企画		総務		保健		福祉		文教		生活		都市		環境																				
			委員長	副委員長	委員長	副委員長	委員長	副委員長	委員長	副委員長	委員長	副委員長	委員長	副委員長	委員長	副委員長	委員長	副委員長																			
第13期	18. 3.10～20. 3. 9	新井 克尚 あさみ美子	佐藤伸一郎 金子ひろのり	渋谷 武己 若林 章喜	あさみ美子	金子ひろのり	若林 章喜	あさみ美子 吉村こずえ	上野 孝典 宮坂けい子	佐々木智子 河辺康太郎	熊沢あやり 細野 龍子	宮坂けい子	佐々木智子 河辺康太郎	細野龍子 高嶋 均	宮坂けい子	熊沢あやり 細野 龍子	宮坂けい子	宮坂けい子																			
	20. 3.10～20. 3.31																		あさみ美子	金子ひろのり	若林 章喜	あさみ美子	金子ひろのり	若林 章喜	あさみ美子	宮坂けい子	佐々木智子 河辺康太郎	熊沢あやり 細野 龍子	宮坂けい子	佐々木智子 河辺康太郎	細野龍子 高嶋 均	宮坂けい子	熊沢あやり 細野 龍子	宮坂けい子	宮坂けい子		
第14期	20. 4. 1～22. 3. 8	河辺康太郎 戸塚 正人	佐藤 洋子 渋谷 武己 宮坂けい子	若林 章喜	あさみ美子	金子ひろのり	若林 章喜	吉村こずえ	宮坂けい子	佐々木智子 齋藤 祐善	河辺康太郎	細野龍子 高嶋 均	宮坂けい子	佐々木智子 齋藤 祐善	三遊亭らん丈 山下てつや	宮坂けい子	細野龍子 高嶋 均	宮坂けい子	宮坂けい子																		
	21. 4. 8～22. 3. 8																			あさみ美子	金子ひろのり	若林 章喜	あさみ美子	金子ひろのり	若林 章喜	吉村こずえ	宮坂けい子	佐々木智子 齋藤 祐善	河辺康太郎	細野龍子 高嶋 均	宮坂けい子	佐々木智子 齋藤 祐善	三遊亭らん丈 山下てつや	細野龍子 高嶋 均	宮坂けい子	宮坂けい子	
	22. 3.10～24. 3.11																			河辺康太郎	佐藤 洋子	若林 章喜	あさみ美子	金子ひろのり	若林 章喜	吉村こずえ	宮坂けい子	佐々木智子 齋藤 祐善	河辺康太郎	細野龍子 高嶋 均	宮坂けい子	佐々木智子 齋藤 祐善	三遊亭らん丈 山下てつや	細野龍子 高嶋 均	細野龍子 高嶋 均	宮坂けい子	宮坂けい子
	24. 3.12～																			戸塚 正人	渋谷 武己	若林 章喜	あさみ美子	金子ひろのり	若林 章喜	吉村こずえ	宮坂けい子	佐々木智子 齋藤 祐善	河辺康太郎	細野龍子 高嶋 均	宮坂けい子	佐々木智子 齋藤 祐善	三遊亭らん丈 山下てつや	細野龍子 高嶋 均	細野龍子 高嶋 均	宮坂けい子	宮坂けい子
	24. 6.19～																			戸塚 正人	渋谷 武己	若林 章喜	あさみ美子	金子ひろのり	若林 章喜	吉村こずえ	宮坂けい子	佐々木智子 齋藤 祐善	河辺康太郎	細野龍子 高嶋 均	宮坂けい子	佐々木智子 齋藤 祐善	三遊亭らん丈 山下てつや	細野龍子 高嶋 均	細野龍子 高嶋 均	宮坂けい子	宮坂けい子
25. 4.12～	戸塚 正人	宮坂けい子	若林 章喜	あさみ美子	金子ひろのり	若林 章喜	吉村こずえ	宮坂けい子	三遊亭らん丈	河辺康太郎	細野龍子 高嶋 均	宮坂けい子	森本せいや	白川 哲也	三遊亭らん丈	細野龍子 高嶋 均	宮坂けい子	宮坂けい子																			
25.11.28～26. 3. 8	森本せいや 松岡みゆき	渡辺厳太郎 石井くこのり	佐藤 和彦 池川 友一 森本せいや	若林 章喜	あさみ美子	金子ひろのり	若林 章喜	吉村こずえ	松岡みゆき 木目田英男	白川 哲也 おぜき重太郎	三遊亭らん丈	細野龍子 高嶋 均	森本せいや	白川 哲也	三遊亭らん丈	細野龍子 高嶋 均	宮坂けい子	宮坂けい子																			
26. 3.11～28. 3.10	森本せいや	渡辺厳太郎	佐藤 和彦	若林 章喜	あさみ美子	金子ひろのり	若林 章喜	ちだ 伸也	松岡みゆき	白川 哲也	三遊亭らん丈	細野龍子 高嶋 均	森本せいや	白川 哲也	三遊亭らん丈	細野龍子 高嶋 均	宮坂けい子	宮坂けい子																			
28. 3.11～	松岡みゆき	石井くこのり	池川 友一	若林 章喜	あさみ美子	金子ひろのり	若林 章喜	木目田英男	木目田英男	おぜき重太郎	三遊亭らん丈	細野龍子 高嶋 均	森本せいや	白川 哲也	三遊亭らん丈	細野龍子 高嶋 均	宮坂けい子	宮坂けい子																			
29. 3.28～30. 3. 8	森本せいや	石井くこのり	森本せいや	若林 章喜	あさみ美子	金子ひろのり	若林 章喜	ちだ 伸也	木目田英男	おぜき重太郎	三遊亭らん丈	細野龍子 高嶋 均	森本せいや	白川 哲也	三遊亭らん丈	細野龍子 高嶋 均	宮坂けい子	宮坂けい子																			
30. 3.12～	渡辺厳太郎	吉田つとむ	石川 好忠	若林 章喜	あさみ美子	金子ひろのり	若林 章喜	ちだ 伸也	木目田英男	おぜき重太郎	三遊亭らん丈	細野龍子 高嶋 均	森本せいや	白川 哲也	三遊亭らん丈	細野龍子 高嶋 均	宮坂けい子	宮坂けい子																			
30. 3.20～ R2. 3.17	いわせ和子	星だいつけ	松葉ひろみ	若林 章喜	あさみ美子	金子ひろのり	若林 章喜	東 友美	おぜき重太郎	おんじょう由久	渡辺厳太郎	細野龍子 高嶋 均	森本せいや	おぜき重太郎	渡辺厳太郎	細野龍子 高嶋 均	宮坂けい子	宮坂けい子																			
R2. 3.18～	ちだ 伸也	若林 章喜	松葉ひろみ	若林 章喜	あさみ美子	金子ひろのり	若林 章喜	東 友美	おぜき重太郎	おんじょう由久	渡辺厳太郎	細野龍子 高嶋 均	森本せいや	おぜき重太郎	渡辺厳太郎	細野龍子 高嶋 均	宮坂けい子	宮坂けい子																			
R3. 6. 7～	ちだ 伸也	若林 章喜	松葉ひろみ	若林 章喜	あさみ美子	金子ひろのり	若林 章喜	東 友美	おぜき重太郎	おんじょう由久	渡辺厳太郎	細野龍子 高嶋 均	森本せいや	おぜき重太郎	渡辺厳太郎	細野龍子 高嶋 均	宮坂けい子	宮坂けい子																			

(3) 歴代の正・副議会運営委員長

期 別	任 期	委 員 長	副 委 員 長
第 9 期	H 3. 12. 20～ 4. 3. 12	和田 国吉 渋谷 敏頼	大西 宣也 佐藤 常雄 稲葉 孝紀
	4. 3. 13～ 6. 3. 8		
	4. 3. 13～ 5. 5. 25		
	5. 5. 25～ 6. 3. 8		
第 10 期	H 6. 3. 10～ 8. 3. 4	中里 猪一 茂木 朱実	佐藤 常雄 長村 敏明
	8. 3. 4～10. 3. 8		
第 11 期	H10. 3. 10～12. 3. 6	黒木 一文 岩瀬 雄二	小宮晟太郎 田中 修一
	12. 3. 6～14. 3. 8		
第 12 期	H14. 3. 12～16. 3. 1	吉田つとむ 藤田 学 黒木 一文	中山 勝子 熊沢あやり
	16. 3. 2～17. 12. 22		
	16. 3. 2～18. 3. 8		
	17. 12. 22～18. 3. 8		
第 13 期	H18. 3. 10～20. 2. 27	友井 和彦 渋谷 武己	高嶋 均 新井 克尚 伊藤 泰人
	20. 2. 28～22. 3. 8		
	20. 2. 28～21. 4. 28		
	21. 5. 26～22. 3. 8		
第 14 期	H22. 3. 10～24. 2. 27	田中 修一 おく 栄一	細野 龍子 森本せいや
	24. 2. 28～26. 3. 8		
第 15 期	H26. 3. 11～28. 2. 28	市川 勝斗 若林 章喜 若林 章喜	戸塚 正人 山下てつや 山下てつや
	28. 2. 29～28. 3. 10		
	28. 3. 11～30. 3. 8		
第 16 期	H30. 3. 12～R2. 2. 24	三遊亭らん丈 森本せいや 森本せいや	戸塚 正人 松岡みゆき 松岡みゆき 木目田英男
	2. 2. 25～ 2. 3. 17		
	2. 3. 18～		
	3. 6. 7～		

(4) 歴代の正・副特別委員長

	名 称	設 置 期 間	定数	任 期	委 員 長	副 委 員 長
第1期	ガ ス 誘 致 (36.3「ガス」と改称)	33. 3. 24～37. 3. 8	15	33. 3. 24～34. 3. 11	細野 信正	久保田政雄
				34. 3. 11～35. 3. 11	久保田政雄	臼井 嘉市
				35. 3. 11～36. 3. 20	鬼頭 玄定	名越覚十郎
				36. 3. 20～37. 3. 8	加藤 二郎	臼井 嘉市
第1期	首都圏整備対策	33. 3. 24～37. 3. 8	15	33. 3. 24～34. 3. 11	堀江 卓	竹内 武雄
				34. 3. 11～35. 3. 11	大谷喜代志	佐藤 長一
				35. 3. 11～36. 3. 21	今岡七五郎	榎本 熙
				36. 3. 21～37. 3. 8	竹内 武雄	鈴木 喜市
第1期	アジビラ調査	36. 4. 20～36. 9. 21	11	36. 5. 13～36. 7. 8	熊澤 重治	内田 政光
				36. 7. 8～36. 9. 21	河合 暁	内田 政光
第1期	オリンピック馬術競技場誘致	36. 8. 1～36. 9. 21	10	36. 8. 4～36. 9. 21	夏目 文吉	三沢 四郎
第2期	ガ ス	37. 3. 17～37. 9. 20	12	37. 3. 17～37. 9. 20	高尾 英輔	佐藤 長治
	首都圏整備対策	37. 3. 17～37. 9. 20	13	37. 3. 17～37. 9. 20	三沢 四郎	加藤 二郎
	鶴川地区飼牛環境整備対策	37. 6. 1～37. 9. 20	7	37. 6. 1～37. 9. 20	三沢 四郎	中村 義高
	消防署建設促進	37.10. 6～38. 6. 15	10	37.10. 6～38. 6. 15	河合 暁	青木 豊富
	非行少年問題対策	38. 6. 28～38.11. 8	14	38. 7. 22～38.11. 8	堤 時彦	森町三之助
	都市整備対策	38. 6. 28～38. 9. 12	16	38. 7. 10～38. 9. 12	三沢 四郎	佐藤 長治
	市街地改造 (40.6 2・2・1 路線対策と改称)	38. 9. 21～40.12.21	10	38. 9. 21～40.12.21	久保田政雄	加藤 二郎
	忠生区画整理対策	38. 9. 21～40.12.21	10	38. 9. 21～40.12.21	鈴木 喜市	守屋喜代次
	東名高速道路対策	38. 9. 21～40. 6. 24	10	38. 9. 21～40. 6. 24	井上 茂留	宇田川 孝
	市立体育館建設	39. 3. 25～40. 1. 15	10	39. 3. 25～40. 1. 15	渋谷市十郎	斉藤 照男
	横浜線複線促進	40. 3. 29～41. 3. 8	10	40. 3. 29～41. 3. 8	青木 豊富	斉藤 照男
市職員 の サービス 規律調査	40. 9. 30～40.12.20	8	40.10. 5～40.12.20	斉藤 照男	細野 了	

	名 称	設 置 期 間	定数	任 期	委 員 長	副 委 員 長
第3期	横浜線複線促進	41. 3. 19~45. 3. 8	10	41. 3. 19~43. 3. 23 43. 3. 23~45. 3. 8	笠原 邦雄 城田 賢蔵	諸澄 福治 河合秀二郎
	山崎市有地調査	41. 9. 30~42. 3. 10	7	41. 10. 11~42. 3. 10	吉岡 行雄	名越覚十郎
	境川改修対策	41. 9. 30~45. 3. 8	7	41. 10. 12~43. 3. 16 43. 3. 16~45. 3. 8	斉藤 照男 福本 爽	福本 爽 細野 了
	団地対策	41. 12. 20~45. 3. 8	8	42. 1. 11~45. 3. 8	細野 総一	小山 七平
	庁舎建設	42. 12. 16~44. 12. 17	13	42. 12. 22~44. 12. 17	青木 豊富	名越覚十郎
	決算（42年度）	43. 12. 10~43. 12. 18	29	43. 12. 10~43. 12. 18	加藤 二郎	井上 昇
第4期	横浜線対策	45. 3. 31~49. 3. 8	9	45. 4. 1~47. 3. 18 47. 3. 18~49. 3. 8	細野喜代松 吉岡 行雄	木目田良一 長沼 房雄
	境川改修対策	45. 3. 31~49. 3. 8	10	45. 4. 12~47. 3. 18 47. 3. 18~49. 3. 8	鈴木 喜市 細野喜代松	細野 了 池田 正盛
	団地造成対策	45. 4. 2~49. 3. 8	10	45. 4. 2~47. 3. 18 47. 3. 18~49. 3. 8	小山 七平 仲沢 逸雄	大沢 伊助 市田 康
	市街地再開発	46. 6. 21~49. 3. 8	9	46. 6. 21~47. 3. 18 47. 3. 18~49. 3. 8	宇田川 孝 河合秀二郎	加藤 忠男 守屋 三郎
	公有財産使用許可 取り消し処分 に関する審査	46. 5. 14~46. 5. 22	9	46. 5. 14~46. 5. 22	加藤 忠男	名越覚十郎
	決算（45年度）	46. 12. 18~47. 6. 12	12	46. 12. 18~47. 6. 12	福本 爽	小竹 金次
	決算（46年度）	47. 12. 18~48. 9. 12	12	47. 12. 18~48. 9. 12	木目田良一	渡辺 勝広
第5期	土地利用対策	49. 3. 25~53. 3. 8	10	49. 3. 25~51. 3. 15 51. 3. 15~53. 3. 8	守屋 三郎 渡辺 勝広	(~51. 3. 4) 小林 章 井上 博行
	交通対策	49. 3. 25~53. 3. 8	10	49. 3. 25~51. 3. 15 51. 3. 15~53. 3. 8 51. 3. 15~52. 3. 23 52. 3. 31~53. 3. 8	吉岡 行雄 花形 英一	(~51. 3. 4) 木美 貢 長沼 房雄 茂木 朱実

	名 称	設 置 期 間	定数	任 期	委 員 長	副 委 員 長
第5期	市街地再開発	49. 3. 25～53. 3. 8	10	49. 3. 25～51. 3. 15 49. 3. 25～51. 3. 4 51. 3. 15～52. 6. 17 52. 7. 14～53. 3. 8 51. 3. 15～51. 12. 14 51. 12. 14～53. 3. 8	河合秀二郎 河合秀二郎 細野喜代松	中里 誠作 大西 一也 広田 幾造
	河川改修対策	49. 3. 25～53. 3. 8	10	49. 3. 25～51. 3. 15 51. 3. 15～53. 3. 8	(～51. 3. 4) 高野 和洋 木美 貢	浅沼 武男 小峯 璋
	決算（48年度）	49. 12. 14～50. 3. 11	13	49. 12. 14～50. 3. 11	吉岡 行雄	金子 喜市
	決算（49年度）	50. 12. 10～51. 3. 1	13	50. 12. 10～51. 3. 1	内田 博	倉成 美敏
	予 算	51. 3. 16～51. 3. 31	39	51. 3. 16～51. 3. 31	吉岡 行雄	茂木 朱実
	決算（50年度）	51. 12. 14～52. 3. 8	13	51. 12. 16～52. 3. 8	小山 貴光	小竹 金次
	委員会審査条例	52. 12. 22～53. 3. 8	11	52. 12. 22～53. 3. 8	押田 正	金子 喜市
第6期	土地利用対策	53. 3. 11～57. 3. 8	10	53. 3. 11～55. 3. 11 55. 3. 11～57. 3. 8	小原 祥夫 仲沢 逸雄	倉成 美敏 菊地 信夫
	交通対策	53. 3. 11～57. 3. 8	10	53. 3. 11～55. 3. 11 55. 3. 11～57. 3. 8	小山 貴光 須崎 卓司	林 郁男 渡辺 勝広
	市街地再開発	53. 3. 11～56. 3. 5	10	53. 3. 11～55. 3. 11 55. 3. 11～56. 3. 5	小竹 金次 古宮杜司男	井上 博行 小川 忠男
	河川改修対策	53. 3. 11～57. 3. 8	10	53. 3. 11～55. 3. 11 55. 3. 11～57. 3. 8	岩下 正充 林 郁男	井上 直之 岩下 正充
	市職員の勤務に関する調査	53. 4. 1～54. 3. 28	13	53. 4. 1～54. 3. 28	花形 英一	小竹 金次
	決算（52年度）	53. 12. 13～54. 3. 6	13	53. 12. 13～54. 3. 6	押田 正	菊地 信夫
	土地利用規制に関する調査	54. 9. 20～56. 3. 26	14	54. 9. 20～56. 3. 26	井上 博行	倉成 美敏
	決算（53年度）	54. 12. 11～55. 3. 27	14	54. 12. 11～55. 3. 27	佐藤 松子	萩原 康好

	名 称	設 置 期 間	定 数	任 期	委 員 長	副 委 員 長
第6期	決算（54年度）	55.12.11～56.3.5	14	55.12.11～56.3.5	小峯 璋	井上 直之
	市街地対策	56.3.30～57.3.8	10	56.4.7～57.3.8	古宮杜司男	小川 忠男
	学校給食条例審査	57.12.14～57.3.8	15	56.12.14～57.3.8	大西 一也	茂木 朱実
第7期	市街地整備対策	57.3.30～61.3.8	10	57.3.30～59.3.10	吉岡 行雄	盛永 勝也
				59.3.10～61.3.8	金森 責	佐藤 松子
	交通輸送対策	57.3.30～61.3.8	10	57.3.30～59.3.10	茂木 朱実	佐藤 松子
				59.3.10～61.3.8	広田 幾造	和田 国吉
	土地利用対策	57.3.30～61.3.8	10	57.3.10～59.3.10	志村 賢藏	須崎 卓司
				59.3.10～61.3.8	岩瀬 雄二	仲沢 逸雄
	行政改革に関する	57.3.30～59.3.6	10	57.3.30～59.3.6	大沢 伊助	井上 正行
	決算（56年度）	57.12.15～58.3.8	16	57.12.15～58.3.8	萩原 康好	岩下 正充
	校内暴力に関する調査	58.3.31～59.3.6	16	58.3.31～59.3.6	小山 貴光	稲葉 孝紀
	町田市議会議員定数に関する	58.9.29～60.9.4	16	58.9.29～59.3.10 59.3.10～60.9.4	萩原 康好 谷沢 和夫	小竹 金次 古宮杜司男
決算（57年度）	58.12.12～59.3.6	16	58.12.12～59.3.6	広田 幾造	渡辺 勝広	
決算（58年度）	59.12.3～59.12.25	16	59.12.3～59.12.25	熊沢 洋	和田 国吉	
決算（59年度）	60.12.3～60.12.24	15	60.12.3～60.12.24	大沢 伊助	志村 賢藏	
第8期	土地利用対策	61.3.31～2.3.8	13 63.9.12 から10	61.3.31～63.3.4	小林 章	進木 忠
				63.3.4～2.3.8	岩下 正充	斎藤 勇
	交通輸送対策	61.3.31～2.3.8	13 63.9.12 から10	61.3.31～63.3.4	稲葉 孝紀	小原 祥夫
				63.3.4～2.3.8	佐藤 松子	渋谷 佳久
	市街地整備対策	61.3.31～2.3.8	13 63.9.12 から10	61.3.31～63.3.4	広田 幾造	井上 正行
				63.3.4～2.3.8	大西 宣也	進木 忠
	決算（60年度）	61.12.2～61.12.23	15	61.12.2～61.12.23	山下 七郎	岩下 正充
	古宮議員の言動究明に関する調査	62.9.29～63.12.16	13	62.9.29～63.3.16	小竹 金次	広田 幾造
決算（61年度）	62.12.2～62.12.25	15	62.12.2～62.12.25	岩瀬 雄二	斎藤 勇	
電算機導入対策	63.3.29～元.9.4	10	63.3.29～元.9.4	長尾 彰久	八木 邦治	
決算（62年度）	63.12.1～63.12.23	15	63.12.1～63.12.23	金森 貢	中山 勝子	
決算（63年度）	元.12.1～元.12.22	15	元.12.1～元.12.22	須崎 卓司	稲葉 孝紀	

	名 称	設 置 期 間	定数	任 期	委 員 長	副 委 員 長
第9期	決算（元年度）	2.12.3～2.12.21	15	2.12.3～2.12.21	渋谷 敏穎	長尾 彰久
	レストラン四季補助金 金 使 途 調 査	3.2.5～3.12.20	15	3.2.5～3.12.20	金森 貢	進木 忠
	庁 舎 建 設	2.9.2～5.11.26	14	2.9.2～4.3.13	渋谷 佳久	林 郁男
				4.3.13～5.1.4	志村 賢藏	戸塚 雅夫
5.3.2～5.11.26				進木 忠	中里 猪一	
決算（2年度）	3.11.25～3.12.20	14	3.11.25～3.12.20	中里 猪一	佐藤 常堆	
第10期	決算（5年度）	6.11.25～6.12.20	12	6.11.25～6.12.20	黒木 一文	伊藤 泰人
	決算（6年度）	7.11.27～7.12.21	12	7.11.27～7.12.21	戸塚 雅夫	岩下 正充
	決算（7年度）	8.11.25～8.12.19	12	8.11.25～8.12.19	大塚 信彰	今村 路加
	決算（8年度）	9.11.26～9.12.19	11	9.11.26～9.12.19	井上 勉	井上 正行
第11期	決算（9年度）	10.11.25～10.12.22	12	10.11.25～10.12.22	小宮晟太郎	友井 和彦
	町田市議会の改革 に 関 する 調 査	11.3.3～13.9.3	14	11.3.12～13.9.3	大塚 信彰	川島 龍子
	行 財 政 改 革	11.3.12～13.11.16	14	11.3.29～13.11.16	井上 正行	長村 敏明
	決算（10年度）	11.11.8～11.11.29	10	11.11.8～11.11.29	大塚 信彰	川島 龍子
	町 田 市 庁 舎 等 に 関 する	12.6.23～13.9.26	12	12.6.23～13.12.3	渋谷 軍治	大西 宣也
	決算（11年度）	12.11.7～12.12.1	11	12.11.7～12.12.1	中山 勝子	中西佳代子
	決算（12年度）	13.11.6～13.12.3	11	13.11.6～13.12.3	藤田 学	進木 忠
第12期	決算（13年度）	14.9.27～14.10.28	10	14.9.27～14.10.28	友井 和彦	上野 孝典
	決算（14年度）	15.9.29～15.10.22	10	15.9.29～15.10.22	川畑 一隆	新井 克尚
	庁 舎 等 検 討	15.12.15～16.3.26	11	15.12.15～16.3.26	藤田 学	岩下 正充
	新 庁 舎 建 設 等 に 関 する 調 査	16.9.13～17.12.22	10	16.9.13～17.12.22	伊藤 泰人	佐藤伸一郎
	決算（15年度）	16.9.14～16.10.7	10	16.9.14～16.10.7	渋谷 武己	宮坂けい子
	決算（16年度）	17.9.16～17.10.12	10	17.9.16～17.10.12	新井 克尚	佐藤伸一郎

	名 称	設 置 期 間	定 数	任 期	委 員 長	副 委 員 長
第13期	決算（17年度）	18. 9. 12～18. 10. 5	10	18. 9. 12～18. 10. 5	若林 章喜	戸塚 正人
	議会改革調査	18. 9. 12～21. 6. 23	11	18. 9. 12～20. 2. 27	井上 正行	
				18. 9. 12～20. 3. 3		若林 章喜
				20. 3. 10～21. 6. 23	伊藤 泰人	三遊亭らん丈
	町田市庁舎建設等に関する調査	18. 10. 5～21. 3. 30	10	18. 10. 5～21. 3. 30	佐藤伸一郎	あさみ美子
	決算（18年度）	19. 9. 13～19. 10. 10	10	19. 9. 13～19. 10. 10	佐藤伸一郎	吉村こずえ
	決算（19年度）	20. 9. 16～20. 10. 9	10	20. 9. 16～20. 10. 9	三遊亭らん丈	おく 栄一
決算（20年度）	21. 9. 9～21. 10. 6	10	21. 9. 9～21. 10. 6	齋藤 祐善	市川 勝斗	
第14期	決算（21年度）	22. 9. 10～22. 10. 6	10	22. 9. 10～22. 10. 6	山下てつや	白川 哲也
	町田市庁舎及び庁舎移転に関する調査	22. 3. 30～24. 3. 28	10	22. 3. 30～24. 3. 28	新井 克尚	戸塚 正人
	野津田公園基本計画に関する調査	23. 3. 29～23. 8. 30	8	23. 3. 29～23. 8. 30	上野 孝典	齋藤 祐善
	決算（22年度）	23. 9. 8～23. 10. 4	10	23. 9. 8～23. 10. 4	市川 勝斗	戸塚 正人
	町田市議会改革調査	23. 9. 8～25. 6. 6	8	23. 9. 8～25. 6. 6	齋藤 祐善	山下てつや
	決算（23年度）	24. 9. 12～24. 10. 5	10	24. 9. 12～24. 10. 5	河辺康太郎	細野 龍子
	決算（24年度）	25. 9. 11～25. 10. 8	10	25. 9. 11～25. 10. 8	渡辺巖太郎	いわせ和子
第15期	町田市交通政策	26. 6. 3～28. 6. 24	10	26. 6. 3～28. 2. 24	佐藤伸一郎	
				26. 6. 3～28. 6. 24		おぜき重太郎
				28. 2. 25～28. 6. 24	藤田 学	
	決算（25年度）	26. 9. 10～26. 10. 6	10	26. 9. 10～26. 10. 6	白川 哲也	石川 好忠
	第15期町田市議会改革調査	27. 3. 27～27. 12. 22	9	27. 3. 27～27. 12. 22	熊沢あやり	戸塚 正人
決算（26年度）	27. 9. 8～27. 10. 5	10	27. 9. 8～27. 10. 5	松岡みゆき	石井くにのり	
第16期	第16期町田市議会改革調査	30. 12. 11～R3. 3. 29	10	30. 12. 11～R2. 3. 17	藤田 学	松葉ひろみ
				R2. 3. 18～R3. 3. 29	三遊亭らん丈	斉藤かつひろ
	町田市基本構想・基本計画調査	R元. 8. 28～R3. 6. 30	36 R2. 3. 18 から 10	R元. 8. 28～R3. 6. 30	若林 章喜	佐藤 和彦

(5) 歴代の正・副法外委員長

	名 称	設 置 期 間	定数	任 期	委 員 長	副 委 員 長
第1期	議会運営	33. 3. 24～37. 3. 8	8	33. 3. 24～34. 3. 11	渋谷 一郎	三沢 四郎
				34. 3. 11～35. 3. 11	三沢 四郎	青木 豊富
				35. 3. 11～36. 3. 14	三沢 四郎	渋谷 一郎
				36. 3. 14～37. 3. 8	斎藤 照男	渋谷 一郎
第2期	議会運営	37. 3. 17～41. 3. 8	5	37. 3. 17～39. 3. 13	斎藤 照男	城田 賢蔵
				39. 3. 13～41. 3. 8	斎藤 照男	城田 賢蔵
第3期	議会運営	41. 3. 19～45. 3. 8	7	41. 3. 19～43. 3. 13	斎藤 照男	城山 武一
				43. 3. 13～45. 3. 8	前田 敏一	宇田川 孝
第4期	議会運営	45. 3. 18～49. 3. 8	8	45. 3. 18～47. 3. 21	吉岡 行雄	河合秀二郎
				47. 3. 27～49. 3. 8	笠原 邦堆	小山 七平
	災害対策	46. 9. 25～49. 3. 8	10	46. 11. 22～47. 3. 18	内田 博	河合秀二郎
				47. 3. 28～49. 3. 8	堤 時彦	細野 了
第5期	議会運営	49. 3. 14～53. 3. 8	10	49. 3. 14～51. 3. 4	笠原 邦雄	内田 博
				51. 3. 5～53. 3. 8	押田 正	金子 喜市
	災害対策	49. 3. 14～53. 3. 8	10	49. 5. 7～51. 3. 14	小川 忠男	花形 英一
				51. 3. 15～53. 3. 8	斎藤 謹也	林 郁男
第6期	議会運営	53. 3. 11～57. 3. 8	8	53. 3. 11～55. 3. 10	大沢 伊助	金子 喜市
				55. 3. 11～57. 3. 8	金子 喜市	
				55. 3. 11～55. 9. 17		中金 義男
				55. 9. 26～57. 3. 8		井上 博行
	災害対策	53. 3. 11～57. 3. 8	13	53. 3. 11～55. 3. 10	今村 直	田中 年男
				53. 3. 11～54. 2. 18		小峯 璋
			54. 3. 6～55. 3. 10		谷沢 和夫	
			55. 3. 11～57. 3. 8	陶山 金造		
第7期	議会運営	57. 3. 10～61. 3. 8	10	57. 3. 10～59. 3. 9	中里 誠作	小竹 金次
				59. 3. 10～61. 3. 8	今村 直	八木 邦治
	災害対策	57. 3. 10～61. 3. 8	12	57. 3. 10～59. 3. 9	広田 幾造	進木 忠
				59. 3. 10～61. 3. 8	進木 忠	熊沢 洋
第8期	議会運営	61. 3. 12～ 2. 3. 8	10	61. 3. 12～63. 3. 11	小竹 金次	熊沢 洋
				63. 3. 14～ 2. 3. 8	茂木 朱実	金森 貢
	災害対策	61. 3. 12～ 2. 3. 8	12	61. 3. 12～63. 3. 11	古宮杜司男	山下 七郎
				63. 3. 14～ 2. 3. 8	中里 猪一	佐藤 常雄
第9期	議会運営	2. 3. 13～ 3. 12. 18	10	2. 3. 13～ 3. 12. 18	和田 国吉	大西 宣也
	災害対策	2. 3. 13～ 6. 3. 8	11	2. 3. 13～ 4. 3. 12	渋谷 佳久	盛永 勝也
				4. 3. 13～ 6. 3. 8	小宮晟太郎	黒木 一文
第10期	災害対策	6. 3. 10～10. 3. 8	11	6. 3. 10～ 8. 3. 8	小宮晟太郎	渋谷 敏穎
				8. 3. 11～10. 3. 8	斎藤 勇	岩瀬 雄二

	名 称	設 置 期 間	定 数	任 期	委 員 長	副 委 員 長
第 11 期	災 害 対 策	10. 3. 10～14. 3. 8	11	10. 3. 10～12. 3. 10 12. 3. 10～14. 3. 8	井上 勉 藤田 学	殿村 健一 岩下 正充
第 12 期	災 害 対 策	14. 3. 12～16. 3. 11 16. 3. 12～18. 3. 8	10 11	14. 3. 12～16. 3. 11 14. 3. 12～15. 12. 3 15. 12. 4～16. 3. 11 16. 3. 12～18. 3. 8	高嶋 均 佐藤伸一郎	大塚 信彰 熊沢あやり 新井 克尚
第 13 期	災 害 対 策	18. 3. 10～22. 3. 8	10	18. 3. 10～20. 3. 9 20. 3. 10～22. 3. 8	若林 章喜 市川 勝斗	佐々木智子 山下 哲也
	町 田 市 議 会 5 0 年 史 編 さん	19. 4. 11～21. 3. 30	7	19. 4. 11～20. 2. 27 19. 4. 11～20. 2. 28 20. 3. 10～21. 3. 30	黒木 一文 井上 正行	田中 修一 友井 和彦
第 14 期	災 害 対 策	22. 3. 10～26. 3. 8	11	22. 3. 10～24. 3. 11 24. 3. 12～26. 3. 8	佐藤伸一郎 上野 孝典	上野 孝典 池川 友一
第 15 期	災 害 対 策	26. 3. 11～30. 3. 8	10	26. 3. 11～28. 3. 10 28. 3. 11～30. 3. 8	三遊亭らん丈 渡辺巖太郎	あさみ美子 石井くにのり
第 16 期	災 害 対 策	30. 3. 12～	10 30. 9. 26 から 11	30. 3. 12～R2. 3. 17 R2. 3. 18～	松葉ひろみ 木目田英男	わたべ真実 おぜき重太郎

(6) 議員・市長等の報酬等月額一覧

(単位：円)

改定年月日	議 長	副 議 長	議 員	市 長	副 市 長	教 育 長
S. 33. 2. 1	—	—	—	—	—	40,000以上
33. 3. 9	23,000	20,000	18,000	—	—	—
33. 4. 1	—	—	—	60,000	40,000～ 50,000	—
36. 4. 1	—	—	—	75,000～ 85,000	60,000～ 70,000	60,000以上
37. 4. 1	40,000	35,000	30,000	80,000～ 90,000	65,000～ 75,000	65,000以上
38. 4. 1	—	—	—	105,000	90,000	75,000
38. 7. 1	45,000	40,000	35,000	—	—	—
39. 4. 1	—	—	—	120,000	100,000	85,000
40. 4. 1	70,000	60,000	50,000	135,000	115,000	100,000
43. 9. 1	83,000	73,000	65,000	175,000	145,000	120,000
46. 4. 1	120,000	100,000	90,000	—	180,000	155,000
48. 4. 1	150,000	130,000	120,000	—	240,000	220,000
49. 4. 1	175,000	145,000	135,000	340,000	310,000	280,000
50. 4. 1	210,000	180,000	170,000	410,000	360,000	330,000
51. 10. 1	250,000	220,000	210,000	470,000	420,000	400,000
53. 4. 1	300,000	270,000	250,000	540,000	480,000	460,000
54. 9. 1	320,000	290,000	275,000	570,000	510,000	490,000
55. 10. 1	350,000	320,000	300,000	590,000	530,000	510,000
57. 6. 1	380,000	350,000	330,000	650,000	580,000	555,000
59. 12. 1	405,000	375,000	355,000	690,000	610,000	570,000
61. 10. 1	440,000	405,000	385,000	745,000	655,000	610,000
63. 4. 1	467,000	430,000	410,000	790,000	695,000	647,000
H. 2. 10. 1	515,000	474,000	452,000	870,000	760,000	707,000
4. 10. 1	570,000	525,000	500,000	950,000	830,000	770,000
7. 4. 1	596,000	549,000	523,000	993,000	867,000	804,000
9. 1. 1	640,000	580,000	550,000	1,060,000	900,000	820,000

※特例条例による減額等は含まず。

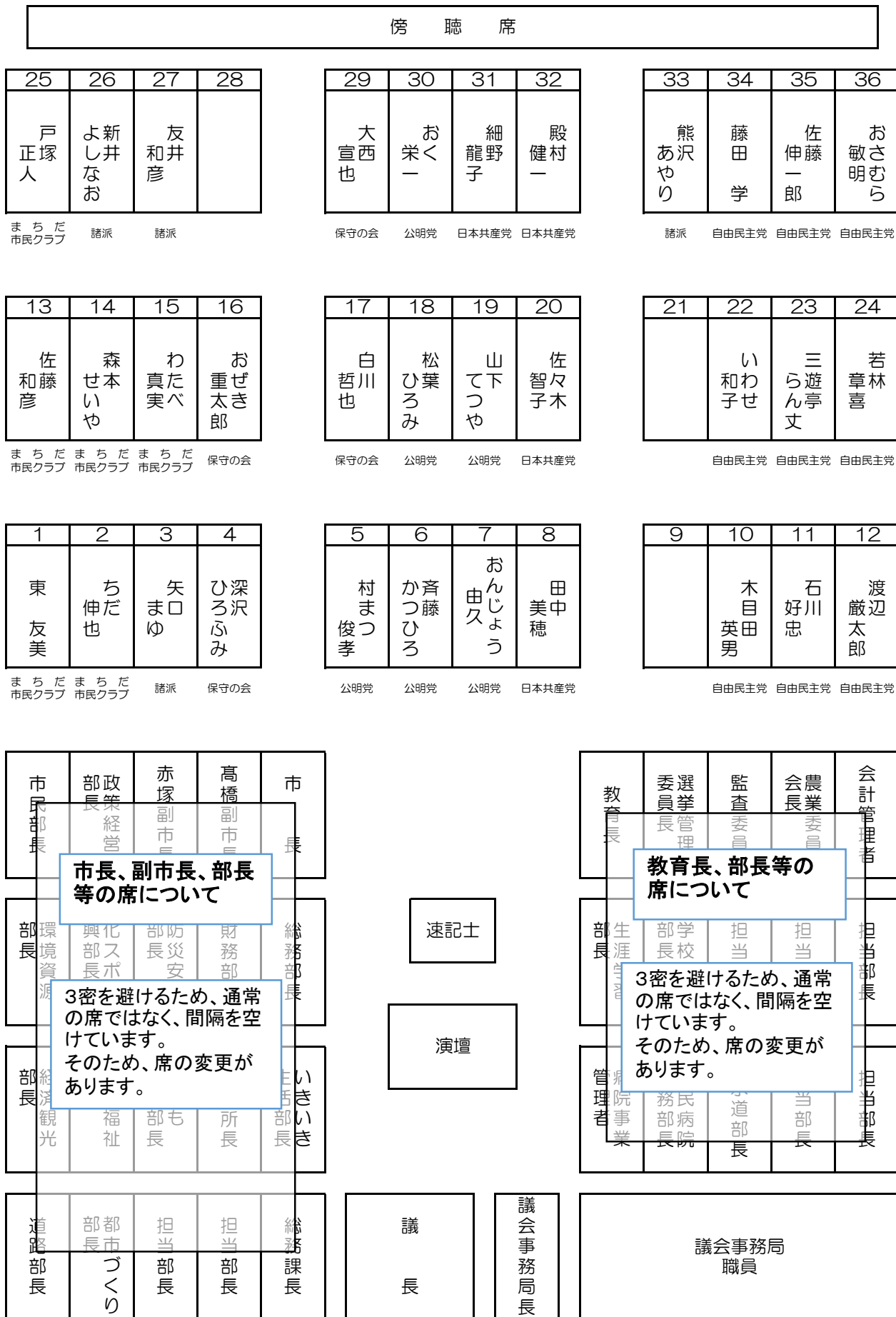
(7) 議員の期末手当率一覧

年	3月期	6月期	12月期	年	3月期	6月期	12月期
S 3 3		0.5	1.0	2		2.2	2.6
3 4		1.0	1.0	3	0.55	2.2	2.7
3 5		1.0	1.5	4	0.55	2.2	2.7
3 6		2.0	3.0	5	0.5	2.2	2.6
3 7		1.43	2.0	6	0.5	2.2	2.6
3 8		1.5	2.5	7	0.4	2.2	2.5
3 9		1.8	3.0	8	0.5	2.2	2.5
4 0		1.4	2.2	9	0.5	2.2	2.5
4 1		1.8	2.7	1 0	0.5	2.2	2.5
4 2		1.5	3.0	1 1	0.5	2.2	2.5
4 3		2.0	3.0	1 2	0.2	2.2	2.5
4 4		2.0	3.0	1 3	0.5	2.2	2.5
4 5		2.0	3.01	1 4	0.5	2.2	2.5
4 6		2.05	3.1	1 5	0.5	2.2	2.5
4 7		2.11	3.2	1 6	0.5	2.2	2.5
4 8		2.3	3.4	1 7	0.5	2.2	2.5
4 9		2.5	3.89	1 8	0.5	2.2	2.5
5 0		2.4	3.2	1 9	0.5	2.2	2.5
5 1		2.2	3.2	2 0	0.5	2.2	2.5
5 2		2.25	3.2	2 1	0.5	2.2	2.5
5 3		2.22	3.2	2 2	0.5	2.2	2.5
5 4		2.2	3.13	2 3	0.5	2.2	2.5
5 5		2.0	3.24	2 4	0.5	2.2	2.5
5 6		2.225	2.95	2 5	0.5	2.2	2.5
5 7		2.185	2.95	2 6	0.4	2.1	2.4
5 8		2.17	2.82	2 7	0.4	2.1	2.4
5 9		2.08	2.72	2 8	0.4	2.1	2.4
6 0		2.01	2.64	2 9	0.4	2.1	2.4
6 1		1.9	2.55	3 0	0.4	2.1	2.4
6 2		1.9	2.5	R元	0.4	2.1	2.4
6 3		1.9	2.5	2		2.45	2.45
H元		1.9	2.5	3		2.45	2.45

※平成2年6月期からは、報酬の月額及び報酬の月額に20%を乗じて得た金額の合計に、それぞれの割合を乗じた額

(8) 議場内議席配置図

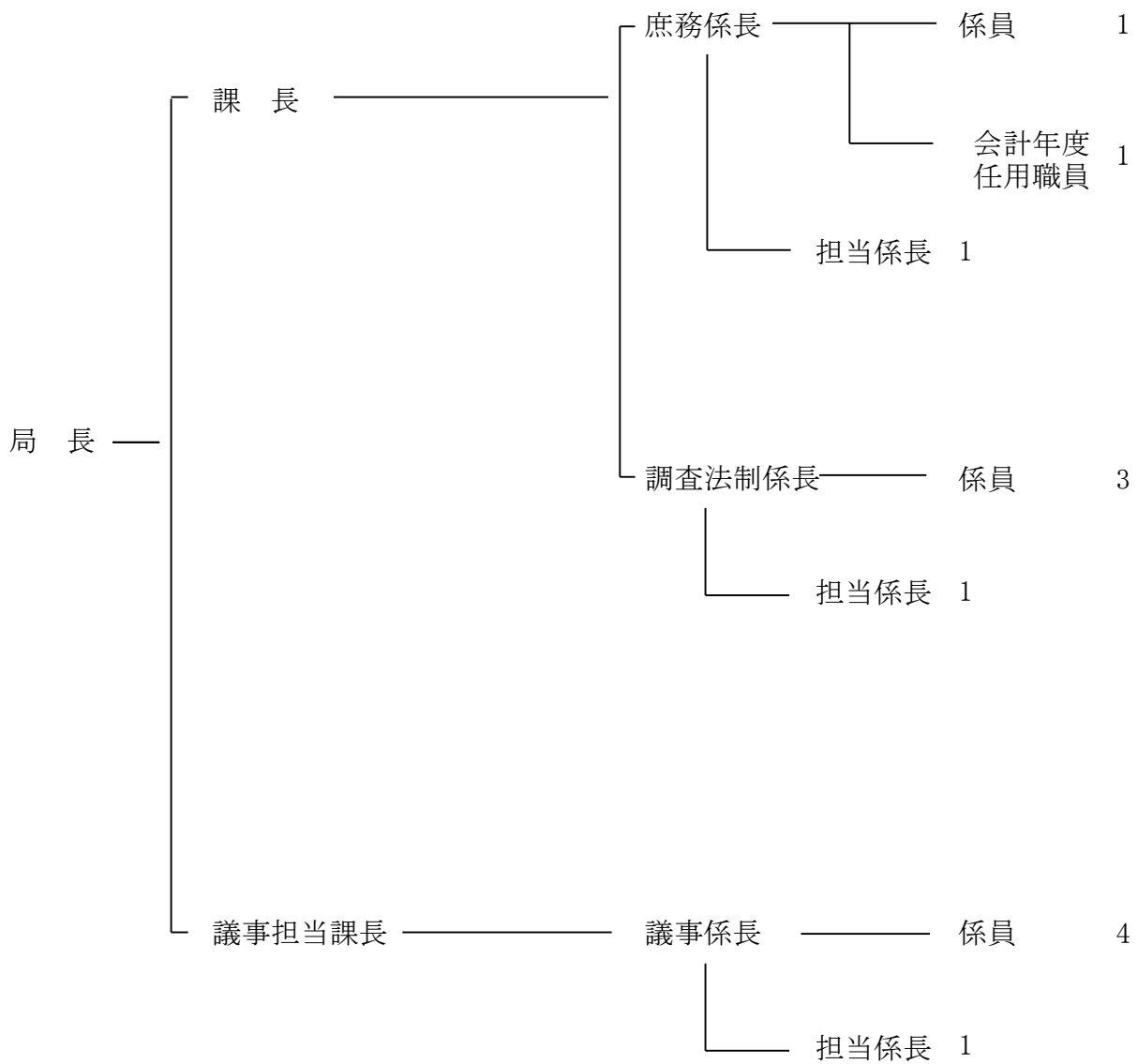
2021年12月31日現在



(9) 議会事務局組織

(令和3年12月31日現在)

正規職員 17人 会計年度任用職員 1人



町田市議会議員の政治活動における虚礼廃止に関する要綱

平成元年12月1日制定
平成2年2月1日改正

この要綱は、「町田市議会議員の政治活動における虚礼廃止に関する決議」（平成元年12月1日決議）に基づき、公職選挙法の規定にかかわらず、すべてにわたり清潔な政治活動を行うことにより市民の信託に応えるために制定するものである。

記

1. 企業・団体からの金品等の寄附は受けない。
2. 資金集めを目的としたパーティー・事業等を行わない。
3. 町内会・自治会、その他市の財政援助団体並びに公的行事への金品等の提供及び祝電・弔電を行わない。
4. 新聞等への個人名刺広告の掲載を行わない。
5. 答礼のための自筆によるものを除き、年賀状、寒中見舞状、暑中見舞状その他これに類するあいさつ状（電報その他これに類するものを含む。）は廃止する。

附 則

この要綱は、平成元年12月1日から適用する。

議 会 年 報

— 令和3年議会活動状況 —
発行 令和4年3月
編集 町田市議会事務局
所在地 町田市森野2-2-22
電話 (042)724-2171 (直)
刊行物番号 21-74
印刷 [市内印刷]
